

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

#### <4/1(金)の時系列メモ> (情報班 ■■■)

～本店全体会議～

9:00 プラント状況、作業進捗、作業予定。

(1F 発電班)

1号機は、炉心への注水を流量8.5m<sup>3</sup>/hで行っている。プラントパラメーターについては、原子炉圧力と温度は安定している。しかし、大キリンで午後放水を行ったところ、D/W 圧力が若干低下傾向を示したが、現在は0.18MPa～0.17MPaで静定している。

2号機は、炉心への注水を流量9m<sup>3</sup>/hで行っている。プラントパラメーターについては安定している。

3号機は、炉心への注水を流量7m<sup>3</sup>/hで行っている。シマウマの放水によって、プラントパラメーターに変動はなかった。

4号機も同様にプラントパラメーターに大きな変動はなかった。

共用プールも同様にパラメーター大きな変動はなかった。

5, 6号機は残留熱除去系で制御している。

(武黒) 1F-1, 2は昨日から今朝にかけて RPV 周辺の温度データに変化が見られる(1号機は上昇、2号機は低下)。注意深く監視してもらい、注水量をもとに確認をお願いしたい。

(1F) 了解した。

(1F 復旧班 ■■■)

1, 2号機は CST→SPT への移送を午後完了予定。

3号機は昨日 CST→SPT への水移送を完了している。本日は、H/W→CST に移送を開始したい。

縦坑の水位調査については継続して実施する。また、1～3号の縦坑に対して TV カメラの据付を実施する予定。

2号機は SFP のストレーナ清掃を完了した。

RHRS 代替については1, 2, 3号機について完了した。4号機は RHRS と SW の配管接続を実施する予定。

6号機の R/W 地下に1600tの水が溜まっている。それを、5号機の H/W (A) へ移送する予定。ラインナップは既にできていて、午後から作業を開始する予定。仮設のマノメーターを設置して水位を監視する予定。

5号機では M/C 室の清掃、点検をする予定。

6号機は、タービン地下の油処理を継続して行う。

(武黒) 統合本部の体制について、特別プロジェクトチームを6つ形成した。今

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

後、1ペーパーにして情報共有していきたい。

(タービン建屋排水回収・除染チーム) 建屋排水の状況について説明する。静岡県にメガフロートがあり、譲渡してもらうための交渉を8:30から開始する予定。また、共用 R/W 建屋の地下に溜まっている、海水の現場調査をする予定。明日 [ ] 氏がサイトに行く予定。

(RHR代替・回復チーム) 現在サイトと協調して、N<sub>2</sub> の充填に関する検討を開始している。その充填は1号機から開始する予定。終了後、アイソレーションコンデンサーの作動について検討していく。2号機はD/Wクーラーの作動について検討している。

(1F 吉田) サイトには連絡がきていない。具体的な実施の手順について連絡して欲しい。現状、その検討についてサイトとの連携はないと思って欲しい。

(RHR代替・回復チーム) 了解した。今後情報共有及び連携を図る。

(武黒) 発電所に行って情報共有してほしい。

(放射性物質放出低減) 2点ある。1点目は、飛散防止剤の散布について。本格的には2週間後に飛散防止剤を散布していくが、試験散布を計画している。昨日試験散布をする予定だったが、本日の午後、共用プールの山側200m<sup>2</sup>に飛散防止剤の散布を考えている。散布については、人の手による、ポンプによる。

(人の手による、ポンプによるという趣旨が不明)

2点目は建屋のカバーについて。計画が荒々纏まってきた。本日から、実施設計段階を開始したい。設計プロジェクトチームの人選をしている。現状、現地との連携について十分できていない。今後は強化してやっていきたい。

(内閣細野) 国の方でも検討している。米国との連携プロジェクトとして、やってきた。全ての関係省庁が入っているので、適宜フォローできると考えている。また、燃料の取り出しについてであるが、リモートコントロールについて国でも検討している。宜しく願いたい。

(燃料チーム [ ]) 燃料関係のプロジェクトについて、2点伝えることがある。1点目は、4号機の SFP の水のサンプリングについて。方法は、大キリンでプールの水を採取できるよう改造する予定。具体的な工程は今作っている最中。2点目は、かなり高性能な無線ヘリがオペレーターつきで現場に派遣できる。どのような形で有効に活用できるか検討している。現場と情報共有してやっていきたい。

(武黒) 今後こういった情報共有を密にしてやってもらいたい。

(内閣細野) 燃料の取り出しについては、責任者として中島氏がやっている。

(1F 吉田) いろいろなプロジェクトがあるが、ヤードの取合いや工程について、エリア干渉等あり、具体的な調整をする必要がある。そのため、各プロジェクトの具体的な手順を欲しい。まずは、プロジェクト同士で調整をやってもらわないと、

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

うまくいかない。宜しく願いたい。

(武黒) 今後、エリア調整機能を強化していきたい。

(武黒) 「原子炉冷却/使用済燃料プール冷却の準備状況について」の資料はわかりやすいが、二重丸となる判定基準を明確にして、更に分かりやすさを目指すこと。

(本店保安班) 昨日、核種分析について誤りがあった。Te129mと親子関係にある核種について、半減期が短いので補正が間違っていた。半減期補正が適正でなかった。保安院からデータの信頼性を損なうものであり嚴重注意を受けた。また、対策を講じること、保安院への連絡が遅かった等についてペーパーを纏めている。発生原因は、ゲルマニウム半導体分析装置の Te129m と Te129 が親子核種となる登録がされていなかった。そのため、単純に半減期で補正をやってしまった。つまり、過大評価をしてしまった。1F と本店で互いに確認をしたが、登録について検証がされていなかった。当面の対策は親子核種のプログラムを修正する。正しく設定されているものもあるが、再度確認している。また、専門家の意見も確認してプログラムのチェックをやる。なお、核種分析装置について違うメーカーの装置導入を検討している。

(武黒) プログラムの間違ひについては、地震前にも経験していて、対応のやり方を具体化されているものもある。原子力品質・安全部の品質・安全評価グループの支援を得て対応を願いたい。

(●部長) 了解した。

(保安院) 2度目の誤りなので、東京電力による評価の信頼性を損なった。そのため、嚴重注意をした。速やかに評価すること。原因を追求して、再発防止を徹底的にやること。

(本店保安班) 了解した。

(本店保安班) また、一時帰宅のプロジェクトについて OFC と連携して計画していく。

(1F ●) 昨日、日本国政党的の街宣車に13時頃構内に入られることとなった。街宣車の情報については、12:21に1F から情報もらった。メインゲートを閉じていたが、施錠管理していた金網フェンスを破られて入られてしまった。その街宣車は、13:20分頃まで構内に入っていて、その後退構した。15:24、街宣車はJビレッジ周辺で逮捕された。現在は、中型トラックを置いて、金網を破られないようにした。

50万 V の富岡線から受電しているが、変圧器が地震直後から油漏れをしているため、メンテナンスが必要である。現在、1号機の電源を2号機から受電するようにして、修理の準備に入っている。工務部の協力を得て作業をやっていく。

(武黒) 警備については、警備当局と相談してご指導を貰うこと。

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

(Jビレッジ小森)プロジェクトについてヤード調整が必要とのことで、自衛隊がヘリコプターで1Fの観察をやっている。個別にお願いをして、リアルタイムの映像を撮ってもらっている。そのため、ヤードの配置物も撮影されている。今後、1Fと調整をしていきたい。

(Jビレッジ自衛隊)1Fのリーダーから緊密な調整が必要と言われたが、自衛隊は朝のサーモグラフィ等作業を実施している。また、無人ヘリの導入について今後予定している。効果がダブらないように、空域使用の時間管理等フレームワークが必要であると考えている。今後、提案していきたい。

(武黒) 部長、自衛隊と連絡強調をお願いしたい。

(OFC 池田) 早期の終息と収拾について宜しくをお願いしたい。目先だけではなく、チームを作ったのはいいが、調整のうえ、進めてもらいたい。

(広報班) 先週から、武藤副社長が記者会見を行っているが、今後は KK の 部長へ記者会見をお願いするので、情報提供をお願いしたい。

#### <決定事項/指示事項>

- ・各プロジェクトについて、エリア及び工程調整をサイトと連携しながら十分にすること。
- ・「原子炉冷却/使用済燃料プール冷却の準備状況について」の資料の◎の判定基準を明確にすること。
- ・核種分析の誤りについて、原子力品質・安全部の支援を得て対策を検討すること。

～全体会議終了～

～全体会議～

20:00

プラント状況、作業進捗、作業予定。

(1F 発電班)

1号機はD/W圧力低下傾向に伴い、16:20に原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/hに絞っている。D/W圧力は現状0.16MPaで安定している。

2号機は、原子炉への注水を9m<sup>3</sup>/hで行っている。15:00～17:00(丸めて報告している、実際は14:56～17:05)にSFPへ注水を行った。プラントパラメータは安定している。

3号機は原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/hで行っている。プラントパラメータは安定している。

(4号機と共用プールの報告はなし)

5, 6号機はRHRで制御している。また、6号機のR/Wの滞留水を5号機の

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

H/W へ移送を開始した。

(武黒)1号機の原子炉への注入を減らしたことについて、本店復旧班はどう考えているか？

(本手復旧班)流量を減らすことはサイトと同じ意見。

(1F復旧班)

・T/B 地下滞留水処理

SWのトレンチは1, 2, 3号機水位変動なし。(1号機?)のT/B 地下滞留水を抜いた後、30時間で3cm水位が上昇している。以前と比べて、水位上昇ペースは半分くらいに落ち着いている。そのため、80~90日余裕があると考えている。

1号機は CST→SPT(B)へ移送中。明日の13:00終了予定。

2, 3号機は H/W→CST へ移送するための準備をしている。明日準備作業について着手する予定。

・放水関係

4号機について、8:28~14:14にキリンで放水を行った。スキマーサージタンクの水位は5150mm で変化なし。

2号機のストレーナ撤去後、14:56~17:05まで注水をした。スキマーサージタンクの水位は4.6m→5.1mへ変化した。温度は48℃→73℃まで変動した。そのため、確実に注水が行われたと考えている。

明日、3, 4号機ラインが詰まっているか確認をする。うまくいけば、FPCを通した冷却ができる可能性がある。

(1F)バージ船の純水移送について、ろ過水タンクのアタッチメントの修理を行っていた。本日送水を開始したが、30分後にカップリングから水漏れが発生したため、明日朝から送水を再開する。バージ船の2隻目が9:30物揚場に入港する予定。

明日、(大)キリンの放水を実施する予定(時間と号機は聞き取れず)

(1F 吉田)今日の午後、大キリンの先端にカメラを付けてみたら、SFPがR/Bの天井の板で覆われていた。また、午後、天井の一部が下に脱落した。そのため、隙間ができ放水し易くなった。よって、明日、放水をチャレンジしてみる。放水の際は、格納容器の上にかからないようにしたい。ただ、別の視点から見ると、水をかければPCV圧力が下がることがわかったため、我々の選択肢についてチョイスが増えたと考えている。

(武黒)チョイスについて、上手に使うことも重要だが、諸刃の刃となる可能性があるため、早めに注水するなど、本店安全屋を含めて情報連絡を密に検討をお願いしたい。また、よく調整をお願いしたい。

(1F 吉田)カメラがついたことによってどこに放水されているかダイレクトに確認

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

できる。これは大きい。

(1F 復旧班) 電源復旧状況について、本日3、4号機 S/B の靴履き替え場の照明がついた。明日は、1~4号機の松の廊下の照明を復旧する予定。

(武黒) 屋外の設備が (~聞き取れず~)、復旧班を絡めて近未来の構想を明確化すること。

(本店復旧班) 本日、仮設タンクの設置作業をした。1号機のオペフロに対し、天井の一部が崩れたことについて、本店安全屋は使用済燃料プールの燃料が少ないことから、大きな影響はないと考えていると意見をもらった。

滞留水の回収処理については、リサイクルの検討を進めている。明日、集中ラドの地下の滞留水を4号機 T/B に移送する予定。その際、電源車を使って移送作業を行う予定。

本日、T/B 地下と縦坑の水位を監視する TV を設置する予定だったが、うまくいかなかったため、明日設置する予定。

水処理の検討については、メガフロートについて静岡と調整を行っている他、追設タンクの設置についても合わせて検討を行っている。

PCV 封入用の N<sub>2</sub> の設置作業を行っていて、明日 T/R を実施する予定。

1号機 IC 冷却検討、2号機 D/W クーラーの検討も行っている。

本日、飛散防止試験散布を共用プール周辺に行った。燃料プールへの影響評価や散布方法の検討を行っている。合わせて、R/B の封じ込めについても検討している。

また、燃料移動保管の検討、燃料プール水のサンプリング採取方法の検討、米軍ヘリを使った線量測定 of 検討を行っている。

(武黒) プロジェクトが多方面になっているため、明日以降、情報共有の方法について工夫が必要。

(■■■■部長) T/B 滞留水の処理について補足する。共用 R/W には 16,000t の滞留水があるが、4号機 T/B に排水をする検討をしている。OP2.4m の水位等からすると、無条件で 8,000t は入ると考えている。明日の夜、準備が整ったら排水を開始したい。人員については、■■■■ GM と土木の人をサイトに派遣する。4m の開口部を封鎖すれば、4万トン水を入れる容量がある。すると、計算上は T/B で全て排水できると考えられる。

(本店復旧班) RHR 代替や N<sub>2</sub> について、サイトへの説明が十分できていない。調整をさせて頂き、サイトへ説明に伺いたい。また、日程調整をしたい。

(本店復旧班) バージ船のバックアップとして、タンクローリの淡水供給を明日から開始する。1日 100t で合計 1,000t を予定している。

(本店 ■■■■) IAEA 調査について、本調査をスムーズにやるため、予備調査団を送りたいとのこと。予備調査団の構成は 3 名。4月4日午前中保安院、午後本店

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

に来訪し、第一回目の会議をする予定。予備調査団はサイトへも行きたいと言っている。1週間くらい滞在する予定。

(武黒)発電所よろしく願います。

(本店保安班)3点お伝えする。

1点目は安全委員会から助言を受けていた、発電所の海水サンプリングについて、海上保安庁と保安院と調整を実施し、2日より海上保安庁の船で4日迄サンプリングをする。沖合15kmの地点のサンプリングをする。5日以降は東電環境の船でサンプリングをする。

2点目は核種分析について、Te129m の評価を誤った件。現在、メーカーと打ち合わせをして、補正する計算シートを作っている。3月31日分の解析を本日中に実施する。

3点目は APD について代表者に装着していた問題である。APD の数が少なかったのが原因である。これまでの APD 調達状況を確認して保安院に説明をした。津波前は、5000台 APD があったが、津波により使えるものは320台となってしまった。そのため、その320台を使い回しをしていた。3月18日に他電力の APD を420台調達したが、警報設定値を設定する機械がなかったため使えなかった。しかし本日、420台 APD を入手し、KK から500台届いたため合計920台使えるようになった。

(保安院)重ねて、1号機の大キリンの放水について、D/W の温度が下がった場合は水素の関係もあり、現在、まだ1号機の SFP は危機的状況にあるとはいえないことから、良く見極めて計画すること。

(武黒)総合的に評価して、いつ放水するのが良いか、どうやって放水するか発電所と相談したい。

(1F 吉田)しっかり検討しながらやっていきたい。

(工務復旧班)2F の 所長から高起動変圧器のメンテナンスが必要とあったので、明日復旧修理をするための現地調査をする。合わせて、ついでに6万 V の開閉設備も調査する。

(1F 吉田)別件だが、中操の線量が高いことは問題と考えている。今後、遮蔽だとか空調の充実が必要と考えている。監視する所の居住性について検討していきたい。本店の協力もお願いしたい。

(武黒)是非やりましょう。具体的にどういうことが問題なのか、関係者で密に迅速に対応すること。

#### <決定事項/指示事項>

- ・中操の居住性について、サイト本店間で検討を開始する。

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

## <4/2(土)の時系列メモ>

### ～本店全体会議～

9:00 プラント状況、作業進捗、作業予定。

#### (1F 発電班)

1号機は、4月1日16:20頃、炉への注水を流量7m<sup>3</sup>/h に絞っている。上昇傾向にあった D/W 圧力は0.16MPa で一定となっている。プラントパラメーターは安定している。

2号機は、炉への注水を流量9m<sup>3</sup>/h で行っている。原子炉水位、圧力の変化はないが、ベッセルボトム温度が乱れ始めたため、代替を検討している。

3号機は、炉への注水を流量7m<sup>3</sup>/h で行っている。午前中シマウマで SFP へ放水予定。プラントパラメーターは安定している。

共用プールの温度は 32℃で安定中。

5, 6号機は RHR で制御している。本日、モード切替を実施する。6号機の R/W の地下の滞留水を5号機 H/W へ移送中。

(武黒)1号機の RPV の温度はどう考えるか？

(本店安全関係 ██████████)1号機の流量と RPV 周りの温度が上がっていく可能性があるので注視していきたい。

#### (1F 復旧班)

昨夜以降、トレンチ水位については更新したデータはない。本日データ採取次第、情報共有する。

本日、1～3号機縦坑と2号機の T/B 内に水位を遠隔監視する監視カメラを設置する予定。1, 3T/B の監視カメラ設置については、明日以降設置する予定。

1号機は、本日13:00目処で CST→SPT(B)に移送を完了する予定。

2号機は、本日午前中に H/W→CST に移送する。

3号機は、本日午後 H/W→CST に移送する。

昨日、2号機の SFP に35t/h で2時間で70t注入した。スキマーサージタンクの水位が4.6→5.1mに上昇した。SFP の温度が48℃→73℃に変化した。そのため確実に水が注水されたと考えている。

本日は、1号機の SFP に大キリンで17:00～17:30の30分程度放水を予定している。3号機の SFP にシマウマで9:30～12:00の2.5時間程度放水を予定している。

明日、原子炉への注水の電源を本設に切替える予定。

本日、本店の排水チームが1Fに来訪して T/B 建屋の水移送の全体シナリオについて打ち合わせを実施する。N<sub>2</sub> パージと IC の復旧プロジェクトについても、

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

サイトにすぐ来て欲しい。4日に来ると言うが遅い。

(武黒)復旧班、今日中遅くとも明日には行くこと。基本、今日中にしてください。

(復旧班)本日行く。打ち合わせ場所は2Fのバックオフィスで実施したい。

(1F 吉田)H/W→CST への移送は初めてのため、CST 周りの線量の変動を注意してやるように。手順を関係者で確認してやるように。水を扱うので水かぶりがないように。

(1F )

5号機 P/C 室、M/C 室の遮断機を点検する。T/B 建屋の照明について仮受電をする。5、6号機取水周りモーターを点検し、終了次第工場へ持ち出しをする。6号機 R/W の滞留水を5号機 H/W に移送中。しかし、一旦移送を中止して計画を見直す。

(1F )3、4号機の SFP への放水について補足する。3号機は偶数日、4号機は奇数日に放水を計画していく。あらかじめ計画的に、3号機16:00~18:30の2時間30分、4号機は14:00~19:00の5時間としていきたい。

1号機は本日試して30分放水する。

(1F 吉田)放水はトン数が目当てじゃない。開口部に水が届いているか確認することが重要。極力 PCV に影響を与えないように実施していきたい。

(保安院)注入量を確保することよりも、D/W 圧力について影響の大きさについて、心に留めてオペレーションをお願いしたい。

(武黒)昨日、T/B の水位が30時間で3cm上昇と報告があったが、こういった水位の変動が資料の表の中に表されているという理解でよいか？

(1F )T/B についても別途追記するようにする。

(1F 吉田)水位トレンドグラフが分かるように共有すること。

(本店復旧班)現在用意している資料は、至近スケジュールのステータスがどこまで進んだか示していたが、次回以降、長いスパンで見える化したものを提示したい。

(本店復旧班)「平成23年4月2日 特別プロジェクト 実績・予定」について、誤記があり、1、2号機についてはH/W→CSTの移送が正である。修正をお願いしたい。

(1F 吉田)補足で、集中 R/W から4号機 T/B への移送は、準備までとなる。本店との打ち合わせ後判断する。

(本店復旧班)2F にバックオフィスを設置した。現場の作業実態や要望事項を把握できた。免震重要棟は打ち合わせをする環境でないため、2F バックオフィスでお願いしたい。

(武黒)もっと近い場所にできないか？

(情報班)検討中で4つ案がある。

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

(1F 吉田) 1F と 2F の中間地点にオフィスが欲しいが、線量や放射性物質の濃度をみて判断すべき。1から作るという話になるので時間がかかる。まずは 2F のバックオフィスをうまく使う。将来的には欲しいということ。

(小森) 管総理が昼くる。現状を説明する。

(本店保安班) 核種分析の誤りの件について、メーカーと調整して中身が分かってきた。絵を描きながら、後ほど説明する。

#### < 決定事項 / 指示事項 >

- ・短期的スパン → 長期的なスパンで業務が見える化する。
- ・SFP への放水について、以下で今後運用。
  - 3号機の放水を 16:00 ~ 18:30 の 2時間30分 (偶数日)
  - 4号機の放水は 14:00 ~ 19:00 の 5時間 (奇数日)
- ・N<sub>2</sub> 注入、IC 復旧について本日サイトへ説明

#### ～ 全体会議 ～

19:10 プラント状況、作業進捗、作業予定。

(1F 吉田) コンクリートの打設状況について、水の変化はない旨 19:12 に連絡が来ている。

(1F 発電班)

1号機は炉への注水を流量 7m<sup>3</sup>/h で行っている。17:16 から大キリンで注水したが、プラントパラメーターの変動はなかった。

2号機は炉への注水を流量 9m<sup>3</sup>/h で行っている。プラントパラメーターは安定している。

3号機は炉への注水を流量 7m<sup>3</sup>/h で行っている。シマウマで放水したが、プラントパラメーターの変動はなかった。

1, 2号機の炉注水の流量を下げられるか検討をしていたが、本日 20時以降、1号機の流量を 7m<sup>3</sup>/h → 6m<sup>3</sup>/h に下げる。また、2号機の流量を 9m<sup>3</sup>/h → 8m<sup>3</sup>/h に下げる。

(1F 吉田) 19:13、A ピットコンクリート打設終了した。水の流れが止まった状況にないと報告を受けている。

(1F 発電班)

5, 6号機は、SHC と非熱を交互に切替えて実施している。

(武黒) 注水量を下げることにについて復旧班の見解は？

(復旧班) 崩壊熱が下がってきていて、温度も安定していることから、流量を下げて問題ないと判断する。

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

(1F復旧班)

2号機の漏えい以外について説明する。

1号機のトレンチ水位は縦坑で17時間経過後9cm上がっている。原因は不明。建屋内は17時間経過後1cm上昇している。3号機は特に変化なし。

14:30、2号機の T/B へ水位監視装置を設置した。また、縦坑の水位が同じであることを確認できた。

16:30、2号機の漏えい水の採取をしてサンプリング中。

14:25、集中 Rw の溜まり水を4号機 T/B に移送している。

17:10、2号機 H/W→CST へ移送を開始した。

明日、炉心注水ポンプの電源切替を予定している。

(1F 復旧班)

5号機の CAMS を生かせる状態となった。明日インサービスをする。

5、6号機の M/C 清掃関係は順調に進んでいる。

6号機は、昨日13:40から Rw の溜まり水を5号機 H/W へ移送しているが、Rw の溜まり水が以外に多かったため、本日10時一旦停止した。

5、6号機の(ヤード海水ポンプの)電動機の油抜きを実施している。

4号機は明日17:00~23:00、キリンで180t注水予定。

(本店復旧班)

N<sub>2</sub> パージや IC 復旧の説明をサイトにする。明日、4名伺って説明をする。場所は1Fか2Fのバックオフィスで行う予定。

(本店保安班)

本日予定していた沖合15km海水サンプリングを終了した。明日分析予定で、明日中に報告する。

(本店厚生班)

体制を整えて、徐々にお休み頂ける体制になっている。運転手がいなかったが、社員や協力会社の運転手を確保できた。輸送方式についても、パレットの上にフォークリフトで一度に積み上げる等合理化をする。食事のバリエーションも増やしていきたい。バックオフィスを2F に用意したこともあり、いわき市内の弁当会社からの発送を予定している。また、1F と2F に簡易ベッドを手配済。

(部長)集中 Rw から4号機 T/B への排水について、明日以降ポンプの台数を増やす。4号機の縦坑の水位上昇について確認をお願いしたい。

(情報班)行方不明2名社員、一昨日4号 T/B で発見されお亡くなりになった。検死に時間がかかったが、ご家族に引き渡した。

(小森)管総理 J ビレッジ視察された。激励された。シマウマの注水を今日も

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

やり明日もやるという話であったが、2日に1回と聞いていたがどうか？

(1F) 奇数日と偶数日で分けているので、連続になることはない。

(小森) 明日は麒麟をやるということか？

(1F) そういうこと。(小森さんの勘違い)

(1F 吉田) 19:15、B ピットへコンクリート注入していたところ、19:30作業していた人の APD が20mSv になったので、あと20cm残っているが、一旦作業を停止する。水の流出状況の変化はない。つまり、コンクリートの止水はうまくいかなかったということ。次の手を考えていかなければいけない。迅速に次の手を打つ必要がある。

(武黒) この会議終了後、直ちに検討をやっていきたい。

(本店建設復旧班) 一般排水の処理について、貯蔵するタンクの設置を考えている。J ビレッジで詰め替えを行っていたが、手狭であった。今晚、富岡消防署の檜葉分掌の敷地を借りて積替えを行う。来週から順次実施していきたい。

<決定事項/指示事項>

- ・ 2号機のピット漏えいについて対策を検討する。

～全体会議終了～

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

<4/3(日)の時系列メモ>(情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

(武黒)ピットからの海への放出対応を中心に、状況を把握したい。

(1F吉田)本日は2号機の止水作業をまず説明したい。名前はビーバー作戦としたい(動物名の作戦が今までよく成功しているのだ)。

(復旧班)干渉物(電源盤等)の移設があるので、Ver1.1に盛り込んだ。干渉物は、仮設の分電盤、除却した配管がある。これの撤去を本日AMを目途に行う。厚さ25cm程度の天板コンクリートを破壊する。端面とケーブルトレイのギャップを確認、高分子ポリマーか速攻セメントの2タイプ用意をして、現場判断で実行したい。13時過ぎぐらいで投入準備、14時～投入予定。小名浜でコンクリートを練り込んでいるのでその後2回に分けて実施予定。

(研究所 [REDACTED])高分子の投入、速攻セメントの投入を考えているが、水が流れているので、管路の中を通過して、昨日コンクリートを打設しているのだ、その隙間を閉塞できるのではないかと考えている。

(本店建設班)本件について、特に意見ない。了解。

(武黒)現場の判断で的確に対応して欲しい。仮設物がたくさんあるとのこと、作業安全上の確保をお願いします。急がず安全を確保して着実に実施して欲しい。

(発電)1号機 4/2 20:00に炉心注入を7m<sup>3</sup>/hから6m<sup>3</sup>/hにした。D/W圧力0.155MPaから0.160MPaとなった。パラメータは安定。

2号機 4/2 20:00に炉心注入を9m<sup>3</sup>/hから8m<sup>3</sup>/hにした。RPV上部温度が若干上がり目。その他変動無し。

3号機 7m<sup>3</sup>/hで継続しており、パラメータ変動無し。

今日の午前中10:00以降に、炉心注入を電動ポンプから消防ポンプに一時的に切り替える。またその後、電動ポンプに戻す。

5, 6号機 継続して冷却中(非熱とSHCの切り替え)

(本店復旧(安全)班 [REDACTED])1, 2号については、崩壊熱より余裕ある量を入れているので問題ないと考えている。

(復旧班 [REDACTED])Tb/Bおよび立坑の水位変動は、ほとんど変化なし。監視装置を通信復旧班の支援を頂き、光ケーブルを敷設して、無人監視をできるようにしている。

2号機のビーバー作戦が成功したら、水位が上がってくることも考えられるので、注意深く監視したい。

水移送の予定について。

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

2号機 H/W から CST 移送について、ポンプ1台を増設予定。

集中 RW から4号 T/B への移送について、ポンプ計5台を増設予定。

4号キリン予定 17:00から23:00で180tを予定。

3, 4号機は、SFPへの下からの注入のため、ストレーナのつまりを点検する。つまりがあれば復旧して注水したい。

(吉田) 1~3号機について、炉注水ポンプ切り替えに際して、どのくらいの時間、注水が止まるのか？

( ) 全体で10:00~13:00の時間帯で切り替え作業を予定。給水自体が止まる時間は5分程度を目標に行う。

(5, 6復旧班) 5号のTb/B排水状況は確認を継続。

5号機 CAMS を本日午後から起動予定。

5, 6号の油清掃を行う。海回りの油がたまっているの、油抜きを行う。

MCCおよびP/Cの点検実施予定。

バージ船からの移送の再トライ。サーベイおよび、No. 2→No. 1への水移送を行う。

移送については自衛隊と米軍が退所しているので、東電の手で行う。

(武黒) 各号機のトレンチを図面で確認して、回り込み等無いように、本日中に確認を行うこと。現場の確認を含めて行って欲しい。対応は、復旧班および建設班で行う。

(吉田) 別の目でぜひ本店でも見て欲しい。

(武黒) 集中ラドもあるので、建設班とサイトと一緒に対応して欲しい。

( ) 集中R/W→Tb/Bの移送を実施中。3000t/日で移送するので、数日オーダーでかかる見込み。発電所へは、水位の低下を見守ってもらうこと、水没部の点検、クラック等の有無について、本店からも指示を出す、確認をお願いしたい。

(吉田) 本店からも現場に来て、確認願う。

(Jビレ小森) 使用済燃料プールの注水は、キリン、シマウマでも行っているが、本日はインライン側の注水を行うということ？

( ) 2号機はインラインの注水ができるが、1, 3号機についてはストレーナの清掃を行う。もしストレーナに特に問題なければ、配管が損傷している可能性が疑われるので本店と相談したい。

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

(吉田)N<sub>2</sub>ページ等の予定もあったと思うが、本日の状況はどうか？  
( )N<sub>2</sub>封入と非常用復水器について。復旧班、s s他4名で対応。  
本日はバックオフィスで打ち合わせ後に1Fにて現場調査を行う予定。

(保安班)事務本館南側に設置した仮設MPの動きでは下がり傾向。正門、西門もわずかに下がり傾向。核種分析の誤りが2回あった(I-132、II-129)。保安院にもチェックしてもらっているが専門家の意見も入れてチェックしているところ。なお、JAEAと日本分析センターによるチェックも行ってもらっていて、結果が本日判明予定。他の民間の分析センターの核種ライブラリを使って、検証も行っている。速報版をまず公表して、チェックが終わったところで確定報としてもう一度公表する。他電力やKKメンバーにもチェックしてもらっている。今後も継続して、速報版と確定版で公表を行っていくこととしたい。ピークが高いものは速報版、その他の核種は確定版に載せるようにしたい。

(復旧班)特別チームの検討状況について。4号機のSFPの熱交換機による除熱について、方法が確立したら方針をご報告したい。

(情報第2)いわき四倉以北が通行できなくなっている。いわき四倉で一旦降りて、通行証のある場合はその先に行ける。詳細は情報班第二まで。

(Jビレッジ)雑誌の記者が入っていて、一人一人チェックできないが、注意している。

(武黒)ビーバー作戦が実行中であるが、作業安全を最優先に実施していきたい。

～全体会議終了～

#### <決定事項/指示事項>

- ・各号機や集中ラドのトレンチを図面で確認して、回り込み等無いように、本日中に現場の確認を含めて行うこと。(復旧班および建設班)

～全体会議～

19:00

(吉田所長)研究所および土木Gにて、岩着している立坑の天板を破壊し、状況を確認した。当該の漏れている部分にグラントや水ガラス等を詰めて、止水処理を行うことで検討を始めている。

(建設班)水が出ている所のエレベーションはほとんど電線管の小板の位置となっている。恐らく、そこをせき止めないとならない。

(1F)ピットそのものは線量が高かったが、コンクリート打ちを行ったことで、若干

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

7mSvと低い値になっている。

(建設班)コンクリ打設により、ピットの水が止まり、グレイシの水のみになったのではないかと仮説を立てている。グラウトする前に、トレーサー(色水)を流して、確認する。

(1F)コンクリートミキサー車、とバスクリンの準備は今夜行う。

(建設班)立坑に流して、今日入れた所から出てくるか、もし出てこなければ別のルートがあるのではないかと考えている。

(武黒)内容についてある程度まとまったら連絡願う。

他の類似の可能性があるかどうかについての確認状況はどうか？

(建設班)集中ラドについては本日図面チェックおよび現場での確認を行っている。1~4号機の確認は明日以降。

(1F復旧班)発電所では、1~4号機および集中ラドの可能性のあるところの確認が完了している。特に高線量のものが漏れている問題は確認されなかった。本店に情報を送付している。

(発電)1号機~3号機の炉心注入に関しては、電動ポンプの電源を仮設から本設に切り替えている。一時消防ポンプによる注水を実施している。切り替え前後で流量は同じ流量にしていってパラメータに変化は見られていない。4号機のSFPに対しては、17:14~キリンによる放水を行っているところ。

5, 6号機 継続して冷却中(非熱とSHCの切り替え)

5, 6号機の滞留水についてくみ上げている。

(安全班)プラントパラメータは安定しており、適切に今後調整していく。

(1F復旧班)

1号機、Tb/B水位上昇が見られたが、この24時間は安定している。

2号機 Tb/B水位は5mmほど上昇しているが、誤差かもしれない。

3号機 立坑が、24時間で10cm上がっている。本日の給水流量の変化に影響しているかもしれないが注視していく。

移送関係。

2号 H/W→CST 継続移送実施中。明日ポンプ1台→2台に増強予定。

1号機 13:55 H/W→CSTの移送を実施している。(継続実施中)

3号機 H/W→CST移送。明日実施予定。

集中ラド→4号機 Tb/B 継続実施中。10:00~ ポンプを1~5台に増強予定。(予定ではない。4月3日9:48 既にポンプ5台に増強済 横田確認)

3号機のFPCストレーナの詰まりなしを確認。明日4号機を確認予定。

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

5号機のCAMS 13時 インサービス。良好。

6AD/G メガ不良のため、明日10:00~15:00 待機除外。

バージ船 No. 2→No. 1 移送実施。9:52~11:15 計350t。

バージ船No. 2 11頃再入港 NO. 1と連結作業実施予定(その後、No. 2の入港は9:30に変更となっている)

きりん 17:14~ 4号機 180tの放水中。4時間半の予定。

明日3号機でのシマウマは当初16時からで調整していたが、本店電源作業とのことで17:00~19:30の放水に変更。

1号機の大キリンはぞうさんに名称変更でご承知置き方

(1F●)ガレキ撤去のプロジェクト。遠隔操作の機材を持ち込み。現在動作確認中。本店建設班と協議して実施中。

(本店復旧班)

3号機の下部からのSFP注水について。FPCのストレーナ組込み後の試験注水は実施した？

(1F復旧班)本店担当間では、明日実施を計画。

(吉田)バイパスフローになってむやみやたらに保有水が増えても良くないので、安全、復旧班で良く相談して実施してほしい。

(武黒)よく調整すること。

(保安班)昨日の2号ケーブルピットからの漏れた水の線量状況。分析したところ、2号機より1, 3, 4号機のスクリーン回りは1/20くらい。海水のサンプリングデータについてはトレンドとして見ると、4/1~2でなぜか下がっている。海の状況で良くわからない点もある。

今日のデータがまだ上がってきていないので、確認したい。

(吉田)重要な点と思うので確認。自然条件、すなわち潮の干満によるので、モデリングして解析できないか？

(●)モデリングが条件が変わっているのでは、難しい。(武黒)海洋の解析については現状でも難しいようで、確認する。

(●)速報板で報告しているものについて、数値の齟齬あり。改善したい。

(武黒)データが複雑になっているので、システムの構築が重要になってい

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

る。品安部の支援もお願いしたい。

(システム復旧班)APDのシステムを構築中。4/8にリニューアル予定。

(厚生班)1Fの殉職の対応について、新潟の■■先生が対応してくれた。ぜひ御礼を申し上げたい。KKの紹介。

(■■)明日、静岡県のメガフロートは悪天候のため断念した。別途日程調整中。

(建設班)一般排水タンクの設置について、保全センターに設置予定。造成にあたってエリア調整が必要。

(1F復旧班)バージ船の再入港は9:30に変更となった。

(武黒)相互の連携、報連相、安全を重視して作業方。

<決定事項/指示事項>

1. 3号機の下部からのSFP注水として、FPCのストレーナ組込み後の試験注水について、保有水が増えないように、本店ーサイト安全、復旧班で良く相談・調整して実施のこと。
2. サンプル測定結果についてデータを確認するシステム構築(保安班(サポート;品安部))

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

<4/4(月)の時系列メモ>(情報班 [REDACTED])

9:00

(1F 吉田)緊急度の高い話から、2号機の流出量は変化ないことを確認。  
7:08~7:11 13kgバスクリン投入、現在流出水色の変化なし。(9:00現在)。穴の部分に止水剤を注入する計画を立てているが、人の手や機材の手配が無理なので明日実施としたい。2号機の漏洩水のサンプリングを実施。昨日とったときよりも、サンプリングボトルの表面線量 80→56mSv/h 上部 70→15mSv/h 下部70→46mSv/h 若干線量が下がっている。今後2号機についてはピットの色の変化を確認していくとともに、薬液の注入箇所の変更検討を行う予定。

([REDACTED])補足として、Bピット天井を破壊しておがくず投入したが、ほとんど中に残っている。よって、水を引き込んで漏えいしていると考えにくい。ピットにクラックといていたが、明らかに穴である(60×80mm)。建設時のコンクリート打設の配管が残っているのかもしれない？(吉田)整理してあとで説明するように。

(保安院)漏えいの水の拡散防止対策、一般的には温排水が戻ってくるのを防止するような干渉物が付いていると思うが、つつつうになっていると考えられる。なにか具体的対応はあるか？

(建設班)シルトスクリーンを設置することを考えている。

(保安院)何時までに？具体的には？

(建設班)8日を考えている。(武黒)もっと早めるように。

(吉田)応急処置的になにかできないか、検討して欲しい。鉄板を落とし込むとか、簡易的に角に変わるものとか。(復旧班)角落としを考えているが。

(吉田)当初考えたが、角がない。ポンド全体として、拡散の回避策を検討して欲しい。(武黒)建設班、復旧班連携して検討・実施のこと。また、回り込みで他の流出源がないことは、建設班、復旧班で検討のこと。

(吉田)3号機については水位が上がってきている。集中ラドの水を4号に送付しているが、3-4号の連通があり、電線管かもしくは水密扉(電気品室にSLC電源確保のために開けた経緯があると記憶)と思われ、RW/B移送作業はストップさせた。

サブドレンについて、排出レベルを満たさないで、ポンプ止めている。止めていると、地下水が建屋に入ってくる。湧水の可能性が高く、重要な機器に水が溜まってきている。水処理のために、タンクを作っても処理が間に合わないで、サブドレンの運用について至急検討のこと。保安建設復旧班にて本部大で検討してほしい。

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

(武黒) すぐにこの後検討する。

(●) 体制を活用する。(吉田) すぐにやって欲しい。

(武黒) 建屋間の連通の水位変動も含め、検討しないといけないので、やる。4号機のTb/Bのため置きの運用変更も含め、検討の必要がある。

(発電) 1~3号機、仮設 D/G→MC に変更。これに伴い、炉注入の流量変更を行い、1号機:6t/h 2号機8t/h 3号機7t/hの流量。これは昨日と同じ流量。

1号機: 炉圧0.6MPa 若干上昇しているが、D/Wパラメータに変化ない。  
2, 3号は圧力、温度に変化なし。

6号機、HPCS DG への水もれこみ確認。CST 貫通部より。地下水と思われる。

D/G6A 海水ポンプのメガを回ったところ、0オーム。端子箱水浸水? 待機除外して点検する。

(1F1~4復旧班)

3号機 水位上昇。集中ラド→4号機Tb/Bへの移送を止めるともに対応チームで検討中、その他の水位は変化なし。

2号機 H/W→CST ポンプ1台追加予定。

1号機 移送中、3号機 本日移送予定。

シマウマで2時間半。作業予定に入っていなかったが、2号のFPCへの注水を実施予定。

(1F5~6復旧班)

D/G6A 15~16時でインノペ予定。

11:45 バージ船入港と聞いている。

4号機、SFP注水について。キリンに180t スキマーの変化なし。ただし、水が零れ落ちる音があり。スキマーレベル計のチェックを行う。

ぞうにカメラが着いているので、ぞうを4号機に持って行けないか、検討を行っている。

(●) 1号機が注水できることを確認している。崩壊熱が低いことから、1号への影響はないと考えている。

(通信復旧班) 1号機の無線だが、4号機に移送しても OK そうなので、4/6に確認するスケジュールで動いている。

(1F復旧班) 車の移動ができる運転手も手配できたので、明日実施で動きたい。

(保安班) 2号機の流出水について。放射能分析実施。止水処理前後で1

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

／4に下がっているので、若干の効果があつたと考えられる。

(吉田)最後に2点だけ。本店で計画している1号機の N<sub>2</sub> 封入について。ノ一ではないが、具体的にはフィルターが着いていないといった、被ばくの配慮や監視管理が不足しているので、手順等を定めて、いつからどうやるか、至急まとめて欲しい。

1号機の IC について、動かすことに本店は前向きだが、IC が健全であることに自信がない。IC が健全である前提だが、隔離弁が開いた後、バウンダリが壊れていると、D/Wページよりも影響が大きい可能性がある。また、一度開いた弁が閉まるのか。所長としては、進める判断はできない。

( ) N<sub>2</sub> 封入については、綿密に調整していく。ICについては指摘の通りで、よく検討する。

(武黒)ICについて、取り返しのつかないことにならないように、ゼロリセットして、よく検討すること。

(武黒)様々な課題があるが、関係箇所連携して、しっかり検討して欲しい。海回りの作業なので、作業安全に十分注意して作業実施のこと。

(立地班長)全漁連から、本日、汚染水放出について、東電上層部からの説明を求められている。

#### <決定事項/指示事項>

1. (保安院より)漏えい水の拡散防止策について至急検討・対応実施のこと。また、回り込みで他の流出源がないことを確認のこと。  
(建設班、復旧班)
2. 建屋サブドレンの運用について、至急検討のこと。(保安班、建設班、復旧班)
3. 1号機の N<sub>2</sub> 封入について、被ばくの配慮や監視管理方策について、手順等を定めて、いつからどうやるか、至急纏めること。(復旧班)
4. 1号機の IC について、IC が健全であることが前提だが、影響が非常に大きい可能性があるため、十分検討すること。(復旧班)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

～全体会議～

19:00

(武黒)発電所から、本日用われた排水作業等順次報告下さい。

(1F吉田)集中ラドからの放水が、19:03放出開始、また19:07全台起動で放出を行っている。また、5、6号機のサブドレンについては準備が整っている。

(発電)

本日はデータが落ち着いていたため、炉注量は変更なし。

1号機 6t/h注入中。D/W圧 0.15MPa S/P圧0.17Mpaabs RPV温度110℃安定中。

2号機 8t/h注入中。D/W圧 0.1MPa FPCプールに内部注水中。11:05～13:37実施。スキマーのレベル上昇を確認。

3号機 7t/h注入中。D/W圧 0.11MPa S/P圧0.18Mpaabs RPV温度150℃安定中。13:03～19:19シマウマ注水。10:00に仮設のIAコンプレッサー交換。

4号機 キリンについてスキマーサージタンクのレベル系が生きていることを確認。

5、6号 RHRにて制御中。サブドレン放水準備完了。

(1F1～4号機復旧班)

3号機 ピット縦坑水位 10:30 OP2750。19時 2750。9:22 集中ラドからの移送を止めた影響と思われる。他の水位関係は変化なし。

2号機 H/W→CST 移送中。水バランスが取れず2台目起動できず、明日再度トライ予定。

3号機はこの影響で遅れている。

2号機 SPF レベル上昇を確認。温度も上昇(50℃→73℃)しているので注水できたと考える。

4号機 FPCのストレーナの詰まり無し。

3、4号はL/Cのみとして、下からの注水については予定しない。

1号機格納容器のN<sub>2</sub>封入。1Fの所内では全体会議後に説明会を1Fで行う。早くて明日実施可能。

5、6号 5号機R/B RHR系の堰から、水漏れ6tくみ上げ。サブドレン系の処理、建屋地下の水処理が今後の課題。

2号機のバスクリン作戦。漏洩するルートを特定するべく、50m 13kg投入するも、水の量、色ともに変化無し。本日の結果、当初考えていたトレンチからの漏れの可能性は非常に低いと考えた。

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

しかし現状一定量出ているので、ピットの下敷石(砂利)に漏洩パスがあるのでと推定。明日地質の調査を行う方策について予定。

(■)明日の止水作業について。10:00マシン、作業員、現場到着、打ち合わせ実施。11時機材を運び、AM中にセットする。バスクリン投入する穴を開口し、色の変化を確認。止水用の薬剤投入 14時目途。

(建設復旧班)

AM中に現場にマシンを搬入するが、これはロータリーパーカッション？ボーリング作業です。

(建設)目的深度に達したらバスクリンを投入して色が変わったことを確認して、止水剤を投入することでOK？

明日の予定は1箇所？

2台あるので2箇所を予定。

圧力を上げるとピットが上がる可能性があるので、多数開口して実施したほうが良いと考える。

(武黒)時間の見通し、全体のスケジュール感を共有方。

(1F吉田)この作業はプレスするので、模式図を作成したほうが良い。

(武黒)開始前のサンプリングも実施して欲しい。(建設班)保安班と調整します。

(武黒)今朝保安院からも話があった、取水口の拡散防止策について報告方。

(建設)シルトフェンスについて4/8到着。4/9施工予定。明日から大型土嚢を南防波堤全面に配置する。AM朝から道を整備して、PMから配置作業。これに併せ、スクリーン室前に鉄板を入れようとも思う。注水が終わった段階で実施する予定。→発電所了解。

(武黒)その他の懸念箇所の図面チェックについて報告方。

(建設班)1~4号機チェックした結果、水位が低いとOKだが、高いと抜けそうな状況を4号機に確認した。明日塞ぐ予定。

(1F吉田)4号の話は初めて聞いた話なので、あとで確認させて欲しい。

～サイトから報告事項～

(■)シマウマ 70t注水実施。4号機 昨日注水で落下水音を確認したため、1号機ぞうを4号機に持ってくる。13~15時;キリンをはずして、ぞうを4号に持って行き、カメラでプールおよび建屋を確認する。この状況をふまえ17時から注水予定。

4号機のSFPについて、本日スキマーのレベル計の追従を確認したので、今後はスキマーを確認しながら行いたい。150t注水する予定。

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

(1F吉田)集中ラドの放出について。今後詰めるが、集中ラドが空になったところで、密封性等を確認し、必要であれば建屋の中の弱いところの補強工事を行う。H/Wの水をCSTに送っているが、H/Wへは線量の高いものを移送しつつ、それ以上の量については集中ラドに送る。

高レベルの廃液を長い距離移送することであるので、リスクを洗い出し手順を確認しつつ行っている。

(武黒)何か不具合不都合あれば、報告方。

(●●)バージ船、2隻とも満水状態。本日の作業をもって、一旦完了。

(●●)

窒素封入とICの件。よく考えた結果、地震の直後、ICが動いているが、熟慮歴があるので、保証は出来ない、現在安定している状態で、冒険出来ないと判断した。ICは今後使うかもしれないが、現時点では使用しない。

窒素封入;ICの実施を取りやめたので、燃料のリフラディングも考慮すると、再検討を行いたい。

(武黒)これは水素爆発の懸念であって、変更すべき事項ではないのではないかと。これとして進めていく必要があると思うので、今後も検討するのではないかと。

(●●)今夜中に検討を実施する。やる方向で考える。

(武黒)基本は実施する方向で検討して欲しい。安全上重要な実施項目である。

(1F吉田)1Fサイドでは明日行うつもりでいたが、こういった曖昧な感じで進めると危ないので、きちっと検討して欲しい。

(保安院)きちっと整理して、意志決定して現場にお伝えしたほうが良い。

(武黒)9時までに意志決定して発電所にお伝えしたい。

(保安班)沖合サンプリングを実施すべく用意しているが、申請が受理されていないため、明日のサンプリングについては手続き上の観点から見通しが不透明。6日のサンプリングは可能。

(●●)2号機の止水状況、移送状況、つうつうの状況、Tb/Bの水位の監視についてよろしくお願いたい。

(建設班)水処理の貯蔵のタンクの設置について、候補地が決まった。取水口の処理用タンクは、SPTの南側におく等、候補は5箇所を考えている。詳細は別途。2万トン強のタンクを、4~5月に掛けて設置する。円形タンク、四角いタ

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

リンクを設置する。調整事項がいくつもあるので、関係各所協力して進めたい。  
(1F吉田)サイトからいうともう少し改善の余地がある。全体のレイアウトを検討する必要があり、再度サイトを入れてレイアウト検討を行って欲しい。  
(武黒)発電所にとって作業上の長期間の対応として練っていく必要がある。今回は状況の紹介程度で受け取って欲しい。

<決定事項/懸案事項>

(なし)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

<4/5(火)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:04 (1F 所長)集中ラドからの排水は順調です。サブドレンからの排水は、今朝まで40t 強の排出があります。

(1F 発電班)

1号機は 6t/h で炉注入中。D/W 圧力 0.16MPa (?), S/C 圧力 0.17MPa で安定している。温度上昇もなく安定している。

2号機は 8t/h で炉注入中。D/W 圧力 0.17MPa abs 140℃前後で安定。

3号機は 7t/h で炉注入中。D/W 圧力 0.11MPa, S/C 圧力 0.17MPa abs。温度 100℃強で安定。

4号機は、SFP に外部注水した際に、オーバーフローを確認。スキマーの水位が上がることを確認できました。

5, 6号機は、RHR で制御しており、炉水温度、SFP 温度とも安定している。

サブドレンによる排水は、1時間あたり、6~10m<sup>3</sup>、1台1日あたり 200m<sup>3</sup> 排水している。

(本店 [REDACTED]) 1~3号機は、安定しているということで引き続き監視して下さい。

(1F 復旧班1~4号機)

T/B溜まり水排水、建屋およびトレンチの水位について、3号機トレンチの水位は2750mm で安定している。

2号機 H/W から CST への移送を継続で、ポンプ2台化を再トライする予定。

1号機も H/W から CST への移送を継続中。3号機は本日開始予定。

4号機 SFP プールへの注水を、17時から22時に予定している。

3, 4号機ストレナまわりに詰まりがないため、漏れの確認を実施する。

1号機 N<sub>2</sub> パージについて、本店からの説明があります。

5, 6の建屋まわりのサブドレンの復旧、排水計画について、書画で説明。

昨日から放出しているのが90番です。本日(?)は7台のサブドレンポンプの起動を行う。

明日以降(?), 7台のポンプを復旧して排出する予定。青い部分はポンプの点検の後に復旧予定。

(1F [REDACTED]) 90番のサブドレン、1日あたり 200t です。5, 6号機で1500tなので、時間的に載けないと思われる。

(本店武黒)サブドレンを放出できる方策が必要。タービン建屋からの排出も含めた全体的な構想を明日説明に行く。早急に行うことができるようにしていきたい。

(1F 所長) 2号機ピット漏水の阻止の作戦について、既にモニタリングが終了しており、55mSv/h と昨日からほとんど変化無し。午前中は機材のセットアップ、14時から、A ピット近傍に鉛直に穴を開けて入浴剤を入れて、漏水が確認され

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

ば薬液注入を行う。

(1F ■スペシャリスト)漏水がトレンチ内では、下の敷石のまわりから出ていると考えられる。A ピットのまわりを取り囲むように薬液を注入したい。水が流れているかどうか確認する。水の止まり具合を見ながら薬液を注入する。ボーリング後、瞬間(3秒程度)でゲル化するような薬液を注入する。

(本店建設)圧力を掛けすぎてまわりを痛めないように注意すること。圧力を掛けずに本数でやる。止まらなければ本数を増やす。

(1F)キリン関係、1号機の象で4号機のSFPに注水する。1号機の象をたたんで4号機に移動します。スキマーが活着しているので、スキマーのレベルを確認しながら注水を行う。

(1F 所長)集中ラドの水を排出して線量の高い水を集中ラドに格納する予定。この際、集中ラドのバウンダリが重要になるため、建屋の確認をしている。重要な作戦であるので、本店でもしっかりとチェックして欲しい。

(本店 ■)人員の補充も含めて検討します。

(1F 所長)コンクリートも打たないといけないので、早くして下さい。

(本店武黒)手を打たないといけないので、至急対応の検討を行って下さい。

(内閣府細野)2号機の水の漏洩について、是非結果を出していただきたい。濃度の低い水については放出を許可した。漁業関係者からは厳しい意見もあったが、高濃度の水の放出を防ぐための政府の判断です。政府にてできるバックアップは行います。

(本店復旧)2号の漏水の水に対して、240m分のシルトフェンスを用意している。9、10日で用意できるので、まずは2号機前に設置し、その後・・・(聞き取れず)次に調達できるのが11日 各号機のポンプ前に設置することを考えている。

小名浜港にて組み立てる必要がある。パースの使用許可。作業届け出、使用許可が必要になるのでお願いしたい。

第1陣分については、広野火力にて用意をしている。

船員の放射線管理の放管員が必要となる(?)。

シルトフェンスが来るのに時間がかかるため、土嚢袋を壊れた防波堤に投入していく。

プラント側の排水路については、放水路の角落としを製作している。10日前後に設置できるが、RHRS への干渉を検討する必要がある。

(本店武黒)もう少し整理したものを発電所に示します。

(本店 ■)サブドレンは一般放出としたが、雨が降ると大量に発生する。扱いについて考えていかなければならない。

(■)至急検討してサイトに提出する。

清水港にあるメガフロートについて、横浜のMHIのドックに入れ、使える状態に

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

してから持ってくる予定。

(1F 所長)集中ラドへの移送を計画しているが、建屋のリークの有無を確認することが非常に重要である。どんな点検方針で具体的に何を行うかが明確になっていないため、本店側にてゼネコンさんとともに検討をお願いしたい。

(1F) 12日にはタービン建屋から集中ラドへの移送を行う予定であるが、集中ラド建屋の健全性のために遅れることは避けたい。

(本店■■■) 基本的考え方ややり方の説明を行います。

(本店武黒) 昨日の対応の中で、特に官庁連絡班と広報班は対外の情報発信を管理する班であり、確実にコントロール出来る人を円卓に付けるように徹底して下さい。

#### <決定事項/指示事項>

1. サブドレン、集中ラド、タービンの水の排水について、全体構想を整理して、明日 1F サイトへ説明に行くこと。(本店復旧班)
2. プラントの一般排水の扱いについて明確にして、1F サイトに説明を行うこと。(本店復旧班)
3. 集中ラド建屋の健全性確認の基本的考え方および具体的な方法を明確にし、人員の補充も含めて 1F サイトに説明を行うこと。(本店復旧班)
4. 各班とも、本店円卓には、班内のコントロールを確実に出来る人員を配置すること。(本店全班)

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業実績

(1F 所長) 2号機の漏水については先ほどの報告の通り。別の流入口を探す。現場から報告があれば、逐一連絡します。

(1F 発電) 1号機 6m<sup>3</sup>/h で炉注入中。パラメータ変動無し。

2号機 8m<sup>3</sup>/h で炉注入中。パラメータ変動無し。

3号機 18時からのラインの取り回しの修正のため10分間程度炉注水を停止した。その後、再起動してパラメータ等変動無し。

4号機 ゾウさんによる SFP への放水を17:35から行い、スキマーのレベル変動を確認して30分程度で停止した。

5, 6号機 サブドレンポンプを6台追加インサービスし、90m<sup>3</sup> 放出した。全体は500m<sup>3</sup>です。

(1F 復旧) 1～4号機のトレンチの状況について、3号機が 2740mm で安定している。1, 2号機は変化無し。

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

移送関係では、2号機H/WからCSTへの移送について、15:40にポンプ2台と  
なった。

1号機のH/WからCSTへの移送は・・・(聞き取れず)

3号機のH/WからCSTへの移送は、明日の朝開始予定です。

N<sub>2</sub>封入については、明日本店から1Fに説明に来る。

5, 6号機のサブドレンポンプの追加は、7台起動予定だったが、1台は後回しに  
なり6台の追加インサービスとなった。

6号機HPCSトレンチの水が出てきた件については、水を抜く作業を明日行う。  
D/G6Aのメガが低いので、ドライヤで乾かすことによりメガの回復を行う。このた  
めD/G待機除外となる。

(1F ■■■) 1号機のゾウさんを4号機に動かして、カメラで見ながらSFPをねらっ  
て注水を行った。30分程度でスキマーのレベルが変化したので注水を終了し  
た。SFPは満水に近かった。

(本店武黒) 2号機ピットからの漏水は、海への流出が本日で3日目であり、最大  
の課題です。今晚どのように対処していくか詳細に検討して下さい。

(本店建設) 新しい作業員が追加されているので、朝まで作業が可能です。薬  
剤は12m<sup>3</sup>までは入れられ、空洞の部分は5~6m<sup>3</sup>と考えられるので対応できると  
思います。

(本店武黒) 薬剤は十分ですか? → (本店建設) 十分です。

(1F ■■■) 入浴剤を入れたのですが、色の変化が確認できない。(どこに入れた  
か聞き取れず)

Aピットから北側にクラックが入っているが、幅70cmほどの構造物が見える。現  
場の●スペシャリストが新たなボーリングポイントを提案しています。

(本店建設) 書画で電線管路を説明。

(本店武黒) どこをねらってどう止めるか、建設班にて密に連絡を取って検討し  
て下さい。

(会長) 海の汚染が世の中の関心を集めている。英知を結集して、丁寧に慎重  
に、とにかく今晚中に止めることをお願いします。

(本店復旧) 集中ラドの水抜きについて、建屋のリーク状況のチェックを行う■■■  
GM以下20名+メーカーのチームが今夜出発した。漏洩対策チームを送りました  
のでお願いします。

(1F ■■■) 電源トレンチ地表面のクラックの先にボーリングを行うことにする。

(本店保安) 4日までの核種分析結果を示します。本日のAMのデータは明日の  
全体会議に間に合うようにします。

15km.沖のサンプリングは国が6ポイント、東電環境が3ポイント実施した。

(立地) 海への放出の問題で、各漁連からの呼び出しをもらっており、対外対応

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

を行っています。

(Jビレッジ)自衛隊としては、N<sub>2</sub>封入の作業時には、20km 圏内での活動を制限したい。自衛隊としては作業を優先してもらって構いません。自衛隊の隊員の出入りをコントロールするため、開始時間の連携をよろしく願います。

(本店武黒)開始時間について、余裕を持って自衛隊に連絡するようお願いします。

(海江田大臣)低濃度汚染水の放出については、やむを得ない処理でしたが、各漁連からの厳しい抗議を受けている。低濃度の放出であってもこれを最後にしたい。

(本店武黒)これからの雨等を考えた場合の一般排水も含めて、方針を明確にして、的確に対応して行きたい。

ピット関係の対応で、夜の海での作業となりますので、確実に願います。

#### <決定事項/指示事項>

1. 今晚中に2号機ピットの漏水を止められるように、薬剤の注入場所等の止水方法の検討を行うこと。(本店・1F 建設復旧班)
2. プラントの一般排水も含めて、排水の方針を明確にして的確に対応すること。(本店復旧班)
3. N<sub>2</sub>封入作業の開始時刻について、余裕を持って自衛隊に連絡するようにすること。(1F)

～全体会議終了～

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

<4/6(火)の時系列メモ>(情報班 ■■■)

9:00

～全体会議～

プラント状態、作業実績・予定

(1F 所長) 2号機ピットからの漏水は5:38に一旦停止している。現場は微少な漏れはある。これから外側の格子を取り外し、物理的に止水の処置を行い、モルタルの注入を行う。今の詰め物は強固ではないため、強固な処置を行う。

(本店武黒) 時間はどのくらいでしょうか？

(1F 所長) 午前中には機材が来ると聞いている。N<sub>2</sub> 封入の前には終わらせたい。

(会長) とにかく止水ができたことに感謝します。

(細野) 大臣からもお礼を言付かっている。一つ一つ課題を乗り越えていくことの重要性を再認識した。政府関係者も力を合わせていきたい。

(1F 所長) 2号機の止水が終わって2時間半経ちますが、立坑の水位は目立った変化はない。

(1F 発電) 1号機、炉注入 6m<sup>3</sup>/h、パラメータ変化無し。

2号機 炉注入 8m<sup>3</sup>/h

3号機 炉注入 7m<sup>3</sup>/h。昨日、ホースの引き回しのために10分程度停止したが、特に問題は無かった。1号機の N<sub>2</sub> パージが行われるので、パラメータの監視を行いたい。

5, 6号機、RHR により、原子炉・SFP 温度制御中。

サブドレンポンプ6台で排出中。合計で300～400m<sup>3</sup> 排出されている。

(本店■■■) プラントが安定していることは共通の認識である。N<sub>2</sub> 封入時の D/W 圧力の応答を監視していく。

(NISA) 1, 3号機の原子炉圧力が間違っていたとのことだが？

(1F 発電) 1号機と3号機の原子炉圧力について、AとBとの差が大きくなったので、確認のため C, D 系の計測を行った。デジタル電圧計から圧力に換算する際に換算係数に誤りがあった。一番大きなもので10%違いがあった。1号機は11%低めに換算。3号機は5.5%高めに換算されていた。

(本店武黒) 本店でも見直して、安全上問題ないか確認する。→(本店■■■さん)

本店発電所とも、データの扱いには注意しましょう。

(NISA) 炉注入のパラメータとして重要なので、きちんと管理して欲しい。

(1F 復旧) 2号機のトレンチ水位は常時監視しており、タービン建屋の水位は30分おきに人を張り付けている。トレンチが OP2960で変化無し。タービン建屋が8:30現在で OP3000で変化無し。

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

1, 3号機のトレンチ、タービン建屋水位は変化無し。

2号機の H/W から CST への排水は、昨日ポンプを1台追加して、9日の朝移送完了できる見込み。

1号機の H/W から CST への排水は継続中。

3号機は、H/W が満水に近く、マンホールを開けられない状況だったが、本日中に作業開始できる見込み。

本日10:30より、N<sub>2</sub> 封入に関する手順、避難方法、開始時間を本店と協議する予定。(1Fにて)

(1F 所長) 水素爆発を抑えるために N<sub>2</sub> 封入の必要性を理解しているが、作業安全性の確保が確実でなければ、実施の OK を出すわけにはいかない。安全が確認できた前提の元に、作業開始は18:00以降と考えている。

(本店■■■■) 安全の確保が最優先であることは当然です。最終的な実施判断は14:00頃になると思う。

関係者の情報共有、避難・退避指示を出したいと思う。

(本店武黒) 作業内容および安全の確保を午前中にしっかりと行うこと。

官庁連絡班と広報班は、14:00に N<sub>2</sub> 封入の実施の判断をすることから、13:30に集合して対応すること。

(1F 所長) 6日間入れ続けるわけですが、ずっと退避しておくのですか？

(本店■■■■) N<sub>2</sub> を6000m<sup>3</sup>入れますが、42m<sup>3</sup>/h で入れていく。250kPa くらいまで圧力が上がる。上げていく最中は退避した方がよいと考えるが、安定してしまえば退避の必要はない。

(本店武黒) 上げていく最中という表現がわかりにくい。

(本店■■■■) 夜中1時くらいには注入圧が安定する予定。

(本店武黒) 格納容器の圧力上昇中と言うことは、ずっと退避が必要と言うことか？

(1F 所長) 1気圧分上げるのに6日間かかるのですか？その間ずっと作業ができないのですか？

(本店■■■■) 窒素供給装置が安定的に注入できるようになれば避難の必要はないと考えており、今晚避難すれば十分と考えている。

(本店武黒) 注入装置の安定状況と、注入中のトランジェントの対応を 1F と良く情報共有を行って下さい。18:00を暫定的な開始時刻とする。そのために14:00に最終的な実施判断を行う。13:30に関係者は集合すること。

(内閣府細野) 水素爆発を防ぐために N<sub>2</sub> 封入は非常に重要な事です。連携を密にして実施をしていただきたい。必ず大臣、保安院と連携して行って下さい。また、適宜状況を報告して下さい。

(1F キリンチーム) 3号機の注入を予定しているが、N<sub>2</sub> 封入にあわせて調整

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

する。

(1F ■■■)線量の高いガレキの撤去について、ロボットの準備が整ったので確認試験を行う。その結果をふまえて、明日以降、計画を検討する。

6号機の D/G(A)のメジャー回復のためドライヤで乾かす作業を実施する。このため、9時から17時に D/G 待機除外となる。

(本店広報)今朝6時半に2号機ピット漏水停止のプレスをしているが、10時半に続報を出したいと考えている。2号機のタービン建屋・トレンチの水位に変化がないこと、水位変化がある場合にはその移送先の確保、その他の漏洩が確認されていないことなどをプレス予定。

10時に保安院さんが同様のプレスを行います。

N<sub>2</sub>封入の計画を行っていることをプレスに含めたいが、よいか？

(1F 所長)基本的には OK です。

(本店武黒)N<sub>2</sub>封入は重要なことなのでお知らせしても良いが、具体的な手順、実施時期等は検討中であり、追って連絡をするというスタンスとすること。

(本店保安)バースクリーンからの流入水の分析について、2日と5日のデータでは数値が減少している。南側放水口についても数値データは減少している。

RW からの放出の影響は見られない。

土壌サンプリングについて、25日と28日の分析が出ました。プルトニウムのレベルは過去の核実験の範囲内だが、組成は今回の影響が出ている。

敷地のガンマ線の評価について、JAEA と分析センタで分析方法が異なるので、公表する際には誤解が生じないようにする。

(通信)2F の構内で au の携帯が使えるようになります。

(本店武黒)注入関係の必要な作業、N<sub>2</sub>封入の安全性の確認について関係各所との連絡を密にとって確実に実施して下さい。

#### <決定事項/指示事項>

- 1.1, 3号機の原子炉圧力の換算誤りについて、安全上問題がないか確認すること(本店復旧班)
- 2.N<sub>2</sub>封入に関する手順、安全性の確保について、現場関係者との情報共有を行うこと。(本店復旧班)
- 3.N<sub>2</sub>封入の実施に当たっては、大臣、保安院への連絡および報告を密に行うこと。(本店本部)

～全体会議終了～

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

～全体会議～

19:30

(1F 所長) 2号機の漏水について、外側からの押さえを13:15に終了した。クラウドに止水処理を施して、漏洩は止まりました。止水処理は明日、明後日も継続する予定。引き続き、監視も行う。

(1F 発電) 1号機 炉注入 6t/h でパラメータは安定。これから N<sub>2</sub> 封入を実施することから、中操では4人の2時間交代体制で監視を行う。

2号機 炉注入は 8t/h でパラメータは安定。

3号機 炉注入は 7t/h でパラメータは安定。明日6時から SFP 放水を行う予定なので、パラメータの開始を行う。

1から3号機の炉注入の流量と吐出圧力について、遠隔監視できるようになりました。

5, 6号機は RHR で制御中。

サブドレンの排出量について、5号機が 505m<sup>3</sup>、6号機が 216m<sup>3</sup>でそれぞれ半分くらい(?)。上限を超さないように管理していきます。

(1F 復旧) トレンチ 1, 2, 3号機は状況の変化無し。

1, 2号機タービン建屋の H/W から CST への移送を継続中。

3号機 H/W から CST への移送計画中としていたが、マンホールを開けて確認したところ、水の流入があるので様子を見ており、今後対応を検討する。

4号機は集中ラドからの移送を中止しています。

明日の3号機の SFP 注水は N<sub>2</sub> 封入の状況次第。

集中ラドの海洋への放水について、プロセス処理建屋が今朝終了した。夕方から焼却建屋の放水を行っている。

5号機 MCR 室と三角コーナーを排水している。ホットラボの電源を活かす予定。サブドレンのケーブルの引き回しを行う予定。

6号機 D/G6A 17:22に除外待機解除。引き続き水位を監視していく。

(キリンチーム) 明日の3号機シマウマによる放水は朝6:00から2時間半の予定です。N<sub>2</sub> 封入の作業状況次第では時間短縮もしくは夕方に実施することを考えている。

4号機の SFP への注水は18:00から、スキマーのレベル上昇の確認もしくは5時間行う。

(本店■■■■) N<sub>2</sub> 封入の報告徴収について、14:15に NISA に回答した。内容についてコメントを受けており、その回答について審査をいただいているところ。

(本店保安) 2号機のバースクリーンの取水ができた。4号機のスクリーンのレベルとほぼ同じ。取水口に対して流入量が少ないため、低下傾向にある。放水口南側は下がり傾向で、北側は一定。検出限界に対して3桁ほど高

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

い。

首相官邸から、ヨウ素剤の投与の助言がありました。コメントがあれば明日の朝までに対応します。

(OFC 池田副大臣)保安院のチェックが問題となっているので、状況を説明して下さい。

(保安院)報告書を受け取りまして、3点のコメントを行っている。98%の窒素純度の信頼性について、環境への影響の評価、仮に爆発があった場合の評価、窒素注入による影響を求めており、先ほど東電より報告があつて、精査を行っています。

(本店広報)プレス文について、案を紹介した。

(本店武黒)NISA から了解をいただいた後に、プレス文案を確認します。

今まで通り、相互の連携、報・連・相、何かあつたら立ち止まることを徹底して、先を急ぐことなく着実に進めていくこと。

<決定事項/指示事項>

なし

～全体会議終了～

以上

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

#### <4/7(木)の時系列メモ> (情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00 プラント状況、作業進捗、作業予定。

(1F 吉田) N<sub>2</sub> 注入を22:30から操作を開始した。当初、計装設備に不具合があったことからその対応をしたあと、1:31には注入できる状況になった。N<sub>2</sub> 注入装置を1台目起動した後、2台目を起動し、D/W 圧力を監視しているが、安定している。5時頃 NISA に話をし、6時から避難をリセットし、作業を開始して良いという判断をした。その後、放水の作業に入っている。N<sub>2</sub> 注入装置の3台目の起動はトランジェントな状態に入る。18時、19時に N<sub>2</sub> 注入装置の3台目を投入する予定で考えている。

昨日修理した流水の箇所だが、修理した結果流水が止まった。外側の処置をして、昨日より確実な状況にしている。今日、明日でピット回りの地盤改良をする予定。

2号機の縦坑水位が2960mm から今朝の時点で3010mm となっており、24時間で50mm程度上昇している。その上昇率だと、1ヶ月位で縦坑がオーバーフローとなる。T/B の水については、急遽点検している集中 R/W に送る予定。H/W に送ることも考えられるが、集中 R/W に送水してしまう方が構成としてシンプルである。そのため、H/W はバックアップとして考えている。今後、本店と協議していきたい。

(武黒) N<sub>2</sub> 封入の状態をどのように見るか？ 3台目の N<sub>2</sub> 注入装置の起動まで進むか？ 現時点では安定した注入状況であるが、現時点での評価を行い、更に漏えい率の評価も必要と考える。

(復旧班■■■) (資料を用いて説明) 1:31から N<sub>2</sub> 注入を開始したが、当初3台起動していた時に予想していた上昇トレンドに対し、2台投入した段階でそのトレンドより大きいトレンドとなっている。その理由は、予想トレンドでは S/C 水位が通常水位として計算していたが、現時点では S/C が満水であるため、D/W の方しか N<sub>2</sub> 封入をしていないためだと考えられる。今後、サイトと N<sub>2</sub> 注入装置を2台のままで行くか、3台目を投入していくか、解析結果も踏まえて協議していく。

(1F 吉田) サイトはこのままの状態でも異議はない。指示をもらえば良い。

(武黒) 1号機のプラント状況を推定する上でも有意義なので、状況の変化を総合的に評価すること。全体的な評価の取り纏めについて、■■■顧問を中心に、夕方までに整理すること。

(武黒) ピット周囲の地盤強化については、周辺を良く把握して実施すること。現在、建設復旧班で手配中であるが、海水への拡散防止、類似箇所が無いか、平行して対応を進めていくこと。

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

(1F 吉田) T/B の水位が、1日で50mm程度上がっている。その水位上昇は今の2号機の炉水注入量とほぼ同等である。従って、他への回り込みが無いものと考えられる。監視はしっかりやっていくが、T/B 建屋に戻っている可能性が高いと考えている。

(武黒) 私もそう思っているが、水道があつたのも事実。回りを把握していくこと。

(内閣細野) 2号機 T/B には細心の注意を払って欲しい。昨日までの認識は、T/B から H/W に移動したほうが良いと考えていた。吉田所長の分析は、移送する場合もある程度纏めたほうが良いとの考え方だが、現場と本店で厳密に調べてもらい、最も安全な方法でやること。流出の危険が少しでもあるのであれば、そういう姿勢でやってもらいたい。技術を持っている皆様の意向を政府として尊重するが、慎重に対応をお願いしたい。

(武黒) 今日中に本店として発電所間で協議して対応を決めていきたい。

(内閣細野) 国内はもとより、国外に対しても、もう一度流出は絶対起こしてはいけない。

(1F 所長) 伝え方が悪かった。H/W に移送すると H/W 周辺の線量が高くなるので、他作業と干渉してしまう恐れがあることから、4月中旬から集中 R/W へ移送することが可能となる予定なので、集中 R/W に送水したほうが良いと考えたとの主旨であった。ご意見は了解した。

(1F 発電班)

1号機は炉注水の流量は $6\text{m}^3/\text{h}$ 。N<sub>2</sub>封入のため、D/W 圧力が安定して上昇している。9時の段階で、D/W 圧力が165.5KPa、原子炉圧力が0.36MPa。

2号機は炉注水の流量は $8\text{m}^3/\text{h}$ 。パラメータ安定している。

3号機は炉注水の流量は $7\text{m}^3/\text{h}$ 。SFP 放水したが、パラメータは安定している。

1, 2号機の中操は現在2時間交代で監視しているが、線量等も上がっており環境が厳しくなっている。チャコールフィルターの交換とベンチレータの設置が必要と考えている。

(1F 吉田) 地震直後、中操の後扉(電源盤)を開けてしまったので、遮蔽効果がなくなった。大至急修理したいが、本店の協力もお願いしたい。

(武黒) 建設復旧班と相談する。

(1F 発電班) 5, 6号機は RHR で原子炉温度、SFP 温度制御している。サブドレン状況は、5号機:サブドレン排水量: $537\text{m}^3$  (上限  $1,000\text{m}^3$ )、6号機:サブドレン排水量: $221\text{m}^3$  (上限  $500\text{m}^3$ )

(1F 復旧班)

2号機の T/B 水位が、OP3010まで上昇した。1日で50mm程度上昇している。

2号機のグレーチング上面から水面まで99cmとなっている。T/B の水抜きは1, 2号機継続で実施している。3号機はマンホールを閉めて監視中。集中 R/W か

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

らの放水はプロセス建屋については終了しているが、HTI 建屋の放水を実施して今日の日頃終了する予定。

(1F復旧班5～6号機)5、6号機中操のクリーン化をしている。取水口回りの電動機の油抜きをしている。サブドレンケーブルの敷設をしている。

6号機は T/B 床面の油処理、盤の点検、サブドレンのケーブル敷設をしている。東京消防庁のハイパー放水車とボンパー車を体育館の脇に移動する。

(1F)3号機は6:53～8:53に70tを放水した。4号機は象の放水を予定しており、150tカスキマー上昇のどちらか早い方で対応する。

(本店保安班)N<sub>2</sub>注入をし、圧力が立ったが、MP の変化は無い。海のデータは北と南の放水口で特段変化は無い。

(          部長)無人ヘリの導入について。本日 J ビレッジで試験飛行をし、明日サイトへ搬入可能となる予定。

(小森)無人ヘリについて自衛隊と運用方法について相談し調整していきたい。本店もウォッチしてもらいたい。防衛省と自衛隊に話をしてもらうことが重要と考えるので宜しくお願いする。

避難区域の犬を助きたい法人が来ているが、避難区域での物品輸送の話となるかどうか、県警と話をするとのこと。サーベイできるかできないかの問題ではなくて、避難区域など全体的な話なので、J ビレッジで判断できないので警察に話をしたいと考えている。

(武黒)安全第一、報連相、何かあったら立ち止まって検証、確実にステップを踏むことを優先してやること。

#### <決定事項/指示事項>

・N<sub>2</sub>封入の3台目の投入可否について、総合的に評価をした上で夕方までに検討及び整理すること。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:02           プラント状況、作業進捗、作業予定。

(1F 発電班)

1号機は、D/WN<sub>2</sub>封入を継続実施中。流量28m<sup>3</sup>/h で安定して封入している。

2号機は、本日SFPへの注水を36t程度実施した。その結果、スキマーサージタンクの水位が5.5mから5.6mに上昇した。SFPの温度が50℃から72℃まで上昇した。原子炉への注入流量は8m<sup>3</sup>/hであったが、RPV回りの温度データが

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

ら水位が上昇していると考えられるので、また注入水がT/Bにいかないように、注入量を7m<sup>3</sup>/hに下げる絞り操作を19:00に行った。

3号機は6:53~8:53までの約2時間、SFPへ放水を実施した。放水量は約70t程度。

4号機はゾウによる放水を19時頃から5時間程度行う予定。(補足:放水は18:23分実施しており、19:40に終了した)

5, 6号機はRHRで原子炉温度とSFPの温度を制御している。

5, 6号機のサブドレン排出状況は、1500m<sup>3</sup>上限に対して、1056m<sup>3</sup>排出済。(1F復旧班1~4号機)

トレンチの状況について、変化はない。2号機の縦坑水位はOP3010ということで変化は無かった。1, 2号機のT/Bの水抜きは継続でH/WからCSTに移送している。2号機はH/WからCSTへの移送が完了次第、4月10日を目処に、縦坑からH/Wへ移送する準備をしている。

(武黒)縦坑を経由して、H/Wの水を移送するのが4月10日ということですね。

(1F復旧班1~4号機)そういうこと。

3号機については、復水器の上部マンホールを締め付けた。バキュームブレイカーからの漏えいを確認する予定。

4号機は移送無し。

集中R/WのHTI建屋の水抜きは昼頃完了予定と言っていたが、夕方迄かかった。現在、ほぼ水抜きは終了している。残水があるが、集中R/W建屋の貫通部確認との調整を取りつつ、進めていきたい。

(武黒)これから重要なのは、貫通部等からの漏えいを招かないように、止水処理を行うことである。計画的に、かつ確実に実施するようにお願いしたい。明日以降、その状況について報告すること。

(1F復旧班5~6号機)

5号機は、ヤード回りの電動機の油抜き作業を継続している。サブドレンのケーブル敷設作業を継続している。

6号機は、T/B地下の油処理作業を継続している。M/C、P/Cの遮断機と制御盤の点検作業を継続している。サブドレンのケーブル敷設作業を継続している。

また、2, 3号機のハイパー放水車2台を体育館脇に移動した。

(N<sub>2</sub>封入プロジェクト)昨日、1号機へN<sub>2</sub>封入を開始して、14m<sup>3</sup>/(h・台)の流量でポンプ2台運転を開始した。今日の10:30以降、1時間間隔に延ばしてデータを採取している。現在、緩やかな圧力上昇で安定している。18時の時点でD/W圧力は177.1KPaabsを示している。温度も落ち着いており、安定的に推

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

移しているのので2台運転で継続し監視も継続で実施していきたい。

(武黒)これらの状況、圧力のトレンド、全体的な温度も含めて、設備の運転状況を見える化して欲しい。また、格納容器の漏えい率は評価するのか？

(N<sub>2</sub>封入プロジェクト)当初計画したのは、所定の圧力(初期圧力+100KPa)到達までN<sub>2</sub>を封入して、到達後N<sub>2</sub>封入を停止する。一定時間での圧力変動を見て、リーク量を算出する予定である。今のペースでいくと、4月10日の未明には、所定の圧力にまで到達する予定。それ以降、窒素注入を停止して、リーク量を算出して、その後の注入をどうするか検討していく。

( ) N<sub>2</sub>注入を一定の割合で実施しているので、この割合でD/W圧力カーブがねてくると考えている。そのねかたでリーク率が算出できると考えている。

(武黒)ひとつの算出方法だけではなくて、他の方法でも検証して精度を上げて欲しい。

(キリンプロジェクト)

本日、3号機6:53からシマウマ放水を2時間実施した。放水量は約70t。4号機は18:23から放水を実施している。

明日、3号機のSFPへシマウマによる放水を17時から2時間予定している。

(1F)病人について、いわきの共立病院へ搬送した。比較的気温が高かったことと、全面マスクで作業をしていたので、今後熱中症が増えていく可能性がある。気を付けて作業をしていきたいと考えている。

(武黒)全面マスクだけではなく、今後アノラック等の装備が追加された作業が多くなる。そのため、作業時間の設定だとか体温を上げない方法、休憩の取り方など、従来の熱中症対策を配慮すること。熱中症が発生した場合の備えについても必要なことが無いかな、もう一度再検討してください。

(1F) グールベストの配備はもう少しで配備される予定。

(武黒)2号機T/Bの水抜きや、H/W移送状況、止水関係の確認が終われば、全体的な進行状況が分かるように情報班とやり取りすること。

(保安院)5, 6号機T/B地下に漏れ込んでいたことについて変化はあるのか？

(1F) 5, 6号機地下水の漏れ込みは減っている。HPCSD/G室、RHRポンプ室、スイッチギア室も水位が減っている。それは、サブドレンを排出したためと考えている。

(武黒)そういうデータも整理すること。

(本店保安班)3点ある。

1点目は海水の件で、2号機のパースクリーン回り、物揚場回りの線量が下がってきている。希釈されているためだと考えられる。南側放水口については、過去のトレンド通りである。北側放水口については、若干の上昇が見られているが、

本資料は、本部円卓および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

原因は調査中である。

2点目は、ゲルマニウム分析装置の件で、公表時のデータが誤っていた。理由は、紙が間違っていたため。広報とのやり取りの間で紛れ込んでしまった。もう一度、原子力品質・安全部の力を借りて、プロセスを整理したい。

(武黒)業務フローを整理して、チェックを原子力品質・安全部でやってもらいたい。同時に無駄も排除すること。

(本店保安班)3点目は原子力被災者対策支援チームの件について、医療機関に搬送する場合、放射線管理員の随同行の徹底が記載されている。前回の3人(100mSv 超え)を搬送した際に、放医研へ放射線管理員が随行しなかった(?)ため徹底したい。厚生班にお願いだが、我々保安班の知らないところで放医研へ相談にいっているようだが、保安班に連絡をして欲しい。

(建設復旧班)2号機のピットからの漏えいに関する作業で、既に昨日5:38に漏えいが止まった。ボーリングを使って薬剤を注入した後は漏えいが見られない。更にもう一本ボーリングを実施し、NW薬液を注入する予定。3本やったことによつてほぼ収まった。砕石層の中に高レベルの液体がある可能性があるため、抑えたいと考えている。今晚、または明日以降実施予定。

2点目、これと同じような事象が起こる可能性がある場所があれば、コンクリートで閉塞させる検討を始めた。4号機の海水配管、ケーブルダクトへ昨日100m<sup>3</sup>のコンクリートを使い閉塞させた。4月11日迄コンクリートで閉塞させる準備をしていく。

3点目、大型土嚢を42体、南側防波堤に並べた。明日以降、毎日20体ペースで設置していく予定。ガラの処理を有人で処理していたが、無線で処理できるようにしたい。高線量のガラは無人で、そうでないものは有人で処理していくこととする。

最後、熱中症について、ゼネコンにクールベストを配備するなどお願いする文書を出した。

(保安班)退避区域から退避する際のスクリーニングレベルが決まっている。現地、10万CPMとしている。通常のスクリーニングレベルと異なっているため、混乱が生じている。1週間かけて手順を定めてリリースする予定。

(武黒)体調管理、報連相を引き続きお願いしたい。

#### <決定事項/指示事項>

- ・以下のデータを整理、見える化すること。
  - N<sub>2</sub>封入状況について、圧力、温度のトレンド、設備の運転状況。
  - T/Bの水抜き状況、H/W移送状況、外部漏えいの止水状況についての進捗
  - 5, 6号機サブドレンの排出状況と建屋側の水位

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

- ・核種分析公表に至るまでの業務フローの整理及びチェック、無駄の排除。

～全体会議終了～

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

#### <4/8(金)の時系列メモ> (情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定。

(地震対策センター■■■) (資料を用いて説明) 宮城県沖地震について、昨晚23:32発生した。概要は、震度6強、M7.4、震源深さ40km、発電所からの距離は1Fが122km、2Fが130km、KKでは312kmである。震度6強は余震で始めてである。1Fは震度5弱で、6号機で検知した最大加速度は水平方向52ガル、上下方向55ガルであった。2Fは震度4で、水平方向58ガル、上下方向51ガルであった。KKは震度2で、水平方向4ガル、上下方向2ガルであった。

東北地方の地震通信がうまくいっておらず、地震計も一部水没していることから、観測地点は、1Fで6号機、2Fで2、3、4号機である。他社状況として、東北電力の女川原子力発電所は、外部電源3回線のうち2回線停止した。炉心冷却装置が自動停止したが、その後再起動した。同発電所での最大加速度は476.3ガルであった。

(武黒) 影響は？

(1F 吉田) プラントパラメータを見たところ影響は無いと考えている。細かいデータでいうと、計器側の問題と考えられるが、不連続なデータ等が見られている。

(本店) 送電は問題なく実施されている。新福島変電所では設備損傷は無かった。

(耐震技術センター■■■) 水素爆発した建物が今回の余震で大丈夫だったか、社内的に検討しているところ。大丈夫であったと考えている。

(武黒) 今回の地震で特段大きな被害が無かったとのことだが、本店側の体制が不備であった点が問題である。今日から運用を強化する。

(勝俣会長) 体制不備について、役員の責任体制が明確でなかった。そのため、役員10人を責任者として配置する。復旧班の責任者は今まで通り部長級の方が対応する。

(1F 発電班)

1号機は原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/hで実施している。D/WのN<sub>2</sub>注入は継続で実施している。今回の地震により、プラントパラメーター変動が2点計測された。

1点目は、給水ノズル(N4B)の温度で、通常220℃～230℃を指していたものが、地震後250℃～260℃となっている。他のノズル温度は変動していないことから、計器側の問題として認識している。

2点目は、CAMSの指示が地震前30Sv/hであったものが、地震後180Sv/hとなり、今日の8時で70Sv/hとなり、指示がふらついている。そのため、CAMSも計器側の問題と考えている。他のプラントパラメーターは異常が無かった。

2号機は原子炉への注水を昨日19時に8m<sup>3</sup>/hから7m<sup>3</sup>/hに変更した。流量を

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

変更したが、プラントパラメーターは安定している。

3号機は原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメーターは安定している。

SFP への放水は3号機へシマウマにより約70t放水を実施した。4号機へはゾウで放水を実施している。

5, 6号機はプラントパラメーターに変化は無い。5, 6号機のサブドレンの排水は管理値1500m<sup>3</sup> に対して1100m<sup>3</sup> まで排水している。管理値を越さないように管理する。外部電源について、今朝確認したところ、特段異常が無いことを確認している。

(地震対策センター) 1号機の CAMS のデータが、本日8時で70Sv/hに落ちている。計測器の影響があったものと考えられる。引き続きデータを注視していく。

(1F復旧班1~4号機) (資料を用いて説明)

集中 R/W の排水受入準備について、4月8日~4月11日の予定として

<準備>

- ① 仮設ポンプ、配管、電源の敷設
- ② 集中 R/W 周りトレンチやコンクリート、配管貫通部の閉止作業
- ③ ①で敷設する配管を通すための貫通部ボーリング
- ④ 集中 R/W 建屋内調査(壁にひびが入っていないかなど)

<実績>

- ① 2号機の縦坑へ水中ポンプ据付が完了、残りは継続で実施中
- ② 配管貫通部ボーリング作業を継続で実施中
- ③ 4月7日に完了
- ④ 継続実施中。

昨晚18時、2号機の縦坑水位が OP3010から OP3030に増加している。漏えいが止まった時点から2日間で70mm水位が上昇している。

T/Bの水抜きについて、1号機はH/WからCSTへ移送を継続で実施している。ポンプの容量が少ないと考えているため、交換か追加を実施する予定。2号機はH/WからCSTへ移送を継続で実施しており、4月8、9日の完了を目指して進めている。

(1F復旧班5~6号機)

5号機は、中操クリーン化を継続で実施中。また、R/B 水位の確認を継続で実施している。ヤード周りのポンプ電動部の油抜きを一部完了している。

6号機は、T/Bの油移送を継続で実施中。P/C及びM/Cの遮断機点検を継続で実施している。また、RHRS、HPCS、HPCSD/G室の水位確認を継続で実施し

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

ている。

1～4号機ヤードの構内道路に散乱しているガラスの片付けを開始する。そのため、敷設してある一部の消防ホースの撤去を行う。ガラス撤去にあたっては、キャタピラ式の無人操作による機械で実施する。

(SFP 注水班) \* 班の正式名称は不明

昨日は、3号機の SFP へ2時間で約70t放水を実施した。4号機の SFP へは18:23～19:40で約30t注水し、スキマーサージタンクの水位上昇が確認された。

本日は、3号機の SFP へ17時から約70tの放水を計画している。

(N<sub>2</sub> 封入班) \* 班の正式名称は不明

(資料を用いて説明) N<sub>2</sub> 封入ライン構成やトレンドについて見える化を実施した。資料のライン構成にあるように、ポンプ2台運転でコンスタントに N<sub>2</sub> を封入しており、安定している。トレンドについては、若干カーブが寝てきている。

N<sub>2</sub> 装置について、流量が70m<sup>3</sup>の物が来る。そのため、ノズルが2つ余っていることから、そのうち一つに繋げて A、B との切替を行っていく。電源については、早ければ夜中に切替完了する予定。

(武黒) 2号機の H/W から CST の移送は今日又は明日完了予定で、その後 T/B の水を H/W に移送ということで良いか？

(1F 吉田) それで良い。移送は現在順調である。しかし、H/W のチューブは外の海と繋がっている。そのため、チューブの健全性が担保されないと、外の海へ流出するリスクがあると本店側も共通認識を持って欲しい。運転中のパラメータからチューブは大丈夫と思っているが、本店本部でもそのリスクについて認識を持つこと。

(武黒) 取水口は鉄板で閉止する作業を実施しているが、排水口についても対策を本店復旧班で検討すること。

(1F 吉田) 発電所で考えている重要事項は、水の移送方法と出続けている水の処理方法である。本店も体制を充実して検討してもらわないと、発電所が持たないという共通認識を持つこと。

(武黒) 水移送については、■■■■ 部長が全体指揮を取っている。対策について過不足が無いようにしていく。

(本店 ■■■■) (資料で説明) 窒素注入以降の D/W 圧力について約 30 時間で180KPa、1時間あたり1KPa 上昇している。合計、800m<sup>3</sup> の窒素が封入された。圧力上昇カーブから、現在の格納容器内の水位は赤道付近か、S/C 満水状態であると考えている。

(本店復旧班 ■■■■) 酸素濃度が高くなるので、純度の高い N<sub>2</sub> 供給装置を1号機に使わせてもらうよう調整をしている。

(本店保安班) (資料で説明) 物揚場の線量は少し下がってきた。2号機バース

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

クリーン前の線量はレベルが下がってきている。4号機バースクリーン前の線量は2号機と同じレベル。南側放水口のレベルは変わっていない。北側放水口はサブドレンが放水されているが、資料から上がっているように見えるが、昨日の夕方データでは若干下がっている。MP のデータについては、地震 や N<sub>2</sub> 封入による影響は見られない。なだらかに下がり傾向を示している。

(小森)昨日の大成建設作業員の熱中症について、休憩を含めて作業計画を立てることについて、アドバイスをもらった。

集中 R/W について水処理の準備、取水という話があるが、ダクトとツーツリーにならないようにすること。高レベルが入るため、多様性を持った遠隔の水位計測をすることが重要。(高レベル放射性廃液が集中 R/W へ移送されるため、単一故障で移送や水位計測が不可能とならないようにすること、線量が高いことから遠隔で水位計測をする装置が必要との主旨と思われる)

(復旧班)アドバイスありがとうございます。検討させて頂く。

(本店保安班)東電環境による沖合15kmの海水サンプリングだが、本日海が荒れているため船が出せないことから欠測となる。

(保安院)2号機の H/W への移送について、運転中の真空度の再チェックをお願いしたい。移送する場合の放水口のモニタリングを実施すること。

#### <決定事項/指示事項>

- ・ 役員10人を責任者として配置
- ・ 排水口について、復水器のチューブリーク対策を実施。(取水口側は実施済)
- ・ 運転中の真空度再チェック、移送する際の放水口のモニタリング

～全体会議終了～

～全体会議～

19:01 プラント状況、作業進捗、作業予定。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/h で実施している。原子炉水位、原子炉圧力に大きな変化はない。D/W への N<sub>2</sub> 封入を4月7日の1:31から継続で実施しているが、D/W 圧力は本日19時の段階で190.4KPa となっている。従って、当初から34KPa 圧力が上昇している。地震後、D/W の CAMS の値に異常があったため、確認をしたところ、計測器に掛かる電圧が通常 500V のところ 4V であることが確認された。つまり、地震の影響により計測器不良となったと考えられる。

2号機は原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメーターは安定

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

している。

3号機は原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。

4号機は特になし。

本日、3号機の SFP ヘシマウマによる放水を実施中である。

1号機の中操へチャコール付き仮設ファンを4台設置している。

(1F 発電班)

5, 6号機は RHR で原子炉水位及び温度、SFP の温度を制御している。

サブドレンの状況は、5号機では管理値1000m<sup>3</sup> に対して、本日12:14の時点で950m<sup>3</sup>、6号機では管理値500m<sup>3</sup> に対して、本日15時の時点で320m<sup>3</sup> 排水している。引き続き、サブドレンで放水することとする。

5号機の R/W エリアをパトロールしたところ、地下全域で深さ10cm程度の水が溜まっていることを確認した。地下水等が原因と考えられるが、サンプリングの結果を待ちたいと考えている。

(1F 復旧班1~4号機)

集中 R/W の排水状況は本日の朝 MM で伝えた状況と変わっていない。

2号機の縦坑水位は11時の段階で OP3050であり、今朝から20mm程度上昇している。

(武黒)水位の最新データはないのか?

(1F 復旧班1~4号機)18:30の時点で同様に OP3050となっている。

3号機は18:30の時点で OP2750となっている。

(1F 復旧班1~4号機)

引き続き状況をお伝えする。

1, 2号機では H/W から CST へ水を移送している。2号機の移送は明日の午後終了予定。

集中 R/W の残水の放水は、本日14:30から開始しており、2日程で各建屋からの放出が終了する予定である。

(1F 復旧班5~6号機)

中操のクリーン化、R/B と T/B の水位確認を継続で実施している。また、本日東京消防庁から借りた4台の消防車について、水洗いをして体育館脇に移動させた

(N<sub>2</sub> 封入班) \* 班の正式名称は不明

朝の会議で伝えた、高純度 N<sub>2</sub> 発生装置の切替作業を実施する。現在、単体試験を実施しており、あと30分程度で単体試験が完了する予定。現状は順調に進んでいる。単体試験終了後、本店と最終確認をして、切替の手順に入りたいと考えている。本店へは、別途連絡する。

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

(1F) (資料で説明) 5, 6号機のサブドレンの排水評価について説明する。

5号機の各ピットの排水を4月5日17:25から実施している。RHR(A・C)ポンプ室、RHR(B・D)ポンプ室、CS(A)(B)ポンプ室の水位を見ると、例えばCS(B)室では、サブドレン排出前は2日に一回の割合で水抜きをしなければならなかったが、4月5日以降、水位上昇ペースが鈍化し、排水が必要なペースが2日より長くなってきている。

また、6号機ではピットの排水を4月4日21:00から実施しているが、RHR(C)室でいうと、排水前は1週間に1回の割合で水抜きが必要であったが、4月4日以降は排水が必要なペースが長くなってきている。サブドレンの排水効果があったものと考えている。

(1F 吉田)プラントは一時的に安定していると考えられるが、2号機のピットからの漏えいなどあったように、線量1000mSv/hの水との戦いはこれからである。高線量の水を出さないことが、東電のみならず、日本全体の問題となっている。そのため、最優先課題として認識している。排水については、          部長が対応されているが、1000mSv/hの排水は日本でも行ったことの無い作業であるため、より綿密に計画を練らないといけなく考えている。心配しているのは、その水を抜いた後、乾燥するとダストが舞い上がってくる。そのため、そのダストを如何にして撒き散らさないようにするか検討が必要と考えている。

2点目は、2, 3号機の原子炉への給水について、FPラインを使用しているが、詰まる可能性がないとはいえないので、バックアップを作ることが必要である。

3点目は、水処理について大至急簡易的でも良いので線量を落としたりする処理設備が必要である。長期的には焼却炉等も含めて、ごみを処理するR/Wの構築をやっていないといけない。

以上、3点が重要と考えている。各種プロジェクトがあるが、この3点を優先事項として人と機材を投入して欲しい。是非とも同じ認識で本店とやっていきたいというのがお願いである。合わせて、戦える環境作りも必要である。昼間は免震棟に700~800人程度人の出入りがある。人の入り口と物の搬入口が同じであったり、物の移動をバケツリレーで行ったりしているため、現状戦い辛い環境となっている。至急対応をお願いしたい。

(武黒)排水作業について、今後の取り扱いは吉田所長の言われている通りと思う。そのための対応及び準備や、長期的な取組みは不可欠であるため、陣容の強化、人の再配置について復旧班だけではなく、広い意味で考えていくべきである。なるべく、早いうちに示していくことが必要と考えているので検討を急いでもらっている。すぐに対処したい。

免震棟の環境作りについては、更に改善が必要なポイントであるので、厚生班と復旧班だけでは間に合わない。現場の実態をどうしようにしたらよいか、

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

免震棟の在り方そのものもあるので、運用をどうするのか本店の受け皿を作らないといけない。まず、現場に行って状況を確認した上で、検討を早くするようにしたい。[ ]部長すぐに対応をお願いしたい。

([ ]部長)関係する所と連携して早めに案を作りたい。

(1F 吉田)宜しく願いたい。

(1F 保安班)(資料で説明)2点お伝えする。

1点目は、明日からシルトフェンスの設置が始まるため、取水口のサンプリングを行っているが、No.2 の取水口のサンプリングを継続させ、No.4 は取りやめとし、カーテンウォールの内側でサンプリングを行いたいと考えている。

2点目は、MP-1,2 が免震棟で遠隔監視できるようになった。そのため、MP-1~8が免震棟で監視できるようになった。明日以降、正門や西門の仮設モニタリングの運用を中止したいと考えている。本来のモニカーの運用に入りたい。

(本店保安班)1点目は合理的であるので、本店として受け入れられる案である。

2点目は、まだ調整事項があるようなので、本店と調整させて欲しい。

(1F 保安班)了解した。

(本店復旧班)シルトフェンスの設置については、広野火力で紹介頂いた。ありがとうございました。

(本店保安班)(資料で説明)モニカーで西門のダスト分析をしているが、N<sub>2</sub> 封入した後、変化は見られない。ダストだが、夜中の2時のサンプリングでセシウム137が跳ね上がっているように見える。何らかの舞い上がりがあったものと思う。継続評価が必要と考えている。

(本店安全班[ ])昨日発生した宮城県沖地震によるプラントパラメータの影響について調査を指示されたので、回答する。原子炉安全の観点から、D/W 圧力、原子炉圧力、原子炉温度を見ると、ほとんど変化はなく、データが連続的であるのに対して、CAMS の値は振幅の大きい変動を示している。計測制御 G で装置の点検(メガ測定)をしたところ、検出器の不良と判明した。そのため、1号機の CAMS の値変動については検出器の異常が原因と考えている。

給水ノズルの温度変動は、他の部分の温度が一定であり、地震発生後、ハンチングが見られないことから、何か問題が起きているとは考えられない。

(Jビレッジ)明日、T ホークプロジェクトが開始される。技術部の [ ] が主で行っている。4月9日、サイトで初フライトを1時間程度実施する。展望台から離陸させ、4号機から1号機へ2往復程度、高さ150~300mの間で飛行する予定である。飛行可能な天候条件は、雨でも飛行が可能だが、風速7m未満、飛行中は10m未満である。

(海江田大臣)明日、1F、Jビレッジ、OFC へお邪魔する予定。作業の邪魔にならないように、自分の目でしっかり現場を見ていきたいと考えている。宜しく願

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります

本店情報班

いしたい。

<決定事項/指示事項>

- ・ 免震棟の環境改善
- ・ 高線量水処理方法の検討
- ・ 1, 2号機原子炉注水ラインのバックアップ検討

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/9(土)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定。

(1F発電班)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/h で実施している。原子炉水位、原子炉圧力安定中。原子炉圧力は0.4MPa。D/W への N<sub>2</sub> 封入を4月7日の1:31から継続で53時間実施している。3:24~4:10 純度の高い供給装置に切り替えた。

7:00現在 195kPa、現在、注入開始から、38kPa上昇している。

2号機は原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。

3号機は原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。

4号機は本日、SPFへソウにより、スキマーレベル上昇確認まで注水予定。17時~予定。

5, 6号機は RHR で原子炉水位及び温度、SFP の温度を制御している。

サブドレンの状況は、5号機では4/8 12:14 完了。管理値1000m<sup>3</sup> に対して、950m<sup>3</sup>、6号機では管理値500m<sup>3</sup> に対して、本日6時現在で351m<sup>3</sup>。一日あたり40m<sup>3</sup>、あと管理値到達まで2~3日かかる予定。

(1F復旧班1~4号機)

集中 R/W の排水状況は継続して実施している。受け入れ準備も実施中。

立坑の水位について。

1号機 18:30時点 OP2940、今朝 OP2930。

2号機 OP3050から3060mm 10mm 上昇している。

2号機の H/W→CST 移送は、本日13:00 CST満水により完了する予定。14:00~ L/T実施。その後、H/Wへ移送を開始する。

集中ラド 水放水について、HTI 残水処理は終了。プロセス建屋の残水処理を実施中。

(1F復旧班5~6号機)

5号機。中操のクリーン化を実施する。

取水口のポンプ油抜きが終了。モーターは工場搬出予定だが、道路のガレキを片付け次第、重機を入れる予定。

Tb/B建屋地下水位 変化無し。

6号機M/C P/C 点検中。水位監視して変化なし。

(N<sub>2</sub>封入班)

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(書画資料参考)3台98%→1台 99%以上に切り替え実施。O<sub>2</sub>濃度 0.08% N<sub>2</sub>濃度は99.92%が送られている。

(キリン班)

ポンプの電動化を進めている。4号のゾウの注水は電動化で行う。

(水処理班)

配管の敷設工事を実施中。

(武黒)立坑の水位の変化について、1号機が1cm、2号機が1cm/日増加という理解でよいか？

(1F)2号機は3日間で10cm増加している。

(1F吉田)なお、1号機は1cm、減っている。

(武黒)集中ラドの受け入れ準備について、工程上11日までとなっているが、本工程は重要であり、受け入れ完了には万全を期しているので、工程変更あれば適宜連絡のこと。

(1F吉田)コンクリートの塗装の不十分が気になる。建築で対応中だが乾燥の時間が必要かも。別途調整したい。

～本店復旧班～

( )集中ラドの受け入れ準備、目張り、塗装、気密性については、慎重な評価が必要。当初計画32000t受け入れというよりは、実質的な容量で計画したい。また、体制について組み直している。メーカー等の協力や本店の組織改編等、本で行う。

(武黒)現地の派遣等もふまえて対応して欲しい。

(本部安全 )N<sub>2</sub>封入について、順調に進んでいる。圧力の上昇率が少なくなってきたため、ある程度は漏れがあると考え。今後詳細に評価を行う。

(1F吉田)評価は良いが、どういった状態でどの程度入れるか、判断基準を早急に整備方。

(武黒)夜の全体会を待たずに発電所と共有方。

( )あり得ない程の保守的な評価を行って、ようやく危険性が現れる程度。

(吉田)どういった流量をどういった条件で入れるかということ。

( )4号機のSFPのサンプリングについて。燃料破損が無いことを調査・証明したい。ぞう(No. 2)にサンプリング装置を装着して実施する予定。

4/11にゾウとゾウNo. 2を切り替えたい。4/12にサンプリングを実施予定。4

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

／13以降は、ゾウのN6. 2でSFPの放水は継続する。

( )津波の評価について、本日プレスを行う。

( )1Fの津波の浸水エリアについて、OP14～15m高さまで浸水している。2Fは海水Hx建屋は6～7m、南側から回り込みにより、1～2号一部浸水した。

(武黒)5, 6号機は？

( )基本的には1～4号機と同じ。

(吉田)5, 6号も資料に含めた方がよい。

( )了解。

(OFC池田副大臣)N<sub>2</sub>封入の対応を評価する。ただし、あらゆる事態を想定しておいて欲しい。また勝俣さんにお伝えしたい。東電の代表者が県に早急にきて欲しい。

(勝俣)海江田大臣の訪問後として検討したい。

(武黒)なお、海江田大臣は本日福島に視察に向かっている。

<決定事項/指示事項>

・1～3号機のN<sub>2</sub>封入について、どういった状態でどの程度注入するか、判断基準を早急に整備する(復旧班(安全))

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定。

(1F 吉田所長)全体会議に先立ちまして、海江田大臣に免震棟にご訪問頂いた。感謝したい。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/hで実施している。原子炉水位、原子炉圧力安定中。原子炉圧力は0.41MPa。D/W 圧力は現在197kPa、注入開始から全体で41kPaの上昇。

2号機は原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/hで実施している。プラントパラメータは安定している。

3号機は原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/hで実施している。プラントパラメータは安定している。

4号機は本日、SPFへゾウにより、17:07～実施中(下記にて終了連絡あり。19:24)。スキマーレベル上昇確認まで注水予定。

5, 6号機はRHRで原子炉水位及び温度、SFPの温度を制御している。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

サブドレンの状況は、5号機では950m<sup>3</sup>の放出にて完了。現在、372.6m<sup>3</sup>。総計1323m<sup>3</sup>。これにて終了としたい。今後の増加時の扱いについては本店と相談したい。

(1F復旧班1~4号機)

集中R/Wの排水準備は計画通り、継続して実施している。

立坑の水位について。

1号機 107cm、変化無し。

2号機 93cm、1cm上昇。

3号機 123cm、2cm上昇。

3号機に集中ラド移送用の水中ポンプを入れている。この影響で上昇したものと考えている。

2号機のH/W→CST移送は、本日13:10 CST満水により完了。明日14:00~L/T実施。その後、2号立坑→コンデンサー(H/W)への移送を予定。全体で4~5日程度要する予定。Tb/Bの水位を取り始めた。1号機 OP1544、4/8 11:00~4/9 11:00 間に20cm増加している。2号機、変化なし。3号機、高線量のため測定せず。

集中ラド 水放水について、HTI 残水処理は終了。プロセス建屋の残水処理を実施中(今晚遅くに完了予定)。

(1F復旧班5~6号機)

5号機。中操のクリーンハウス、明日より運用開始。

Tb/B建屋地下水位監視中 変化無し。

6号機M/C P/C 点検中。また各建屋の水位監視している。

明日からY/Dのガレキの撤去を行う。

(N<sub>2</sub>封入班)

ここ10時間で2.1kPa 上昇中、安定中。

(水処理班)

2号機H/Wへの移送配管の敷設工事を完了。遮蔽工事を実施中。

(1F吉田)2号機、グラウト注入による水止めを今夜、実施予定(大成)。

また、明日は2号機のH/Wに立坑の水を送る点に傾注して行っていきたい。

(本店復旧班■■■■)(書画資料の説明)

(武黒)継続する訳だが、今後の見通しについて。

(■■■■)一定のリークレートで漏れていくが、冷却によりD/Wに水蒸気が凝縮によりインリークすることの可能性については、今後詳細に評価していきたい。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F 吉田) ずっと注入するわけでは？

( ) 4/11 10:00まで封入することとしている。初期の D/W 圧力+100k Pa にはならないことから、注入量で管理したい。

(武黒) 少なくとも明日の全体会議では発電所のリクエストに応えられるようにして欲しい。どこまで入れるのか、いつ判断するのか、根拠をもって説明できるように。

( ) ガレキの撤去作業が明日から始まる。本店は( ) がカウンターパート、現地は( ) s、サイト総括は( )、( ) の体制で行う。

( ) 4/6時点でシステム1のデモンストレーション完了、現在システム2のご提示。2~3号機の間際に、中継器をおいて、機動性を高めている。現場、本店の連携を取りながら進めていきたい(資料参考)。

(建設復旧班) シルトフェンス、本日予定であったが、悪天候であったため、明日小名浜から持ち込み、11日に設置予定。

遮水板は、取り付け部の状態が悪く、また今後、明日の集中 R/W 移送の関係でエリア制限があることから、12日~エリアの状況を見つつ入れる予定。

(本部) IAEA の事前訪問あり(資料参考)。忙しい中ご対応を感謝。

(本店情報班) 1F, 2F から、ご要望あり。ゴミの処理、免震棟物量、2F 退避関係、バックオフィス、企業さんの待機場所等のご要望あり。打ち合わせを関係各所の詰めを行い、明日、サイトに提示・協議したい。

(J ビレッジ) T ホーク、本日悪天候で中止 明日15:00~16:30のあたりの50分間程度を予定。

(1F) 19:24 4号機 ゾウによる放水を停止。

(J ビレッジ) 海江田大臣、自衛隊と懇談、無事お帰りになられた。1F では津波、爆発の猛威を確認された。各位0.1mSv 程度の線量であった。

<決定事項/指示事項>

・N2 パージ作業について、どこまで入れるのか、いつ判断するのか、発電所とも調整し、明日の全体会議までに根拠をもって説明できるように。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/10(日)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定。

(1F 吉田所長)水の移送、特に2号機について、今一度確認しておきたいので説明したい。復水器に立坑の水を移送する計画で、水位計、ラインのチェックを行い、午後には移送を開始できるように対応しているところ。

管束の最下端は超えていて、管束には触れることになるが、至近の運転データから、リークはなかったこと。内部が真水であったこと。よって海水のリークも無いと考えている。リークは無いと考えられることから、復水器に送ることは妥当と考えている。また、万一の場合でも、入れた水をブローするラインもある。よって、受け貯めとして使える状況にあると考える。明日をターゲットに集中ラドへの移送については移送配管の準備もできている。

諸手続については、サイト判断範疇を超えてしまうので本店にて検討願いたい。水位の上昇が2cm/日程度なので、集中ラドかH/Wに送るのかについて、多少時間もあるが、本店の判断を仰ぎたい。

(武黒)復水器への移送については、H/Wの水の移送を計画通りに実施することについて、保安院との調整の上、実施したい。

([REDACTED])H/Wに入れることの判断については、関係者調整して、AM中に判断したい。

(保安院)貫通口の補修に時間がかかると伺っているので、情報共有をしっかりと行って頂きたい。

([REDACTED])貫通部の処理については鋭意現在行っているところ。現場では明日までに作業を完了することで鋭意対応している。

(武黒)手続きのなものもあるので、本部で保安院と調整の上連絡したい。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/h で実施している。原子炉水位、原子炉圧力安定中。原子炉圧力は6:00時点で0.41MPa。頭打ちが見えた。N<sub>2</sub>封入、6:00現在D/W圧力は198kPa、注入開始から全体で42kPaの上昇。

2号機は原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。本日10:00～SFP補給予定。昨日スキマー1mブロー済み。

3号機は原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。本日17:00～19:30 SFPへシマウマによる注水予定。

4号機は昨日、SPFへソウにより、17:07～19:24で注水実施。スキマーレベル上昇確認まで注水した。

5, 6号機はRHRで原子炉水位及び温度、SFPの温度を制御している。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

サブドレンの状況は、5号は昨日ご報告のとおり完了している。6号機 18:52に完了した。

(1F復旧班1~4号機)

集中R/Wは継続して排水中。6:30現在で210t 残っている。AM中には作業完了の予定(ただし、堰があるので、ポンプで取りきれない水もあり)。プロセス建屋の完了をもって集中ラド分の完了となる。

立坑の水位について。

1号機 107cm、変化無し。

2号機 7:00現在 グレーチング下端から92cm、1cm上昇。(OP3080mm)

3号機 123cm、変化無し。

スクリーンにいつているケーブルから火花が出たため、1~3号立坑とスクリーンの監視カメラをOFFしている。またTb/B内の監視カメラについて、ガンマ線による劣化があり10日間でカラーから白黒になった。今後の耐放射性のカメラか新品への交換について対応を本店と協議中。

1号機 H/W→CST移送中。あと2日くらいかかる。

SFP電動化、昨日完了している。電動化により40t/hの性能となった。本日は、3号機シマウマで76t、2号機に36t、注水予定。

5号機、本日中操のクリーンハウス運用開始する。R/W地下水変化無し。遮断機点検を継続実施予定。

6号機、本日遮断機点検を予定。HPCSの水位変化無し。R/W水位2~3cm上昇中。

(SFP注水班)

本日 17:00~ シマウマによる注水予定 40t/hの注水量。

ゾウNo. 2号 小名浜から移送。4号機に設置し、SFP水の水質調査のためのサンプリングを実施予定。

(N<sub>2</sub>封入班)

1号機 N<sub>2</sub> 濃度99.95%となった。28m<sup>3</sup>/hで注入中。

(水移送班)補足として、2号機移送配管のL/Tを、1時間送水して、健全性確認する予定。

(土木) 昨晚、2号機のピットにガラス固化を注水、4:00に完了した。5箇所 1m<sup>3</sup>注入。トレンチ周辺 10箇所 38m<sup>3</sup>注入。飛散防止剤の散布を、共用プール西側のり面で本日実施予定。シルトスクリーン本日申請、測量、明日設置予定。無人化ガレキ撤去、本日は、3、4号機周辺で実施予定。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

保安班:線量等変化無し

(本店復旧班(安全班))

N<sub>2</sub>封入について(資料参照)。効果について説明する。仮に全部蒸気が凝縮した場合でも、水素酸素濃度3%未満であり、一定の効果あり。また、一定の漏れはあるので、継続した注入が必要。注入を停止した場合、約30時間後に可燃性限界に達する可能性がある。明日の10:30で一旦停止。その後メンテナンスを行い、その後再開、継続注入を実施予定。

(武黒)まだ方針ということなので、今後本部一発電所で具体的な時間ややり方を関係各所で協議していくこと。

(1F吉田)D/W体積分の注入が一つの区切りで、その後は断続的または継続して注入を実施するものと理解。基本方針は了解。

( ) 14m<sup>3</sup>のN<sub>2</sub>供給装置が3台あるため、運用について、万一のバックアップという運用を行うということ？

(武黒) 顧問を中心に、詳細を詰めて欲しい。

( ) 顧問)了解。

(本店保安班)(資料参照)全体としては下がり傾向。

(海江田大臣)昨日の視察対応御礼。ご意見、反映していきたい。一步一步着実に安全第一で進めて欲しい。

<決定事項/指示事項>

- ・2号機立坑滞留水のH/Wまたは集中ラドへの移送および手続きに関する保安院等関係各所との調整およびH/W使用判断( 部長を中心に対応)。
- ・N<sub>2</sub>封入対応について、本部一発電所間で具体的な時間ややり方を関係各所で協議していくこと( 顧問を中心に対応)。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定。

(1F吉田)今朝のフォロー状況(基本本店マターと思うが)、2号機H/Wへの移送について、本店から保安院への説明中と聞いており、本店の検討状況を待っているところ。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

4/11までの予定として、集中ラドのリーク対策を実施しているが、クラックの対策について、保安院に説明することが必要であり、保安院了解後に移送を実施予定。これにも、1日程度の時間が必要。

メーカー点検によると、配管の開口部等、リーク対策を必要としている箇所があると聞いており、4/15日くらいまで必要と聞いた。詳細は本店から説明願いたい。

( ) 手順についてはサイトと粗々合意できたと思っているが、復水器の安全性については、明日の朝までに纏めて、サイトに示したい。

( ) 集中ラドの補修については、集合配管が12本くらいあるところがあり、形状的に止水が難しいが、メーカーにて早期実施可否について検討しているところ。

(保安院) 万が一にも、漏えいが無いように、十分注意して実施して欲しい。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/h で実施している。原子炉水位、原子炉圧力安定中。原子炉圧力は0.41MPaで落ち着いている。N<sub>2</sub>封入、6:00現在198.1kPaabs 18時198.8kPaabsで落ち着いている。28m<sup>3</sup>/hで注入中。

2号機は原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。本日10:37~12:38でSFPに60t補給を実施。スキマーのレベル上昇を確認。

3号機は原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。本日17:15~19:30(予定。その後終了時間は19:15と連絡あり)、75tの予定。SFPへシマウマによる注水を実施中。

4号機は特になし。

5, 6号機はRHRで原子炉水位及び温度、SFPの温度を制御している。

サブドレンの地下水の漏れ込み等を監視中。漏れ込み水位が、元にもどりつつある部屋もある。

4/11 追記  
4/10 18:00 時点での実際の放水量は 8870t て 200t は残水。残水状況を確認中。

(1F復旧班1~4号機)

集中 R/W はプロセス建屋からの放水が17:40完了。合計9070t放水。横のトレンチに、地震の影響と思われる地下水の流入あり。それがプロセス建屋に流入しており、これの処理については、別途本店と対策を検討したい。

立坑の水位について。TVカメラの監視が回復。

1号機 変化無し。Tb/Bの水位 4/9の11:00現在 5144 4/10の18:00現在 5100、44mm下がっているが、見方の影響もありそう。監視を継続する。

2号機 変化無し

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

3号機 11時間で1cm増加。

2号機のH/Wへの移送準備として、移送配管に、遮蔽を取り付け済み。

1号機 H/W→CST移送が完了。(4/10 9:30完了)

2号機 SFP 60t注入、スキマーレベル 4.6m→5.1m 増加。18:00現在 5850mm プール水温度 47→73℃になっており、確実に注水できたと考えている。

5号機 水位確認を継続している。

6号機 同上。

(N<sub>2</sub>封入班)

1号機 17:00現在 O<sub>2</sub>:0.04%であり、N<sub>2</sub>濃度は99.96%となった。

(SFP注水班)

あしたは注水予定無し。4号機ゾウを3号機に移動し、3号機のシマウマを運動場に移動、4号機にゾウ(No.2)を移動する。

(土木)飛散防止剤の散布を、共用プール西側のり面で14時まで実施。シルトスクリーンは申請、測量完了。明日設置予定。

ガラ撤去 3,4号前の撤去を実施。16時まで実施。本日は径の小さいもの(ここには径の小さいものしかなかった)を実施、順調に進捗した。2セット中の1セットを用いて、コンテナ1.5箱分のガラを撤去した。遠隔操作も上手くいっている。

(本店復旧班(安全班))

N<sub>2</sub>注入の方針について纏め、保安院に報告した。やむを得ないメンテナンスの場合を除き、N<sub>2</sub>を注入していく。バックアップについて、別途検討している。

(武黒)

明日のAMに停止なので、明日の朝の全体会議までに、具体的なやり方を検討すること。

(本店保安班)(資料参照)原子力安全委員会緊急助言組織の推奨、ヨウ素剤の投与について。Q&Aについて、発電所と共有したい。

(医療班)会社としてのスタンスを固めた上で、サイト内共有したい。

(本店保安班)業務従事者に対する初めての安全委員会からの助言、保安班としては対応したい。

(武黒)保安班と医療班にて対応実施のこと。

(Jビレッジ)Tホーク 本日15:59~16:28 飛行実施。明日は、7:30~9:30

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

の枠内での50分程度で予定。

(吉田)戦う姿勢のバックアップで、■■■■部長以下環境改善について免震棟を確認頂いて、感謝。

(復旧班)3号機 シマウマ 19:15 80t放水完了。

<決定事項/指示事項>

- ・復水器移送の安全性について、明日の朝までに保安院への説明とともに纏めて、サイトに提示する。
- ・1号機 N<sub>2</sub> パージについて、明日のAMに一旦停止となるので、明日の朝の全体会議までに、具体的な再開のやり方等を提示する。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/11(月)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定。

(1F 発電)1号機は、炉注水 6t/h で行っており、炉心は安定している。炉圧 0.41MPa で一定状態。温度も変わっていない。D/W への N<sub>2</sub> 封入は 28m<sup>3</sup> で継続中。D/W 圧力は 197.8kPa で昨日とほぼ同じ。

2号機炉注水は 7t/h にて継続中で、パラメータ安定している。

3号機炉注水は 7/h にて継続中で、パラメータ変動無く安定。

4号機は特に無し。

本日の SFP への補給予定なし。

5, 6号機 RHR で原子炉・SFP 制御中です。

サブドレン排水を停止して、建屋内の一部の部屋で水位が上がっている。

(1F 復旧)集中ラドの排水について、17:40に排水ポンプ停止。機電と建築側で問題ないこと(集中ラド建屋健全性?)を確認中。

トレンチとタービン建屋の滞留水の水位について、1号機変化なし。

2, 3号機は 1cm 微増。

3号機タービン建屋カメラ不能となり監視できない。本日復旧予定です。

タービン建屋の水移送について、ホースのリークチェックをしています。準備は完了しており、本店の Go の指示があれば対応できます。

昨日の SFP 注水について、2号機に 60t の注水を行い、スキマーのレベルの上昇と温度上昇を確認しました。3号機はシマウマで注水した。

本日、SFP への注水の予定無し。ゾウを4号機から3号機に移動して、ゾウ No.2 を4号機に持って行きます。

N<sub>2</sub> 封入について、1号機 IA 仮設コンプレッサを追加します。1台から2台になります。発電班と原子炉でパラメータの監視を行う。

(本店武黒)トレンチの水位が 2cm/日で上昇しているが、タービン建屋が変化していない。本店でも見極めていきたい。サイトでも気が付いたことがあれば連絡して下さい。

(1F)5, 6号機 中操空調室の…(聞き取れず)

サブドレン停止後、CS 室やラドの水位が上昇している。水位が上がった時点で回収している。

M/C P/C の清掃を継続します。

N<sub>2</sub> 発生装置の純度は、99.95%の状況。

(1F キリンチーム)8:50に4号機用のゾウ No.2 が小名浜を出発しました。3号機のシマウマが体育館の前に引っ込む予定。

(1F 土木)シルトフェンスの設置を本日行います。南側に 120m のものを二重に

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

設置します。5:00に広野を出発しています。8:45から準備作業を開始。設置は午後。

無人の重機によるガラの撤去を継続します。

(1F 所長)3月の個人の被ばくは、APD と免震棟滞在時間分を加えて、100mSv 超えが36名。80 から 100mSv の予備軍が40名。その人たちは経験のある人なので、全体の要員について先手で手を打たないといけない。

今後はALARAの精神で150mSvを超えた人間は、バックオフィスまたは本店に引っ込めさせて、免震棟で従事させない事としたい。

(本店武黒)その件については、業務部長と話をしている。

(本店■■■■)昨日既に検討を進めており、個々に相談しながら対応していきます。

(本店武黒)人員の拡充とか検討している。発電所と調整して、計画を実行して下さい。

(本店■■■■)全体で要員の管理について、検討していきます。

(1F 所長)本店から個別に来る調査依頼が、線量上昇に繋がっている。

(本店武黒)各班そのことを認識するように。

(本店■■■■)2号機のタービン建屋からH/Wへの移送について、調整が完了したので、報告資料をサイトに送ります。午前中に本店からサイトに Go の連絡を出したい。

(本店■■■■)N<sub>2</sub> 供給装置のメンテナンスについて、N<sub>2</sub> 供給の停止が30時間以内であれば可燃限界に至らない。余裕をみて24時間を許容待機時間とする。かなり保守的ですが、30時間で可燃のリスクがあります。1号機の今後の状況(温度、崩壊熱など)によってこの時間は延びてくるが、現時点では24時間とします。

メンテナンス項目は、停止が必要なものとそうでないものがあります。運用については、日常点検などはオンラインでメンテし、停止しないといけないものは、許容停止時間内で行う。

N<sub>2</sub>供給装置の1から3号機をバックアップとして使います。純度98%ですが、流量を絞ると純度が上がり99%以上となる。

(本店保安)サンプリング結果について大きな変化はありません。配布の資料を確認下さい。海洋放出とサブドレンの評価について、サイトから説明をお願いします。

(1F 保安)全放射能量は、 $1.5 \times 10^{11}$  ベクレルです。…と比較して  $2.2 \times 10^{11}$  Bq の70%です。被ばくは0.6mSvで予想通りです。

沖合のモニタリングは、放出による顕著な変動はない。

(本店保安)2号機取水口からの対策について、シルトフェンスを設置すること

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

を予定しているが、1日で終わるのか確認していく。

(本店西澤)地震からちょうど1ヶ月になります。14:46に黙祷を捧げる予定。各店所でも同様に実施します。

(海江田大臣)政府でも黙祷を行いますので、ご協力お願いします。

(本店武黒)安全第一で進めるようお願いします。

<決定事項/指示事項>

- ・1F サイトでの線量増加による人員不足への対応を検討し、サイトと調整しながら実施すること。(対応:本店業務部)

～全体会議終了～

～全体会議～

19:16

J ビレッジは回線がないため、別途連絡を取ることとします。地震関係の報告をお願いします。

(1F)17:16の地震で、外部電源のうち、東北電力の原子力線がトリップしました。5, 6号機が夜ノ森線、3, 4号機はジャンパ線と仮設メタグラにより供給されていた。1, 2号機は原子力線がトリップしたので負荷がトリップしました。免震棟もトリップしました。

1から3号機の炉注入についてポンプがストップ、1号機の N<sub>2</sub> 封入がストップした。N<sub>2</sub>の逆流防止弁を・・・(聞き取れず)

N<sub>2</sub>封入の再起動手順について、本店と協議を行っているところです。

1から3号機のパラメータは安定しています。1号機の D/W 圧力は 0.195MPa。2号機大きな変動はないが、スキマーのレベルが 5.8m から 6.5m に上がり、温度が 71℃から49℃に落ちた。スロッシングによりスキマーに水が流れ落ちたのと、センサーが露出して雰囲気温度を取っているためと思われる。SFP への注水について検討する必要がある。

N<sub>2</sub>封入の復旧が残されているが、そのほかは復旧している。

(本店武黒)パラメータに変動はないが、炉注入が50分停止していたことに対する評価はどうか？

(本店武黒)炉注水が停止していたことについて、50分程度の停止であれば炉心損傷に問題ないと考えられる。詳細な評価はこれから行います。

(本店武黒)炉心損傷について、詳細な評価を行い、連絡して下さい。

(1F)2号機のタービン建屋の水位監視用のカメラが見えなくなった。立坑の水位が、OP3090で変動無いため問題ないと考えられる。

1, 3号機タービン建屋の水位は変動ありません。1号機立坑の水位が OP2930 から 2910 に落ちている。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

2号機の立坑からH/Wへの移送について、明日の朝、テストラインの復旧とメインラインのリークチェックを行い、移送は明日の午後になると思われます。電源ケーブルを太いものに変更する予定です。

5, 6号機について、Rx の水位が 2.5cm 上昇したので、明日くみ上げ作業が必要です。

(本店武黒) 今後も余震が考えられるので、炉注入のポンプがストップすることを避けるために、電源構成、D/G、消防ポンプのバックアップを見直す必要がある。

(本店) D/G の設置場所が低いことが問題となる。明日、高台に移動する。万が一 D/G が駄目になった場合に、配電の電源車に切り替えるようにする。1, 2号機は原子力線で受けており、3, 4号機は新福島変電所から受けている。その間を6000のケーブルで連携できるようにする。ルートにガラがあるので、除去をお願いしている。ガラが除去できれば2, 3日でケーブルを引けます。

(本店武黒) そのほかも含めて、仮設機器の耐震機能をもう一度改めて整理して報告して下さい。発電所もそれで良いですね。

(本店復旧) 地震の情報について、1F6 水平55. 5ガル、鉛直40. 2ガル。2F3 上下92. 5ガル、4号機水平67. 2ガル。震源のそばで大きくなる傾向にある。7日の余震でも1Fにて50ガル程度の地震であった。本震では550ガル程度であった。

過去の評価では、長さ19.5kmの井戸沢活断層を震源としたM7.0と評価しており、今回の気象庁の報告によるM7.0とほぼ同じ。

(本店武黒) この余震は、活断層によるものと言うことで、これまでのタイプと異なるのか？

(本店復旧) 大きな地震で応力がたまるタイプやプレートが割れるタイプなど様々なものがある。

(1F キリンチーム) 4号機から3号機へゾウ No.1 を移設、4号機にゾウ No.2 を配置しました。余震によりガレキが崩れて3号機ゾウ No.1 に当たるところでした。R/B がもろくなっており、スラブが落ちてくる危険性があり、作業安全面で注意しなければならない。

(本店武黒) 建設復旧班にて、追加的な対応が必要か検討して下さい。

(1F 土木) 10:45にシルトフェンス2本の設置が完了しました。明日はスクリーン室前3, 4号機にシルトフェンスを設置する予定です。

2号機の取水口への鉄板の設置について、7本のうち3本を明日実施予定。無人重機によるガラの撤去は順調で、明日も行います。

(1F キリンチーム) 明日は、4号機ゾウ No.2 による SFP のサンプリングを実施する予定です。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

3号機ゾウ No.1 による注水を16時から行う予定です。

(J ビレッジ自衛隊)地震の後に消防車の点検を行い、問題ないことを確認しました。人も問題なし。SFP で問題があった場合にはいつでも出場できます。

(内閣府細野)避難区域の拡大を説明しました。飯館村へ避難の説得を行ったが、村を守りたい、避難すると言うことは村をつぶすことになると言っていて、この判断の説明を長い時間かけて行った。

これらの問題に対処するためには、原子力発電所を安定させるしかない。東京電力が責任を担っている事を自覚することが必要です。

(本店武黒)安全第一で、連絡を密に作業を進めるようお願いします。

<決定事項/指示事項>

- ・余震により炉注入が停止していたことによる炉心への影響について、詳細評価を行い、報告すること。(対応:本店復旧班)
- ・余震による炉注入のストップを回避するように、電源構成および D/G、消防ポンプなどのバックアップの見直しを検討すること。(対応:本店配電復旧班)
- ・その他、仮設機器の耐震機能をもう一度改めて整理して報告すること。(対応:関係各班)
- ・建屋の壁がもろくなっており、作業安全面で追加的な対策が必要かどうか検討すること。(対応:本店建設復旧班)

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/12(火)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定。

今朝の 1F1～4 サンプリング建屋の火災について。

(1F [REDACTED]) 1～4 放水口のサンプリング建屋の火災について、6:38に出火を確認している。6:45に双葉消防に連絡している。現在、消防2名が現場に行っている(先ほど6名と伝えたが4名は待機です)。社員4名が同行している。自衛消防隊が現場に行ったときには、火は消えており燻っていた。念のため消火器三台で消火を行った。消防に確認して頂いて判断してもらおう。

STAR の精神で、類似設備の出火の可能性について確認を行う。

(1F [REDACTED]) 放水口建屋のバッテリーから出火していることから、類似箇所の確認を行います。

(本店武黒) サンプリング建屋は地震後使われていないことから、原子炉への影響は無いと思われるが、確認されているでしょうか？

(1F [REDACTED]) 炉注水への影響はない。類似事象のポテンシャルを有している箇所がないか確認する。ガレキなどの落下物が多数あります。

(本店武黒) バッテリーの火災と言うことだが、仮設の電源が多数あることや、今後地震や津波が想定されることから、対策について本店復旧班にて説明願います。

(本店復旧) 電源関係については、電源の強化が計画されていたが、その前に地震が起こった。残念と思っている。反省をふまえて、きっちりチェックを行う。ガレキの落下等の危険箇所の管理も行っていく。

参考までに、10時からの復旧の特別プロジェクトでも議題となるので、現場と情報共有を行っていきたい。

(本店武黒) 発電所の点検結果について、夕方の会議に明確にして頂ければと思います。

幸い人的被害はありませんでしたが、対応強化を 本店側も中期的にこの状態が続くことを想定して、早急に対策を検討して下さい。

(1F [REDACTED]) 余震で現場の作業環境が不安定なことから、夜に作業をすることは難しいと考えている。

また、協力企業からも言われているが、気温も上昇して作業環境も悪くなっていることから、作業中に具合が悪くなるが多くなっている。作業工程、リソースの投入の仕方を検討する必要がある。

(本店 [REDACTED]) 休憩所について、地震があったときに耐えられるかどうか、建設復旧班と相談している。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(本店武黒) 作業効率が低下することを、配慮する必要があります。

(1F ■■■) 考えます。

(本店武黒) 2Fでも同様に火災が起こる危険性があると思いますので、対応をお願いします。

(2F 所長) バッテリーも含めて点検を行おうと思います。

(1F 発電) 余震により17:20に炉注水が停止し、18:05に再開しております。

1号機は、炉注水 6t/h で行っており、炉圧 0.416MPa で炉心は安定している。N<sub>2</sub> 封入は地震の影響で4時間停止した。D/W 圧力 0.190MPa であり、地震前後で変化無し。

2号機炉注水は 7t/h で、4/7に 8t/h から 7t/h に下げた若干温度が上がっている。SRV 周りは180℃。継続監視を行う。

3号機炉注水は 7t/h、特に変化無し。SFP への注水を計画している。

5, 6号機は安定しているが、プールがスロッシングして水位が低下している。水を補給した。

(復旧) 集中ラド受け入れについて、地下水が流入しており、ペレット貯槽 A に移送している。止水作業は継続中です。

トレンチ、タービン建屋の水位については、2号機のタービン建屋地下1階の監視カメラが復旧しており、OP3000 で変化無し。

1, 2号機については立坑の水位に変化無し。3号機立坑の水位は OP2800 で 1cm 増えている。

2号の立坑から移送の準備状況について、1号立坑からのフラッシングライン(テストライン)からリークがあり、その復旧を行います。その後、メインラインのリークチェックを行います。また、水中ポンプのケーブルの付け替えを行う。日没前に送水を開始したいと考えている。

3号機はゾウの注水を夕方に計画している。

2号機の SFP については、昨晚の地震の影響で、スキマーのレベルが上昇している。SFP の水が流れ込んでいると思われるが、このくらいの量なら問題ない。明日注水を実施することを考えている。

5, 6号機は電源関係の火災のチェックを行います。R/B の水位が上昇しているので、トラス室への排水を予定している。

(1F キリンチーム) 4号機の SFP サンプルングを予定している。4号機にゾウさん2号、3号機にゾウさん1号を設置している。

3号機に16時から注水を予定しているが、カメラ付きで行うことからプールの様子を見ることが期待される。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F ■■■) 2号機から H/W への移送について、リークチェックにてリークがあった。移送ラインが長いこと、余震があることから、送水ラインの信頼性を高くする必要がある。本店でも信頼性を高める検討をお願いしたい。

(1F 水チーム) 本設ラインはカムロックを用いており、事前にリークチェックを行うので信頼性は高いと考えている。より信頼性を高くするために本店でも考えて欲しい。

(本店復旧) 昨日は5箇所漏れていると聞いている。情報を共有したい。

(1F ■■■) 昨日漏れたところはカムロックではない。

(本店武黒) 集中ラドの密封の確認をお願いします。

(本店■■■) 土建関係の工事は終わっている。配管の貫通部180箇所の作業を鋭意実施している。15日には工事を終わらせたい。コンクリの乾き時間で1日必要になると思われる。

(本店安全チーム) 余震で炉注水が 50 分止まった事による影響について、初期温度を 300℃として厳しめの条件を設定して、1200℃に達するのに 4 時間、2800℃に達するのに 8 時間と評価されたため、50 分間程度の注水停止であれば問題ない。

(本店武黒) 評価結果はこの通りだが、給水が停止することがないように本店と発電所に対応していきたい。

(J ビレッジ小森) 地震の反省点は、J ビレッジの電源が落ちたことです。けが人の発生の有無、自衛隊の出動について連絡が取れなかったことが反省点。

(本店武黒) 通信関係も強化する必要があると思います。

(本店通信) TV 会議と PHS が停電でも使えるように整えようとしています。

(本店総務) 常磐自動車道にて、土砂崩れによりいわきから先が通行止めとなっています。NEXCO にて対応している。2, 3日と思われる。

(本店武黒) 放射能濃度の濃い水を取り扱う作業もあるので、安全第一でお願いします。

<決定事項/指示事項>

- ・2号機高線量水の移送ライン(特に接合部)についての信頼性確保・向上の検討を行うこと。(対応:本店復旧班)
- ・地震、津波時の仮設を含めた設備の機能維持、建屋の壁の落下、ガレキの管理など、作業安全の確保と自然災害への対応を中長期的に検討していくこと。(対応:本店復旧班)
- ・1F 火災の類似箇所の点検結果について、夕方の会議に報告すること。(対応:1F)

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

- ・J ビレッジも含め、関係事務所との通信を強化すること。(対応:本店通信復旧班)

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定。

(1F ■■■) 2号機の立坑から H/W への高レベルの廃液を移送する準備が整いました。

次の移送先である集中ラドの止水も進んでいます。

4号機 SFP のサンプリングを行いました。予想以上に水位が下がっていると言うことで、今夜急遽ゾウ2号で注水を行う予定です。

3号機のゾウ1号のカメラで SFP の状況を見ることができた。SFP はほぼ満水であった。

サンプリング建屋の火災の類似箇所点検を行いました。

(発電) 1号機炉注水は 6t/h。N<sub>2</sub> 封入は 28 ノルマル m<sup>3</sup> で継続中。D/W 圧力は 0.190MPa で安定している。

2号機炉注水は 7t/h でパラメータ安定。温度の上昇は緩やかで、SRV 周りは 180℃なので注水量を変える必要はないと考える。監視を継続する。

3号機炉注水は 7t/h で、パラメータ安定している。

サンプリング建屋のバッテリー火災で類似箇所の点検を行っている。余震、雨によるリスクを洗い出した。5、6号機のサンプリング建屋はバッテリーをはずしました。中操のバッテリーは使用状況、保管状況を確認した。分電盤でのケーブル類は損傷のないことを確認しました。分電盤から各機器へのケーブルは、地震後の起動に当たって確認を行っていく。

5、6号機は RHR で継続制御中。

サブドレンの排水を止めたことから建屋の滞留水が徐々に上昇傾向です。

(1F 復旧) 集中ラドの排水について、止水対応を実施中。

トレンチ、タービン建屋について、トレンチは大きな変化はない。2号機のタービン建屋の水位が大きく上昇しているように見えるが、カメラの角度を調整したところ鮮明に見えるようになって3100が確認され、水位が急上昇したのではないと判断している。

3号機 SFP へ 35t 注水された。

5、6号機中操の空調のフィルタ交換を実施した。メタクラ P/C 清掃を継続している。CS (B) の水位が上昇したので水抜きをする予定であったが、地震の関係でストップ。明日実施する予定です。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F ■■■) 4号機の SFP でサンプリングできた。温度と SFP の表面線量率を測ることができた。熱電対を SFP に下ろしたときに予想以上に水のレベルが低かった。線量が高いのは遮蔽が十分でない可能性もある。このため、今夜ゾウさん2号により注水を行う予定。前回の注水の 4/9 から3日空いているので、その分の補充は行う。サンプリング水の線量はそれほど高くはないとのこと。

ゾウさん1号のカメラにより、3号機の SFP 水面は比較的高い事がわかった。ほぼ満タンに入れることができた。

(1F 土木) 汚染拡大防止のシルトフェンスについて、昨日、南側防波堤に設置した。本日は3, 4号機の取水口前に設置する予定でしたが、波が高くてできませんでした。明日設置する予定です。

無人重機によるガレキの除去は、3, 4号機前、開閉所前にて継続中。明日も行います。六ヶ所向けコンテナ2個分の除去を実施した。

(1F 建築) プロセス建屋の止水作業を実施しており、明日で一通り終わります。

(本店武黒) 集中ラドの全体の見通しはどのように考えていますか？

(1F) 工法を変更したので、明日から着手する。全体では15日に完了する予定です。

(本店武黒) 今後進捗により、工程を明確にして下さい。

(本店復旧) 5箇所水漏れがあったということだが、カムロックに取り替える予定があるのか？

(1F ■■■) 昨日のリークに対して増し締めを行って、問題なかった。念のため、全体を取り替えることを日立にお願いしている。

(本店地震) 昨日の地震と比較します。書画で説明。昨日の地震に対してゆれは小さい。起きた場所と規模について、井戸沢断層の周辺で、本日は M6.3 であり、地震の起こり方は若干違うようです。

(本店保安) 4号機のサンプリング水について、明日分析に入ります。

(本店通信) 1F, 2F の外線の電話について、本日、復旧したので、メーカー等に連絡して下さい。

(J ビレッジ) T ホークの飛行について、13時から15時で50分程度を予定している。4号機の法面の上から離着陸する予定。

(J ビレッジ自衛隊) 余震が発生した際に、一番知りたいのは負傷者の有無です。ヘリを呼ぶのかどうかの判断をしたい。2番目には SFP の状況です。

(本店武黒) 燃料プールの状況の情報集約のあり方を本店、発電所で検討します。

(1F 復旧) 2号機の立坑から H/W への移送の準備が完了しましたので、た

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

だ今から実施します。(19:20)

(本店武黒)何か異常があったら連絡下さい。

(1F 広報)今の情報を県に伝えます。

(本店武黒)安全第一で確実な作業をお願いします。

<決定事項/指示事項>

- ・集中ラドの止水作業の工程を、今後の作業状況を勘案して明確にすること。  
(対応:1F 土木建築)
- ・地震時の負傷者の有無、SFPの状況の情報集約および自衛隊、消防の応援要請のあり方を検討すること。(1F 関係班、本店フォロー)

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/13(水)の時系列メモ> (情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定。

(1F ■■■) 2号機は昨日から、縦坑→H/W へ水の移送を開始したため、トレンチ及び T/B 地下の水位が4～5cm低下している。

4号機の SFP については、サンプリングをする際、熱電対を下ろしながら確認を行ったが、熱電対の反応から見て、水位が通常水位から5m程度下にあると考えられる。なお、前回放水を実施したのが、4月9日であった。本日、水位を1m程度上昇させるため、約200t水を放水した。ただ、スキマーサージタンクに水が出ているという矛盾もあるため、画像を見ながら評価をしたい。

(武黒)本店も総合的に評価し、発電所と良く協議したいと考えている。本件については、復旧班及び■■■部長が支援している。連携して検討をお願いしたい。

(1F ■■■) 4号機 SPF のサンプリングについては、午前中に2F に送る。結果が出次第報告する。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/h で実施している。N<sub>2</sub> の封入は28nominal m<sup>3</sup>/h で実施している。RPV 圧力は若干上がり傾向である。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。原子炉温度上昇は緩やかに上がっている。SRV 排気側の温度は180℃程度。本日、SFP へ補給水を注入する予定。

3号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。

5, 6号機はパラメーター変化なし。

(1F 復旧班)

集中 R/W の地下水について、ペレット貯槽(A)へ移送する予定。本日、水位を詳細にチェックする。必要に応じてペレット貯槽(C)に移送を考えている。

T/B 地下の水抜きとトレンチ水位について説明する。2号機については、トレンチ水抜き前よりも水位が43mm低下している。T/B 地下の水位も50mm低下しているが、1目盛り20cmであるため、信頼性があるか分からないが、T/B 地下及びトレンチ水位は下がり傾向であると考えている。循環水管等への漏れが無いことを確認する。1, 3号機については、変化無し。

(1F 復旧班) 5, 6号機については、M/C・P/C 関係の盤点検、ヤードの物品移動を継続で実施している。水関係では、5号機の CS(B)室の水をトラス室に抜く予定である。6号機の R/W は30mm～40mm程度水位が上がっ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ているため、継続監視をしている。その水処理については検討中である。

(土木・建築)汚染水について、3, 4号機についてはシルトフェンスを設置する予定。2号機については鉄板を設置する予定。無人重機によるガラ撤去は継続で実施する。

(武黒)集中 R/W の止水処理について、想定している工程で進めるということではよいか？

(1F 復旧班)止水の方法を考えて工程を組みたい。

(保安院)保安院も現地で確認しているが、追加的な貫通口も分かってくることもある。急ぎでやるのではなく、丁寧にやって欲しい。

(本店) 現在、止水を計画しており、今日から止水工事を実施予定である。現地の保安院へも止水箇所を確認頂いている。

(武黒)この作業は確実にしなければならない。発電所・本店もより一層留意して確実に進めてもらいたい。何かあったら報告をすること。

(本店復旧班)ペレット貯槽(C)へ移送するとのことであったが、余裕はあるか？また東芝の～(聞き取れず)～はペレット貯槽(C)ではなかったか？

(1F 復旧班)東芝の～(聞き取れず)～はペレット貯槽(D)である。余裕については、細かい数値は無いが、4～5日程度の余裕があると考えている。

(本店復旧班)1号機へこのペースで水を注入していくと、そろそろ電気ペネの水位に到達すると考えている。漏えい率は $1\text{m}^3/\text{h}$ 程度。今後、検討していく。

(本店安全班)今後の1号機の水位を予想した。4月26日に TAF に到達する予定である。電気ペネの高さには4月14日に近づく予定。順調であるが、水位の監視を実施していくことが重要である。水位の監視方法は PCV 内の状態変化、D/W 圧力計や温度計端子箱の水没による指示値喪失で行っているが、提案として D/W 内の弁のリミットスイッチの導通変化で把握できるか計装と検討を実施している。また1号機の電気ペネ貫通部がリークに強い構造であることが分かった。電気ペネ全体で漏えい率は $1\text{m}^3/\text{h}$ 程度。今後、監視をしていく。

(武黒)発電所と良く協議して、詳細確認を実施し、水位の挙動把握に努めること。

(1F)原子炉への注水量を絞り込めないか、電気ペネから漏えいがあった場合に備えて、T/B の滞留水を復水器へ移送できないか検討している。本店も検討をお願いしたい。

(武黒) 部長が総括調整する。

(1F) 部長)1号機の T/B 滞留水の H/W への移送について、 部長だけではなく、 グループも参加して検討をお願いしたい。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(本店■■■■) 了解した。

(本店情報班) Jビレッジの自衛隊から地震があった場合の連絡方法について、質問があった。連絡する情報は3点あって、①原子炉の注水状況②SFPの冷却状況③けが人の有無である。連絡方法は TV 会議で連絡するが、停電した場合は衛星電話で連絡する。連絡手段がない場合は、1F の情報班に連絡する。連絡できない場合は、1F の総務班に東京経由で電話する。それもできない場合は本店の情報班に連絡する。

(武黒) 発電所で連絡方法を整理して、それぞれの状況について、どのようにして把握するか自衛隊に説明すること。

(1F ■■■■) 了解した。

(小森) 連絡方法については発電所で検討をお願いしたい。

(武黒) 今日も重要な作業が継続しているが、熱中症の予防も考えて、安全第一、報連相、急ぐことなく確実に作業を進めること。

<決定事項/指示事項>

- ・ 地震発生時の連絡方法の再整理、及び自衛隊への説明

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定。

(1F) 3点情報をお伝えする。

1点目は、2号の縦坑から復水器への移送だが、17時過ぎ予定していた移送を全て終了した。

2点目は、4号機の SFP ベゾウ2号による放水を実施した。昨日、温度センサーの反応から SFP の水位が想定より低い状態であったにも関わらず、スキーマーサージタンクの水位が変動したため、注入を中断した。現在検討を実施している。

3点目は、本日朝の全体会議で格納容器の水位が上昇しているという話があったため、検討した。その結果、水位が上昇して電気ペネの全てから漏えいがあったとしても大きな漏えいにはならないことから、別途良く現象を見極めながら検討していきたい。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/hで実施している。RPV圧力は若干上昇傾向にあったが、現在安定している。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。原子炉温度は安定してい

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

るが、RPV 上部は緩やかに上昇している。

3号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。T/B 建屋の滞留水及び縦坑の水位上昇が無いことから、注水量を明日の午前中に下げることが検討している。

5, 6号機は昨日と大きく変わっていない。

(1F 復旧班)

2号機の T/B 地下の水抜きと縦坑から復水器への移送だが、結果としてトータル660t 移送した。縦坑水位については移送前 OP3090mm だったものが第一フェーズの移送で3013mmとなった。その後一旦移送を停止したが、流入によると考えられる水により、18時の水位は OP3030mmとなっている。一方、T/B 地下の水位は移送前 OP3100mm→移送後 OP3050mmとなった。

1, 3号の水位については、大きな変化は無い。

SFP への注水だが、2号機について本日約60tの注水を行い、スキマーサージタンクの水位上昇を確認している。

(1F 復旧班) 5, 6号機については、M/C・P/C 関係の遮断機点検等を継続で実施している。水関係では、5号機の CS(B)室の水を水位0mm迄抜いた。6号機の R/W は昨日、35mm～40mm水位が上昇した。今日は18mm～26mm水位が上昇した。継続的に監視していく。

(1F 土木) 本日、3, 4号機にシルトフェンスの設置を完了した。明日は1, 2号への設置を行う。

(1F 建築) 集中 R/W の扉の閉止のため、コンクリート打設を行った。集中 R/W の健全性を本日から実施している。

(1F キリン) 昨日、4号機の SFP のサンプリングを実施したが、水位が想定より低かった。そのため、今日0:30～6:57で予定した195tの放水を行っている。4号機建屋内に水を漏らしてしまうリスクを考えると、崩壊熱を除去できるレベルの放水量を維持し、熱電対で水位を確認する方法を検討して注入した量が SFP に確実に入っているか検討していきたい。

明日は3号機の SFP へのゾウによる放水を計画している。

(本店復旧班) 保安院からの報告徴収指示について2点情報をお伝えする。

1点目は、原子炉建屋や PCV、SFP の耐震健全性評価をすることである。耐震補強工事の検討結果を報告することとなった。報告期日は無いが、指示を受けた。

2点目は、4月9日に1Fと2Fの地震・津波の調査結果について報告をしたが、津波の高さについてデータの整理、痕跡等々について7月8日までに報告するよう指示を受けた。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・ 個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・ 時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(保安班)4号機の SFP のサンプリング結果について、2F の解析結果が出たためお伝えする。検出された核種はコバルト60、ヨウ素131、セシウム137であった。ヨウ素131の濃度は216Bq/cc であり、参考に3号機 T/B 地下の滞留水は 120 万 Bq/cc であった。これと比較すると非常に低い値であるため、大規模に燃料破損した確率は低いと考えている。

(本店■■■■)R/W 止水工事について、地下水の流入が大きくなっているとのことだが、止水工事への支障はどうか？

(1F 復旧班)地下水の流入が多くなっているのは事実である。土木・建築・環境施設で協力し対応している。サブドレンの水をいずれかのタンクに移送して流入を押さえ込み、止水をする方法もあると考えられる。そのため、15日迄が工期であるが延びる可能性がある。

(武黒)本店と連携して止水については確実に進めること。

(1F ■■■■部長)いずれかのタンクとは、具体的にどこか？

(1F 復旧班)SPT タンク(B)を考えている。

(建設復旧班)2号機の水の移送を実施しているが、縦坑の水位は3000mm ちよつとである。以前流出していた、2号機ピットの漏えいは止まっているが、今後何かあった場合に備え、対策工事を実施していきたいと考えている。明日、B ピット下流から順番にグラウト(割れ目にコンクリートなどを詰める作業)を実施していく。作業にあたっては、線量が高い箇所があるので放射線管理員の配置をお願いしたい。

(1F)放管員も付ける。

(武黒)装備としてアノラックを着用する場合もあるので、熱中症への配慮もお願いしたい。また、開口部等含め、さらなる流出防止対策も検討すること。

(本店■■■■)No.1 ろ過水タンクについて、脱酸素を行い、腐食を抑制するためのバブリングを本日から開始した。今後も継続してバブリングを行う。

(武黒)安全第一、報連相、急ぐことなく確実に作業を進めること。

<決定事項/指示事項>

- ・ 特に無し

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/14(木)の時系列メモ> (情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定。

(1F ■■■) 2号機の縦坑の水移送が終了した。その後、T/B の水位は変化が無いが、トレンチの水位が上がってきていることを確認している。

また、集中 R/W へ地下水の流入が止まらない状況である。そのため、工程が遅れ気味である。今後、工程については検討していく。

3号機の原子炉への注水量が下げられないか検討をしているが、RPV 上部の温度が上昇傾向であることから、パラメータを注視して検討していく。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/h で実施している。RPV 圧力は0.42MPa で安定している。継続でN<sub>2</sub>を封入しているが、D/W 圧力は0.19MPa で安定している。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは全て安定している。

3号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。温度、圧力などのプラントパラメータは安定している。また、T/B 地下の滞留水及び縦坑の水位上昇が無いことから、原子炉への注水量を絞る検討をしている。しかし、RPV 上部及び周辺温度(RPV 胴フランジ下部、原子炉ベローシール部等)が4月13日以降上昇傾向にある。TE の信頼性等を含めて検討していく。

5, 6号機は冷温停止中である。また、地下水が入ってきているため、流入管理と地下水の処理を実施している。

(1F 復旧班)

集中 R/W の排水受入準備を実施している。本日、日立とプロセス建屋の止水方法やスケジュールの打合せを実施して、夕方の全体会議で詳細スケジュールを説明する予定。プロセス建屋や排気塔について大成建設が請け負う予定。明日、大成建設へスケジュールを説明する。また、集中 R/W の排水について、ペレット貯槽(A)が5mほど余裕があるため、それを利用する。必要に応じてペレット貯槽(B)への移送にする。ペレット貯槽(C)については、空いている状態のまま維持していきたい。

T/B 地下及びトレンチの水位については、1, 3号機は変化なし。2号機は、T/B 地下の水位は安定しているが、水位の目盛りが大雑把である。一方、縦坑の水位は昨日18時にて OP3030mm であったが、本日7時にて OP3065mm となっている。1時間間隔でトレンチの水位を監視していく。なお、本日9時にて OP3065mm であった。

SPF への放水は、3号機にて16:00～18:30にゾウ1号機にて実施する。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F 土木) 海域汚染流出対策として、本日1, 2号機にシルトフェンスの設置を実施する。また、3, 4号機開閉所及び旧厚生棟のガラ撤去を実施する。他作業として、共用プールの法面(のりめん)へ飛散防止剤の散布や2号機取水電源ピットへ追加グラウトを実施する。

(1F 建築) 集中 R/W のプロセス建屋地下の壁面の防水剤の塗布がほぼ終了した。本日、一部手直しを実施する。また、集中 R/W の高温焼却建屋の清掃を本日実施する。

(1F キリン班) 今までのキリンやゾウの放水実績から、ヤード側の立入り規制は不要と判断した。今後、原子炉建屋内のみ立入り規制とする。

(武黒) 3号機の SFP 放水の際に、目視は可能か？

(1F) カメラで見ながら放水を実施する。

(本店復旧班) 3号機の原子炉への注水について、サイトと同様にプラントパラメータを注視している。RPV の温度が上昇傾向にあることから、流量を絞ることについて急ぐ必要はないと考えている。そのため、本日以降、改めて検討を実施する。

(本店保安班) 1F の土壤中のプルトニウム測定について本日3回目の測定結果を発表する予定。値に大きな変化は見られていない。

(内閣細野) シルトフェンスの設置ありがとうございます。湾の中に汚染された水が溜まっている状態である。取り除くなど処置について早急に進めて欲しい。汚染水については、放出してしまったものではあるが、更に外洋に出ないようにするという意識を全体で持つこと。

(武黒) 湾内の封じ込めについて明確にする必要があると考えている。

(部長) (資料で説明) 4号機の SFP サンプルングの分析結果(速報)について解説する。セシウム134, 137は  $10^2$  オーダー、ヨウ素131は  $10^3$  オーダーで検出されている。値については、通常運転時より高いが、2号機の T/B 地下水のサンプルング結果に比べれば  $10^4 \sim 10^5$  位低い。そのため、燃料被覆管が損傷したと判断していない。検出されたヨウ素131は半減期が8日であり、外からかフォールアウトで入ってきたものと判断している。以上から、ほとんどの燃料は健全であると考えている。

(1F 部長) SFP の空焚きによる燃料損傷を心配していた。分析の結果から、(放射性物質濃度が)低いレベルであることを確認した。しかし、燃料が損傷したという報道が先行している。外部への説明をお願いしたい。

(部長) 夕方にプレスする。

(武黒) 広報班もしっかり準備をすること。

(本店広報班) 了解した。

(細野) 使用済燃料の損傷については、諸外国で様々な議論があった。現

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

在においては、(損傷していないと)断定せずに、データを客観的に出して、分析はこれからという発表にしたほうが良い。

(武黒)安全第一、報連相、連携を十分に配慮して確実な作業を実施すること。

<決定事項/指示事項>

- ・ 特に無し

～全体会議終了～

～全体会議～

19:02

プラント状況、作業進捗、作業予定。

(1F)本日17時前に、1号機の N<sub>2</sub> 封入装置が停止している。原因は調査中(すぐ後に説明あり)。3号機の SFP ヘゾウ1号で放水を行った。また、シルトフェンスの設置は完了した。集中 R/W の止水処理について本店と連携して検討している。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/h で実施している。RPV 圧力は0.42MPa、D/W 圧力は0.19MPaabs で安定している。N<sub>2</sub> 封入が16:30過ぎに停止した。N<sub>2</sub> 封入が停止した原因は、AO 弁にエアを供給しているコンプレッサーが不調になったため。現在、復旧作業を行っており30分～1時間で復旧する見込み。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは全て安定している。

3号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。RPV 圧力などのプラントパラメータは安定している。RPV 周りの温度について、RPV 胴フランジ下部、原子炉ベローシール部の温度が上昇していたが、現在高めではあるが安定している。

5, 6号機は、冷温停止中で、サブドレンポンプ停止による地下水流入が見られている。地下水流入については監視している。

(1F 復旧班)

集中 R/W の配管貫通部の閉塞作業を実施している。メインの送水箇所であるプロセス建屋の状況については、現在、地下水が流入しているためコンクリートが打てなかったが、工法を検討し、コンクリート打設ができるようになったので、明日からコンクリートを打設する計画をしている。17日に送水できることを目標に工事を実施している。

T/B 及び縦坑の水位は、2号機の縦坑のみ水位が変化している。

(1F 復旧班)

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

5号機は、各建屋の水位を監視している。R/W 地下の水位も監視している。

6号機は、T/B 地下の水位が床から60cmと上昇している。一日4~5cm程度水位が上昇している。同様に、6号機の R/W、M/C 室の水位も上昇している。

(1F 土木) 1, 2号機のバースクリーン及び1~4号機カーテンウォールヘルシルトフェンスの設置を実施した。これをもって全てのシルトフェンス設置を完了した。

ガラ撤去及び飛散防止対策は予定どおり実施した。

2号機電源ピットへの追加グラウトを実施した。全体からいうと、3割程度完了した。残り、2日間程度で全て完了する予定。

(1F 建築) 集中 R/W のプロセス建屋壁面への防水剤塗布を終了した。

(放水) 3号機の SFP ヘゾウ1号を用いて、約30分で25tの放水を実施した。それにより、プール水はほぼ満水となった。想定している蒸発量が、従来の計算よりも少ないと考えられる。現在、2日に1回の放水を実施しているが、見直しを掛けることとする。明日は、4号機の SFP ヘゾウ2号を用いて14時~19時の間で140tの放水を実施する予定。

(武黒) 集中 R/W の海水受入準備について、先ほどの説明で地下水が増えてきたことに対する対策を含めて、明日、明後日で終了する見込みとのことだが、2号機の T/B 地下の水位が上昇しているので、確実に施工してもらい、送水が17日からできるようにお願いしたい。

(1F) 了解した。

(武黒) 1号機の PCV の水位が上がっているが、そろそろ電気ペネの高さにまで達すると思われる。そのため、T/B 地下の水位は増えていないか？

(1F) 現在、T/B 地下の水位変動がないことから、漏水が無いと判断している。

(本店復旧班) ある弁のリミットスイッチの回路が0から無限大になった。そのため、電気ペネの高さにまで水が到達するのが、1日ずれて明日の予定。

(本店復旧班) (資料で説明) ~全般的に聞こえず、以下予想~

シルトフェンスを設置したが、防波堤に〇〇を設置する予定である。その設置には時間がかかる模様である。バースクリーンにゼオライト入りの土嚢を沈める予定。効果は別途確認する。明日の午後から土嚢の投入をしたいと考えている。

(武黒) ゼオライトの効果が期待されるが、それだけではなく、他に放射性物質の吸着性能を高める工夫を続けて検討すること。復旧班を中心に、更に先を考えた手段を検討して具体化を早めること。

(本店保安班) (資料で説明) 沖合海水サンプリングについて、30km地点で

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

は文科省、15km地点では東電が測定している。今後、1日1回、3km地点の4ポイント、8km地点の2ポイントの測定を追加する。

(1F 復旧班) 19:05、N<sub>2</sub>封入について復旧した。

(小森) NTT の基地局の復旧状況について、本日富岡局の復旧を完了した。明日、榎葉～浪江～大熊について順次復旧していく。

(武黒) 安全第一、報連相、連携を十分に配慮して確実な作業を実施すること。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/15(金)の時系列メモ> (情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00 プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F ■■■)まず特記事項から。集中ラドについて。コンクリート打設等を今日明日で完了予定。17日からの2号機立坑→集中ラドへの移送開始に向けて、予定通り進んでいる。

1号機水位については、監視継続中、本店と対応を協議中。

3号機 注水流量は従来のままだが、温度上昇傾向あり。継続監視を行い、もう少し時間をもらいながら本店とともに検討したい。

(武黒)3号機の炉注水量について、これまで下げる方向であったが、今後上げる方向の検討も必要と思う。本店復旧班と連携して至急で検討のこと。

(■■■)4号機SFPは本日ゾウNo. 2にて140t注水予定。来週は先端に熱電対を装着して、水位を監視する方向で検討中。どこまで注水できるか確認したい。

ゼオライトの土嚢を海に入れる作業を1～4号機海側で実施予定。ゼオライトも高線量物質となるが、これらガレキ等の高線量物質をどこにおくか、レイアウトの検討を行って欲しい。

(武黒)今後タービンの水処理も含めて高線量物の設置エリアについて全体的に検討をする必要がある。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/h で実施している。N<sub>2</sub>封入が昨日16:30～2時間半程度停止したが、D/W 圧力は0.19MPaabs で安定している。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは全て安定している。

3号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。炉圧は安定している。RPV 周りの2点の温度上昇について、RPV 胴フランジ下部はほとんど静定、原子炉ベローシール部は1℃/h程度の変化となり落ち着いて来た。

5, 6号機は、冷温停止中で、安定中。地下水の流入あり。

(1F1～4復旧班)

集中 R/W の配管貫通部の閉塞作業を実施している。メインの送水箇所であるプロセス建屋の状況については、17日の移送を目指して、今晚18時を目途に、コンクリート打設を実施予定。

T/B 及び縦坑の水位は、2号機の縦坑のみ水位が14日の11:00から1.5c

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

m上昇したが、至近の12時間である昨日の18時からでは、0.5cmの上昇でありサチってきた。Tb/Bの水位は変化なし。

(1F5~6復旧班)

M/C、P/C点検、清掃を実施中。

6号機のTb/B、R/Wの水位が上昇してきており、監視を強化している。

(1F 土木)1~4号機カーテンウォールヘシルトフェンスの設置を実施した。2号のバースクリーンに鉄板の設置を予定している。また本日はゼオライト入りの土嚢の設置を行う。

本日は、旧厚生棟および3、4号開閉所近くのガラ撤去を行う。また明日からは1号機周辺のガラ撤去を行う予定。

飛散防止対策は予定どおり本日は共用プール西側の散布を行う。

2号機電源ピットへの追加グラウトは、本日実施予定。

(1F 建築)15、16日で集中 R/W のプロセス建屋壁面への止水対象エリアにコンクリートを打設する。本日は11時~実施予定。

(放水班)他は特になし。

(武黒)R/Wのコンクリートの打設について、明後日17日から移送開始を目指して鋭意行っているが、作業が輻輳するので、本店との連携を的確にとって、安全第一で行って頂きたい。

(本店復旧班)現場からの報告のとおりだが、2点ほど情報共有。4号機の燃料プールのサポート、SFPの健全性について、支持構造物の評価を行うことについて保安院指示を受けているところ。今後、建築部門が4号機に入って、現場調査を行う予定。

本日も■■■■sが現場に行っているが、無線ロボットの件。全体方針、戦略について、共有が十分でなかった点を反省、■■■■部長がおじゃまして、復旧の大方針を説明に上がりたい。

(■■■■)土木によるガラ処理の対応は、事前工場モックアップ、現地モックアップを含めた対応で、良好事例と考えている。ぜひ本店からも現地に赴いて、検討、対応をお願いしたい。

(水処理:■■■■s)水処理の方針、タンク等の設置について。今後の方針として地上タンクを設置する際に森林を伐採しないといけないことを中心に県に説明を実施。森林法等の申請については災害時の緊急処理として、簡易手続きで良いとの判断をいただいている。

(1F■■■■)サブドレンからの地下水流入については、5、6号機は電気室に

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

迫ってきている。ぜひ急ぎ検討をお願いしたい。

(情報班) 作業員の休憩スペースを三箇所設置することを検討している。5、6号のサービスビルの作業員の休憩スペースを19日から運用したい。トレーラーハウスを20台ほど手配しているが、手配の関係から、もう少しかかる。企業棟の厚生棟も準備している。全体方針については今後共有したい。

(保安班) (資料参考) 西門のダストが全体的に下がっているが、昨日から夜間→日中に測定時間を変更したが、西風→東風の変化の影響で若干上がってきているが、これは測定時間と風向の影響による。

サブドレンについて、保安院指示により、週3回(月、水、金)で測定を開始している。

(西澤常務) 本日の19時に広報の社員が2階災害対策本部に入って、撮影を行う予定。海江田大臣判断で記者クラブに提出予定。夕方7時に撮影するが、普段通りの対応をお願いしたい。

(Jビレッジ小森) 監査部と引き継ぎを行い、午前中にJビレッジを発つ予定。

<決定事項/指示事項>

- ・3号機の炉注水量について、これまで下げる方向であったが、今後上げる方向の検討も必要なため、至急検討のこと。(本店-発電所復旧班)
- ・ガレキや水処理(長期的にはゼオライト)等の高線量物質をどこにおくか、設置エリア等、全体的なレイアウトの検討を行う。

～全体会議終了～

～全体会議～

20:00 プラント状況、作業進捗、作業予定

(海江田大臣) 細野補佐官と官邸に行き、総理からのメッセージを受けてきた。今が一番厳しいところで頑張り所。中長期的な展望をもって、人員の配置や資機材について検討頂きたい。着実に対応のこと。

(1F 吉田) まず2点を紹介。1つは集中ラドの水密工事について。先ほど気分が悪くなった作業員の方がおられたので、作業をストップしている。コンク

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

リート打ちを明日に延期しているので、若干工程が遅れ気味となっている。

2号機の放水口近傍の海域の放射能濃度について、線量が昨日に比べて5~6倍に上がっている。シルトスクリーンや鉄板設置による海流の変化の影響かとも思われる。

(武黒)コンクリート打ちは放置期間も必要なので、工程については発電所とともに詰めていきたい。

海域の放射性濃度のサンプリングについては、今後対外的にも求められるので、測定の方法や条件等について、十分確認の上、PDCAを回して継続監視して行きたい。

(本店保安班)スクリーンの設置もしているので、その影響も含め確認、継続監視して行きたい。

(1F 吉田)2号機の縦坑の線量の上昇はなく、また以前放水していた箇所からの漏れも無いことから、スクリーンや鉄板の設置による海流の変化の影響だとは考えているが、継続して監視して行きたい。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/hで実施している。炉圧は安定。D/W圧力は0.19MPaabsで安定している。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/hで実施している。プラントパラメータは全て安定している。

3号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/hで実施している。炉圧は安定している。RPV周りの温度上昇についても、ほぼ静定している。変化がある箇所についても、変化が大きいもので0.5℃/h程度の変化となり、落ち着いてきた。明日の朝まで継続して確認し、安定していれば、材料研と相談して流量を絞りたいと考えている。

5, 6号機は、冷温停止中で、安定中。地下水の流入あり。M/C 6C室への流入量が多く、排水作業を実施している。明日止水処理を行う。

(武黒)流量を絞ることについては相当に慎重に検討して頂きたい。

(材料研)材料の観点では、圧力等の観点から問題ないと考えている。

(武黒)流量の減少というよりは、むしろ今後は流量の増加も検討しなくてはならないが、まずは監視を強化し、発電所と連絡を密に対応して頂きたい。

( ) そのように対応していく。

(1F1~4復旧班)

コンクリート打設を明日に延期して実施予定。

縦坑の水位は、2号機は本日7:00から1cmの上昇、3号機は2cmの上昇。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

また4号機のTb/Bが5cm上昇。

(1F 吉田)これはどうとらえたらよいか？

(1F 復旧班)湧水か、または SFP からの回り込みも捨てきれない。

(細野補佐官)水の問題は重要。(2号機は)このまま継続して上昇すると、廃棄物の量としてはどうなるか。

(1F 吉田)2号機としては、H/W に水を移送していて、OP4000まで行くとしても、1ヶ月は持つと考えている。

(1F5~6復旧班)

M/C、P/C点検、清掃を実施中。

5、6号機の各建屋の水位が上昇してきており、監視を強化している。

本日、取水建屋のガラの調査を行っている。

(1F 土木)2号のバースクリーンに止水鉄板の設置を、本日4枚設置して、これにて完了した。また本日はゼオライト入りの土嚢の設置を3箇所実施。明日以降材料が入ってくるので、順次実施する予定。

飛散防止対策とガラ撤去は予定どおり実施する。

(1F 建築)ポンプが故障して、本日コンクリ打ちを延期した。明日実施および完了予定。

(武黒)コンクリ打ちについては明日完了とのことだが、完了時間については連絡方。

(1F 吉田)コンクリ打ちについては、集中ラドと干渉している。調整を行い別途連絡する。

(放水班)4号機は、14:30~18:29 140t注水実施した。昨日3号機の注水結果を踏まえ、3号機 SFP の注水計画を4日に一度、50tとして変更している。

(武黒)本日の4号機の注水の予定が短くなったのはなぜ？

(1F 復旧班)本日34t/h の流量が出た。総量を見て、140tとして終了を決めている。

(武黒)蒸発量で決めているということ？

(1F 復旧班)そのとおり。(武黒)崩壊熱の関係で少なくなってきたか。現場と良く相談して実施すること。

(本店保安班)(資料参照)スクリーニングレベルの運用変更について。動線をシンプルにする運用変更。4/20より運用変更予定。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(情報班■■■■)プラントパラメータの変動について、明日以降、準備ができ次第HPにアップを予定。休憩所について、19日以降、順次運用開始予定(詳細は資料参照)。

(1F吉田)早速の対応ありがたい。人数的に考えると現時点がピークで700名位所内に作業員がいる。作業物量の関係で、さらなる要望をしてしまうかもしれない。

(情報班■■■■)今後も対応を行う予定。

(本店建設班)スクリーニングレベルの運用変更については、ゼネコンには周知済みか。

(本店保安班)各復旧班経由で周知を行って欲しい。

(武黒)大勢の人に関わる話なので、十分に協議し説明を丁寧に行うこと。

(Jビレッジ)先ほどの作業員について。医師の診断の結果、軽い熱中症とのことであった。

<決定事項/指示事項>

- ・(特になし)

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/16(土)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 吉田)集中ラドの貫通口閉止作業について、徹夜に近い状態で作業を行っているが、工程は流動的。今後本店と工程を詰めていく。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を $6\text{m}^3/\text{h}$ で実施している。原子炉圧力が $0.42 \rightarrow 0.43\text{MPaabs}$ に上昇している。 $\text{N}_2$ 注入量は $28\text{nm}^3$ 。

2号機は、原子炉への注水を $7\text{m}^3/\text{h}$ で実施している。プラントパラメータは全て安定している。本日、10:00～12:00 SFPへ注水予定。

3号機は、原子炉への注水を $7\text{m}^3/\text{h}$ で実施している。炉圧は安定している。RPV上部の温度上昇は、緩やかになってきた。一兩日はデータを確認して、対応を検討したい。

5, 6号機は、冷温停止中で、安定中。地下水の流入あり。

M/C6C室への漏れ込みが増えている。100L/日。バケツ約5杯分。壁面の止水処理を検討する。

(武黒)1F3のデータについて。詳細に見て、炉内の知見にも反映できると思うが、流量を絞るという方向に過度にとらわれることなく、よく発電所でも検討してほしい。

(1F1～4復旧班)

集中R/W工程再調整実施中。

T/Bトレンチ及び縦坑の水位は、2号機の縦坑が水位が1.5cm上昇、3号機は1.0cm上昇している。

2号機 Tb/Bについて、昨日より50mm水位上昇している。立坑→H/Wの移送終了後には、今までの実績では、20mm/日の上昇率なので、これまでと同程度の水位上昇が継続していると考えている。

4号機 15日18:00～ 50mm上昇している。バキュームブレイカーのところからオーバーフローしている、3号機のコンデンサーからオーバーフローして、4号機の水位が3号機と同じ水位になってきた、と考えている。

(武黒)3～4号機は連通しているということか。

(1F復旧班)そのように考えている。

本日2号機 SFP注水について、10:00～、60tの予定に変更。(資料修正願う。)

(1F5～6復旧班)

M/C、P/C点検、清掃を実施中。

6号機のスミア測定等行い、また各建屋の水位の監視を強化している。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(土木)汚染水対応について、昨日、ゼオライト土嚢の設置を3箇所行った。  
本日7箇所分が搬入予定。本日設置の準備を行い、明日設置を行う。  
飛散防止剤、グラウト注入、ガレキ撤去については継続実施中。

(建築)集中ラド プロセス建屋のコンクリートの充填作業を本日実施。

(SFP注水)本日、3、4号機は予定なし。4号機 明日4/17 13:00～ 140t実施予定。3号機 明後日4/18 13:00～ 140t 実施予定。

(本店■■■■)1号機のシステムの N<sub>2</sub> 封入量を低下することについて、本日夕方の方の会議にて報告したい。

(保安班)4/15日付けで、NISA から指示文書受領。

- ・詳細評価報告書を5/2まで
- ・サンプリング結果の定期報告
- ・魚介類のサンプリングを行い、影響評価

(1F吉田)ロボットでの線量を測ろうPJについて、5号機にて本日R/B二重扉のモックアップでの開閉可否試験をPMから行う。

こういった作業についても、本店からも報告を欲しい。

(本部■■■■)昨日■■■■さんとも打ち合わせ行っている。

先日、二重扉のロボット開閉が成功していると聞いている。

適宜打ち合わせを行いながらすすめているところ。

今後、大熊側(1～3号機?)での開閉試験を行う予定。

明日以降、■■■■sもサイトに伺って、扉の開閉の確認を行う。

(武黒)報告の的確実施、報連相の励行をすすめて、安全に作業を進めてほしい。

<決定事項/指示事項>

(特になし)

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F吉田)残念な報告から。集中ラドの止水工事。プロセス建屋の水密化について。地下2階から湧水あり。コンクリ打設するも止まらずという問題発生。

2号機、流出部分のサンプリング結果が昨日これまでの6倍の結果であったが、本日分についても昨日と同レベルであった。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

R/Bの線量測定チーム、5号機のモックアップを実施。今後先行号機をどう行いか、あとで情報共有する。

(武黒)集中ラドについては、1箇所だけ残っているとのこと。発電所と本店で協力しながら、明日中になんとか目途を立てたいと思っている。

(1F吉田)努力するが、流水のレベルが高い。流れている部分を打設で止水することは難しいと思っている。サブドレンの水位上昇が障害になっていると考えている。

(武黒)サブドレンも重要なので、本店と発電所で知恵を出し合ってやっていきたい。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/h で実施している。D/WN<sub>2</sub>を封入しているが、圧力が微減している。地震があったが、設備に特段問題は発生していない。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは全て安定している。本日、10:13~11:54 SFP へ注水実施。スキマーのレベル上昇を確認している。(注; 11:39が停止の時間、11:54が本日終了の判断時間)

3号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。RPVのペローについて、5点とっているが、そのうちの1点について、320℃以上あったものが、現在288℃になった。その他4点について、上昇傾向。継続して監視していく。

5, 6号機は、冷温停止中で、安定中。トピックスとしては、地下水の流入あり。M/C6C室や5, 6号の電気品室への漏れ込みが増えている。

(1F1~4復旧班)

2号機のトレンチのレベルが、今朝の会議から20mm上昇している。全体的に上昇傾向であり、傾向は変わっていない。

他については、これまでの傾向と変わっていない。

(1F5~6復旧班)

ロボットによるモックアップを実施。M/C、P/C点検を実施中。

(土木)汚染水対応について。ゼオライト土嚢について本日7箇所分搬入実施。明日に向け準備を実施。明日9:00から、7箇所のゼオライト設置を行う。飛散防止剤、ガラ撤去については工程通り本日分、終了した。

(建築)集中ラド プロセス建屋のBF2コンクリートの充填作業を実施したが、十分止水できなかつた箇所がある。現在BF1の打設が終わった。沿道部のコア抜きが終わった。BF1の集合配管については開口部のコンクリ打設が

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

月曜になる予定。材料手配の関係があり、作業での開口部の塞ぎもある。セメントが無くなってきており、明日は品種を変えて運用する予定。また、集合配管部分については見積もりよりも必要量が多かった。

(武黒)本店とともに対応策を検討していくこと。

(SFP注水)本日、3、4号機は実施なし。4号機 明日4/17 13:00~18:00 140t実施予定。

(保安)スクリーン付近の海水サンプリングの値が通常より6倍程度上昇したが、本日も同程度の結果であった。その他の場所については特に変化はなかった。

(1F吉田)この濃度について、どう理解するか、ということが重要。本店と議論したい。

(細野補佐官)シルトフェンスの外に出ているのか、それとも中に収まっているのか。

(1F吉田)内外のサンプリングデータから、シルトフェンスの外に出てはいないと考えられる。

(本店保安)サイトの保安と相談して、サンプリングポイントの増加も含めて検討していく。

(■■■■s) (資料参考)本件は、無人ロボットにより、放射線の雰囲気線量、ダスト、温度等を測定するもの。また、カメラ撮影も行う。現場調査を行い、1~3号機扉も5号機と同じであることを確認した。明日からのロボットによる線量測定の準備が整った。エアロックの内外の線量については、内側の窓から確認したところ、1号機の南側の二重扉前が270mSv/h、その他は10~20mSv/h、温度は2号機が36~37°C、3号機が外気と同程度の温度、1号機がその中間程度であった。

(武黒)実施可否判断について、本日の結果を以て、明後日R/Bの中に入っていくことができるという判断ができるということ？

(1F吉田)所長としては、本日の結果を持って、他の作業と干渉が無ければ、またチームが自信あるなら、OKを出したい。

(本店■■■■)十分できる手応えがあると思うので、計画通りに実施してもらえればと思う。

(1F吉田)3号機については、集中ラドへの移送により廊下の線量が上がるため、その移送開始前に実施するのが良いと思う。

(非管理メモ)

本資料は、本部門卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(安全) 1号機のD/W内にある程度水位が形成されてきた。OP1448 6(?)辺りに水位があるのではないかと考えている。このまま注水を続けられ、電気ペネの上まで水位が上昇するものと思う。崩壊熱により注入量6m<sup>3</sup>のうち3m<sup>3</sup>が蒸気となって出て行く。また逃し安全弁からの漏れ等により、格納容器の圧力に影響を与えうる。

(武黒)注水量を格納容器のリフラインのために、また格納容器圧力の緩和について、どのように最適化されるのか、引き続き検討願う。

集中ラドの止水処理については引き続き本店、発電所で議論して進めたい。

<決定事項/指示事項>

- ・集中ラドの止水方法について、サブドレンとの関係性も含め、本店と発電所で協議して方法と工程を検討すること(復旧班)。
- ・2号機のスクリーン近傍海域の線量上昇について、どういった見解とするか、サンプリングポイントの増加も含めて発電所とともに検討する(保安班)。
- ・線量測定ロボットについて、当初予定通り、実施する。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/17(日)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 発電)1号機炉注入は 6t/h で安定している。炉圧 0.42MPa で一定。D/W 圧力、温度安定。N<sub>2</sub>封入を 28m<sup>3</sup>/h で継続している。D/W 圧力が若干低下しており、6時現在で 183kPa abs。

2号機炉注入は 7t/h で、炉圧、温度とも変わっていない。

3号機炉注入は 7t/h で炉圧・炉水位変化無し。ペロー部の温度は、5点とっているが、0時時点で 213～283℃、6時の時点で 210℃～280℃。どのポイントも若干下がっている。

4号機は変化無し。13時から18時にゾウさんで約 140t注水予定。スキマーレベルの変化を見る。

5,6号機は原子炉と SFP を RHR で制御している。

6号機については、タービン建屋とラドの滞留水レベルが一日あたり 2～3cm 上昇している。

(1F 復旧)集中ラドプロセス建屋地下2階の封水作業を継続している。

2,3号機のトレンチについては、2号機 18mm,3号機 10mm 暫増傾向にある。

2号機のタービン建屋水位は、10cm 刻みの粗い監視ですが、暫増傾向。

5,6号機の地下水の流入について、ギア室に排水ポンプを設置。

5,6号機の M/C、P/C の清掃。水位の確認を継続。

(本店)水位のデータがないところはどうなっているのですか？

(1F 復旧)1号機カメラの調子が悪くて、タービン水位を監視できないが、本日午前中に復旧予定。

3号機のロボットによる二重扉の開閉を本日 10時から実施予定。

(1F 土木)2号機の電源ピットの注入を実施予定。

飛散防止剤を集中ラド西側法面に 1900m<sup>2</sup>散布予定。

ゼオライト投入について、1,2号機に2体、3,4号機に5体の予定。

ガラスの撤去について、厚生棟の方は本日終了。

(1F 建築)プロセス建屋のコンクリート充填作業を実施します。地下水の流入を止めることができないので、継続して対応する。

(1F キリンチーム)4号機、13時から18時で 140t 注入の予定。

(1F 保安)海水のサンプリングについて、2号機のスクリーン前が高い。シルトフェンスの前もサンプリングしたいがいかがでしょうか？

(1F 所長)本店保安班と相談した方がよい。

(1F [REDACTED])ゼオライトの効果を見るためにも良いのでは？

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(本店保安)ゼオライト作業と混同しないようにタイミングを考えること。

(1F ■■■)放水、リサイクル、貯蔵について、精力的に検討していきたいのでよろしく願います。

(本店武黒)止水を午前中に実施します。全体に影響するので、状況をよく見ながら行うこと。(???マイク不調により聞き取れず)

(本店復旧)ロボットについて、今日明日で3号機、2号機、1号機と順次実施する予定。

明日予定は、水の全体的な処理方針について、現場を伺って説明を行う。

(本店保安)西門のモニカーのダスト濃度の上昇について、東風によってぼんと上がった(書画にて説明)。引き続き監視を行う。

(1F 所長)上がったことに対して、N<sub>2</sub>封入を停止するかどうかという議論はどうなったか?

(本店復旧)4/7 14 時の時点で上がったときは、風向きが西向きだったので、ダストの上昇とN<sub>2</sub>封入は関係ないと判断する。

(本店武黒)N<sub>2</sub>封入について、いずれにしろ検討してもらっているが。

(本店復旧)N<sub>2</sub>封入を減らすことは検討している。

(本店武黒)N<sub>2</sub>封入を減らすことを検討してもらっているが、発電所との調整をすぐに実施して下さい。

(本店復旧)了解しました。保安院にも説明します。

(本店保安)サブドレンの監視強化について、問題の2号機について、ぼんと上がったが上り調子ではない。3号機はほぼ横ばい。4号機も横ばい。

(本店武黒)サブドレンの放水は止めてありますね。

(本店保安)止めています。

(本店情報)プラント関連パラメータは今日の夕方から当社ホームページで公表します。

(細野補佐官)大使がお見えになっている。24時間態勢で対応して頂いています。あらゆる情報を正確に伝える必要があります。まさに恩人です。

(藤崎大使)大使館でもタスクフォースを作り、アメリカへ接触して広報活動を行っている。アメリカでも関心を持っている。引き続き宜しくお願いします。

Jビレッジの自衛隊の方々、本当にお疲れ様です。

(会長)避難所等にてご奉仕頂いている(???マイク不調により聞き取れず)

(武黒)安全、基本動作を励行して確実に作業を行うこと。

<決定事項/指示事項>

- ・ N<sub>2</sub>封入を減少させることについて、サイトとの調整を実施すること

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(対応:本店復旧班)

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

本日午後三時に事故の収束の道筋を公表しました。

(本店復旧) 基本的考え方は、原子炉および SFP の冷却の安定状態を確立し、放射性物質の放出を抑制すること。

基本的考え方を踏まえて、放射線量が減少傾向となっていることをステップ 1、放射性物質の放出が管理され、放射線量が大幅に抑えられていることをステップ 2 とする。

目標時期は、ステップ 1 を 3 ヶ月、ステップ 2 をステップ 1 終了後の 3～6 ヶ月。ステップ 1 の終了時点で見直す可能性があります。

当面の取り組みは、3 つの分野を 5 つの課題に分けている。3 つの分野は冷却、抑制、モニタリング・除染です。水素爆発の抑制、放射線濃度の高い水を放出しないこと。

ステップ 1 の冷却については、N<sub>2</sub> 封入は実施されており、熱交による外部冷却、キリンの注水により SFP は安定している。

抑制については、滞留水の保管場所の整備と飛散防止剤の散布を 3 ヶ月程度実施する。

モニタリング・除染については、早く正しくお知らせすること。

ステップ 2 以降は、1, 3 号機は早い段階で燃料上部まで水位をもっていけるが、2 号機は厳しいかもしれない。SFP の注入装置の遠隔操作化。燃料については、燃交の機能復旧を目指す。長い目では燃料を取り出していく。

抑制については、低レベル水の除染と塩分処理を行うため、5 月には処理装置を稼働させる。長期的に水の処理を行う。

原子炉建屋のカバーの設置とコンテナ化を実施していく。

モニタリング・除染については、避難区域のモニタリング方法を検討する。線量を十分低減する。

(本店武黒) 広範囲で多くの課題を実施するので、本店・発電所のみならず、協力企業や政府も一体となって、全体としての取り組みを円滑に行うように。

(1F 所長) 道筋は理解したが、一行の内容を実施するのに大きな労力が必要。まだ止水も終わっていない。レベル 7 になったことから発電所の域を超えている。63(64?) 項目を実施するのに発電所の人員では対応できない。それに応じた体制の抜本的な整備が必要。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(本店武黒)この内容を確実に進めて行くには、事象を追いかけて行くものではなく、計画的に対応する必要ある。

(武藤)今後の道筋の内容は盛りだくさんであり、未経験なことや難易度の高いものもある。本店とサイトとが連携して進めていく必要がある。早急にサイトの意見をとりまとめて、体制を整備していく。

(会長)すでに各関係部が対応しており、体制整備を検討している。緊急対応から中長期的対応に変わってきている。メーカーや協力企業やロジ面を含めて検討しているので、ある程度骨格ができた段階でサイトに説明をする。

(1F 所長)トピックスとしては、集中ラドの水密扉脇の湧水は止まっていない。重労働なので協力企業からストップの要請があったため、作業を止めている。本店・サイトのチームで検討を行っている。別途報告します。

また、■■■■氏より3号機、1号機のロボットによる R/B 内の雰囲気測定について説明する。

(1F 発電)1号機炉注入は 6t/h で変更無し。N<sub>2</sub>封入を 28m<sup>3</sup>/h で継続している。水位、炉圧とも安定で、D/W 圧力が若干低下しており 179kPa abs。

2号機炉注入は 7t/h で変更無し。水位、炉圧、D/W 圧力とも変化無し。

3号機炉注入は 7t/h で継続。炉圧・炉水位変化無し。RPV ベロー部の温度は、5 点とっているが、今朝の時点で 210℃～274℃であったが、207～271℃とやや下がっている。

4号機は、17:39からゾウ2号により SFP の注水を開始。140t を予定している。

共用プールにて、14:37～17:30まで電源が止まっていた。17:40に冷却装置の再起動を終了している。プールの温度は33℃で大きな変化なし。

5,6号機は原子炉と SFP を RHR で制御している。

トピックスとしては、滞留水の監視です。

(1F 復旧)集中ラドの排水は後ほど説明します。

トレンチは、2, 3号機は上昇傾向に変化はなく暫増している。

タービン建屋は、2号機は暫増傾向にある。

1号機は、監視用カメラを11時前に復旧しました。50mm の水位低下があるが、今後一定になると思われる。監視していく。

5, 6号機の M/C、P/C の清掃を実施している。

6号機の滞留水が上昇しているので、H/W への移送を計画している。

1～3号機用の炉注入のホースが痛んできているので、交換を行う。1プラントあたり5分くらい停止します。

(本店武黒)いつやるかはっきりしているか？

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F)明日の全体会議にて報告します。

(土木)ゼオライト設置について、9時から11:15に、1, 2号機の間で2体、2, 3号機の間で5体の設置を完了した。

2号機の電源 B ピットの閉塞を完了しました。

飛散防止剤、集中ラド西側法面 1900m<sup>2</sup>を完了している。

ガラ撤去について、汐見坂と旧厚生棟周りを完了して、3/4号開閉所は明日も継続します。2箱入りまして、全部で30箱となった。

(建築)プロセス建屋のコンクリート充填作業を完了しました。コンクリから地下水の流入があることから、本店と検討しているところです。

(本店武黒)3号機の N<sub>2</sub> 封入を考えると、3号機周辺の撤去を精力的に行う必要がある。本店・サイトの関係者の協力をお願いします。

(1F 保安)2号機のスクリーン前で3日前に高くなったところは今日も変わらない。(書面説明)シルトフェンスの外側も測定を行い、セシウムが半分、よう素が低めであり、シルトフェンスの内側のものが外に出ている様子はないと考えられる。

(本店保安)シルトスクリーンの効果を監視していきます。いずれにしても減少傾向にあります。

(キリンチーム)4号機 SFP 注水について、13時から予定していましたが、ホースの交換により遅れた。38t/h で 140t の注水を行う。21:20終了予定。

明日の予定は、3号機で14時から16時に、カメラでスキマーの入り込みを監視しながら、50t を目安に行う。

( ) 5, 6号機のラドに水がたまっている。6号機のメタクラ室が電気の供給元。

サブドレンを引っ張っていたときは、水位は上がっていなかったが、サブドレンの放出を止めてから水位が上昇してきている。ひびから水が滴ってくるので、コンクリで埋める作業を行っています。ラドの水処理が必要であり、タービン建屋の水処理チームが明日来るので、相談する。

(本店武黒)サブドレンの行き場をどう確保するかの問題です。

( ) 低レベルの多量の水がたまっていると考えている。水没のリスクを除去したいと考えている。来月中頃を目途に1万トンクラスの貯蔵タンクを設置する。

(本店武黒)来月中旬では間に合わないの、詳細に説明願います。

( ) 順次運び込みを行うことを考えており、明日説明できると思います。

(本店武黒)明日中に決めて具体化できるようにして下さい。

(1F ) 午前中に3号機、午後1号機の R/B にロボットを入れて線量、温度、湿度、酸素濃度、ダストサンプリング測定を実施した。(書面で説明)

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

1号機は、エアロック近くは 20mSv/h で中にはいると 40mSv/h に上がる。エレベータホールまで行くと 10mSv/h に下がる。酸素濃度は 20.9%。

3号機はエアロックの中から見たところ、20mSv/h であったが、中にはいると 28.8mSv/h。前進していくと 57mSv/h まで上がった。初めて入ったこともあり、操作に不慣れであったこと、ガレキが多数あったことからあまり前進できなかった。HCU の前までもいけていないと思われる。酸素濃度は 20.9%。

書画を用いて内部の様子を説明した。

エアロック内外の線量を人が測定した結果について、1号機の D/W の水位が上昇するとペネから水漏れがあれば変動があると予想していたが、結果的には顕著な変動はなかった。

(本店武黒) 冷却方法の確立に役立てていきたい。

(総務) 8時から11時に小名浜 CC の通信電源工事を行います。PHS、FAX が使えなくなります。携帯は使えます。

(情報) 本日の朝のプラントパラメータをホームページにアップすると言いましたが、NISA からストップがかかったので、明日から実施します。

(本店保安) プルトニウムの分析結果は、空気中は検出されていません。海水も検出されていません。結果を明日公表します。

(水処理チーム) フランスとアメリカから、リース供給を既に受けている。明日の午後からロシアアカデミーから来るので、情報交換を行う。

(海江田大臣) 本日、東電が今後のロードマップについて記者会見を行った。着実に安全に実施できるようにする必要がある。64の作業を行うためには要員や資材を供給する拠点の構築が必要。海外からの目もあるので一度掲げた目標を達成するように、実現に向けて努力をしていきましょう。

(本店武黒) 大きなチャレンジをしていかなければならないので、協力をお願いします。

<決定事項/指示事項>

- ・ 6号機サブドレンや建屋内の溜まり水の処理方法の具体的な計画について検討し、サイトへ報告の上、対応すること。(対応:本店復旧班)

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/18(月)の時系列メモ> (情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長) 大きな問題はプロセス建屋の止水、今日中にしっかり終わること。

(1F 発電) 1号機炉注入は 6t/h で変更無し。水位、炉圧とも安定。N<sub>2</sub>封入を 28m<sup>3</sup>/h で継続している。D/W 圧力は昨日から 4kPa 下がって 175kPa abs。

2号機炉注入は 7t/h で継続。炉圧、水位、温度とも変化無し。

3号機炉注入は 7t/h で継続。水位、炉圧、D/W 圧力変化無し。RPV ベロー部の温度は、昨日は 207～271℃であったが、今朝は 200～256℃で低下傾向。監視を継続します。

4号機 SFP への注水は、昨日の 21:22 に予定量の 140t を入れて完了。

3号機 SFP への注水は本日 14時から16時に予定。

1～3号機の炉注入について、順次 5～10分停止して、ホースの取り替えを行う予定。停止後のデータ確認を行っていく。

5,6号機は原子炉と SFP を RHR で制御している。

滞留水の監視を継続している。大きな変化なし。

(1F 復旧) 集中ラドの排水について、建築分の工事は本日終了予定です。

トレンチについては、2号の水位は 7時現在で 820mm、昨日の 11時から 30mm、18時から 20mm の上昇となっている。3号機は 1120mm で昨日の 11時から 10mm 上昇。トレンドに変化無し。タービン建屋地下の水位は変化無し。1号機は立坑、タービン建屋とも変化無し。

5号機はバッテリーの比重確認と・・・(聞き取れず)

6号機の復水器上部のマンホールを開放して水を入れられる準備を行う。

1～3号機の炉注入のホースの取り替えにあわせて、線量的に問題がなければ、2号機の SFP 注水用のホースの取り替えも行う。

(1F 土木) 2号機トレンチでおがくずを入れた箇所にグラウト注入します。

飛散防止剤は、集中ラド南側法面 1900m<sup>2</sup> に散布予定。

3, 4号開閉所のガラ撤去を継続実施します。旧事務本館は本日着手します。

(1F 建築) 集中ラドのコンクリート充填作業を終了しました。本日、地下水流入対策を終了させる予定。

(1F キリン) 昨日は、4号機 SFP に約 140t の注水実施した。

本日は、3号機 SFP にスキマーへの流れ込みを確認するまで注水を行う。これまでの実績からすると 50t と予想される。

(1F ■■■) 昨日のロボットによる 1, 3号機 R/B のデータ採取に続いて、2号機のデータ採取を行う予定。午前中に完了したい。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(排水チーム)2号機立坑からプロセス建屋への移送について、建築の工事が17時完了予定であることから、14時から移送配管のラインナップ、1号機のトレンチの水を使って漏えいチェックを夕方までに行い、本店からのGoサインにより移送できるようにする。

最初の計画としては、2500tをポンプ1台で10日間かけて移送する予定。その後1日かけて水位の変化とダストの確認を行う。その後は2台運転で計3500t移送する。その後にダスト対策を検討する。1万tの貯蔵容量があるので、その後の移送は本店と協議しながら行う。

(本店武黒)ロボットにて2号機のサーベイを行う、人が入れるかどうかについて、どのように検討しているか？

( )線量、温度、湿度、酸素濃度に加えて、ダスト濃度を測る。ダスト濃度は2Fで分析するので遅れが出る。その結果により防護服の判断を行う。本日午前中に1、3号機の分析結果が得られる。明日朝に2号機の分析結果が得られる。

人が入ってどういう事ができるか本店と協議していく。

(本店武黒)関係各所で連携してその後の作業計画について検討を行って下さい。

廃水移送について、基本的にこの計画で問題ないが、ダスト対策も準備をしていく必要がある。

(本店復旧)(ホースの取り替えに際して?)炉注水が一瞬途切れるので、お願いします。

(本店広報)ロボットがR/Bに入ったと言うことで、写真を公表する。データも教えて欲しいとの要望があるので、線量、温度、湿度、酸素濃度をレンジでお知らせする。

(本店武黒)この内容で公表すると言うことで、何かありますか？

(1F )1号機はエレベータ前までいっていますが、3号機はガレキを乗り越えながらなので、半分もいっていないと思われる。

(本店武黒)R/Bの中をすべて見たわけではないので、プレスの内容に注意が必要です。

(本店復旧)マスコミへの提供の仕方について、どこのポイントを取っているか示すよう工夫したい。

(本店建設復旧)2号機の海へ漏水していたところについて、グラウト注入を続けていますが、タービン建屋に近づくに従って坑の線量が高くなる。放管員の監視が必要。保安班の協力をお願いしたい。

(本店武黒)本店保安班と連携を取ること。

(福島事務所)ロボットについて、マスコミからデータ・映像を強く要求されて

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

います。写真の提供もあわせてできるでしょうか？

(本店広報)現場の方と相談して、対応したいと考えます。

(本店復旧)1号機の RPV フラッシングについて、現象について資料を用いて説明。(D/W の電気ペネが水没する。ハッチからの漏えいが発生する。RPV 下部の温度計の水没によりデータが落ちる。逃し安全弁が水没し、RPV 温度の上昇が起きる。JP ノズルに到達し、サブクール水が燃料に入ることによって圧力上昇。TAF に到達。PCV 上部の温度が低下。RPV・PCV 圧力が安定してくる。)

(本店武黒)物理現象はこの通りであるが、時間的な早さ…(聞き取れず)、(水位は?)何でわかるのか？

(本店復旧)電気ペネの水没ではわからないので、その次の RPV 下部の水没でわかると思います。

(武黒)水位がわからないと言うことで水位監視を強化すること。

(1F 所長)N<sub>2</sub> 注入でも PCV にリークがあることがわかった。水位が上昇するとタービン建屋への排水も絡んでくるので、丁寧に検討願います。

(本店保安)本日と明日、20km 圏内の空間線量率のモニタリングを文科省、電力支援チームで実施する予定です。

(細野補佐官)参議院の予算委員会の質疑において、昨日発表したロードマップが議論になる。予算委員会で前向きな発表を行いたい。今後も何かしらトラブルが起こるかもしれませんが、一步一步進んでいることを国民、世界に示すように頑張っていきたい。

(武黒)これからは明確な目標管理が必要になります。

安全第一で確実な作業実施をお願いします。

<決定事項/指示事項>

特になし

～全体会議終了～

～全体会議～

19:04

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長)集中ラドの止水工事は終了しました。2号からの移送配管のリークチェックも終了しました。条件は整いました。建築側の止水工事におきまして、追加の穴埋め工事が発生しました。本来の計画に入れ込むべきであった。追加工事の情報共有が十分行われなかった。工程上の重要な工事において、このようなことがないように、TV 会議を利用して情報を共有する仕組み

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

が必要。

(本店武黒)間違いないようにするために大変重要なことである。重要な工事、原子炉の保安上の重要な事項については、必ずこの場で共有し、決定していくことを徹底したいと思う。復旧班、保安班の全員に周知するようお願いします。

工事が終了したと言うことであるが、NISA からの報告徴収命令を受けているので、NISA に確認してもらうとともに関係各所に連絡も必要です。送水開始の前に発電所との調整を TV 会議終了後に実施したいと思います。

(1F 発電)1号機炉注入は、 $6\text{m}^3/\text{h}$  で注水中。 $\text{N}_2$  封入は、 $28\text{m}^3/\text{h}$  で注入中。パラメータ変化無し。D/W 圧力が低下傾向。

2号機炉注入は  $7\text{m}^3/\text{h}$  で安定している。

3号機  $7\text{m}^3/\text{h}$  注入中。水位、炉圧力、D/W 圧力、S/C 圧力、温度も安定している。

RPV ベローの温度について、 $194^\circ\text{C}$  から  $248^\circ\text{C}$  となり、下がり傾向です。今後とも継続監視していく。

4号機変化無し。

3号機 SFP について、14時から1時間弱で 30t の注水を、水面を見ながら実施した。

明日は4号機 SFP へ、13時から18時に 140t の注水予定。

1～3号機炉注入ホースの取り替えについて、午前中 11:50 から 13:08 に実施した。ポンプ停止時間は1号機が2分、2号機が3分、3号機が1分程度で、パラメータに有意な変化無し。

5, 6号機は原子炉・SFP ともに RHR で制御中。

滞留水、地下水漏れ込みは変わらずで、適宜処理しています。

(1F 復旧)2号機からラドへの移送ラインナップ終了。

トレンチについては、1～3号機立坑の水位は落ち着いており、水位の変化無し。

明日、2号機の SFP へ注水予定です。ホースの取り替えを実施して、ホースの耐圧が  $1.3\text{MPa}$  から  $1.6\text{MPa}$  になり、色を付けて識別しやすくなった。逆洗ピット脇を通した。

4号機 SFP のライナ健全性について。中地下は水がたまっており、増方向。

1F は定検機器が飛び散っている。D/W の中もサンプ内に多少水がたまっている。2F もいろんな機材が倒れている。FPC のライナドレンを抜いたところ、水が2リッター出てきて切れました。フローグラスがあり、10個中2個に1秒に一滴程度で、ライナには問題ないと考えられる。

2F から 3F にいく階段が壊れており、行けない状態となっている。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(本店武黒)大変貴重な情報です。被ばくはどうでしょうか？

(1F)そんなに線量は高くない状態です。

(本店武黒)ライナが大きな不具合がなく、SFP からの漏れもないということによいか？

(1F)昨日入ったときには、2F 天井からの水がほぼ落ちていなかった。以前は、放水からみで溢れていた水が落ちてきたものと考えられる。

(本店武黒)SFP の健全性は概ね確保されていて、ライナはひどい損傷を受けていないと理解します。大変貴重な情報で、SFP の冷却の確保や SFP の補強について進めていけるようになると思います。

(1F 復旧)5, 6号機 M/C、P/C の清掃継続中。

6号機の復水器のマンホールの蓋を開けました。

6号機滞留水が増加しており、明日の10時から14時間まで、120t 程度を復水器に入れたいと思います。

5, 6号機 R/B では溜まり水の増加、6号機ラドの溜まり水を監視している。

(1F 土木)17:40グラウト注入終了。トレンチの開口部からタービン建屋側に17m<sup>3</sup>の注入を行った。

明日は海水配管トレンチ側に行う予定。

飛散防止剤のサンブは14:30終了。集中ラド南側 1200m<sup>2</sup>に実施しました。

ガラ撤去は16:00に終了。旧事務本館を今日から始めて 3/4 号開閉所の撤去を行った。コンテナ4箱、合計で34箱となった。

(1F 建築)プロセス建屋の止水について、充填作業が終了しました。

(1F ■■■)2号機のロボット調査のデータを報告します。内側エアロックを開放したとたん、カメラが曇った。湿度は 100%に近い。エアロックの中で 4.12mSv/h。内側に入ったが、カメラの曇りがひどく帰れない恐れがあるため、数メートル前進してすぐに引き返した。ほとんど進めていないので、これだけで R/B の線量が低いとは言いづらい。酸素濃度は水蒸気分圧が高いため 19%台。ロボットおよび人によるデータ採取は困難。R/B の換気が必要。北側エアロックのデータを取ったところ、南側とほぼ同じ。高湿度ですが、床は乾いている。

(本店武黒)水蒸気がこもっていてその対応を考えないといけないが、そのこと自体が新しい知見。関係者と協議して対応を考えていきたい。

(1F 保安)4号機の線量率は、1F、2F が 0.1mSv/h。CUW 熱交で 0.5mSv/h と低い。

海水サンプリングの結果、2号機シルトフェンスの外側は下がっている。内側から外側への漏えいはないと考えられる。

西門のダストについて、今朝の状態で若干上昇している。風の影響と考えら

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

れる。

(本店武黒)モニタリングについて、「正しく測る」ことについてどう評価すればよいか体系化する必要がある。本店も連携して実施するように。

(1F 所長)明日、原安委の小山田委員が視察されます。

(本店復旧)1号機の格納容器の水位について、水位がどこにあるか確認する指標となるのが、RPV 下部の温度、次に SRV の温度。RPV 下部の温度を確認したところ、格納容器の圧力と飽和状態のためよくわからない。次のポイントは SRV の排気口温度で、水が達した場合に 30℃の温度低下が見られると考えられる。2 日で 1m 位水位が上昇するので、継続的に監視していく。格納容器ベントには 10m 以上余裕がある。

(本店武黒)十分注意深く監視を続けて下さい。

(1F ■■■)現場を回って、ガラが減っている。一方、6号機の M/D 給水ポンプが水ひたひたの状態であり、大至急水を抜く必要がある。復水タンクへの移送を計画している。

ロボットについて、2号機は報告の通り。1, 3号機は昨日の報告の通りで、人間によるモニタリングを検討していく。

(2F 所長)原安委の小山田委員の視察は4月20日午前中に決まりました。対応します。

(本店武黒)今後業務を続けられる方は、業務品質の向上に努めて頂きたい。

<決定事項/指示事項>

- ・重要な工事、原子炉の保安上重要な事項については、必ず本店・サイトとのTV会議にて情報および決定事項を共有することを、班員全員に周知すること。(対応:本店・サイトの復旧班、保安班)
- ・モニタリングについて、正しく測るためにどう評価すればよいか体系化すること。(対応:本店・サイト保安班)

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/19(火)の時系列メモ>

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 吉田)2号機縦坑から集中R/Wのプロセス建屋への移送を10時から実施する。

(1F 発電)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/h で実施している。D/W への N<sub>2</sub> の封入は流量 28m<sup>3</sup>/h で継続実施中である。D/W 圧力の低下傾向が若干小さくなった。昨日夕方から今朝まで0.5KPa 程度低下した。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは全て安定している。

3号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。温度、プラントパラメータは安定している。ペローズ温度は 248℃→240℃に下がっている。

4号機は特になし。

2号機は FPC を介した注水を約60t実施する予定。

4号機はゾウによる10時から140tの放水を実施する予定。

5, 6号機は RHR で制御中である。建屋内の溢水は継続監視中である。M/C6 Cが水位上昇しているため、頻度を上げて排水を実施する。

(1F 復旧班)

集中 R/W の移送について、サイト側の準備は整っている。8mm以上の雨でなければ移送を開始する。2, 3号機のトレンチ水位は若干上昇している。2号機のトレンチ水位は、本日7時の段階で、上面まで800mmとなっており、昨日18時から2cm水位が上昇している。3号機のトレンチ水位は、本日7時の段階で、上面まで1110mmとなっており、昨日18時から1cm上昇している。1号機のトレンチ水位は特に変化なし。

配電に電源関係の工事の協力をしてもらい、順調に進捗している。

(武黒)2号機のOPの値が正確でないことは伺っているが、全体として上昇傾向にあり、2日で5cm上昇している。2号機の T/B の水位が2～3日で5cm上昇している。1号機から2号機への流入も予想されるため、2号機の水を移送する時の水位変化をよく監視して把握し直す必要がある。

(1F 復旧班)1号機のT/Bについては現状OP5050mmである。電気品室に堰があるが、OP5100mmになるとオーバーフローとなるため注意する必要がある。

(武黒)1, 2号 T/B の地下に電気品の貫通部はあるのか？

(1F 復旧班)チェックする。

(1F 復旧班)5, 6号機については、M/C 及び P/C の修理作業を継続実施

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

中。6号機 T/B 地下の滞留水を10:00～14:00迄の4時間かけて復水器へ120t移送する。H/Wと床の水位変化を見ながら移送量を確認する。R/BとR/Wの水の移送は必要に応じて移送を実施する。

(1F土木)2号機の開口部へグラウト注入を予定している。本日で作業完了予定である。投入したゼオライト土のうち、10体のうち、2、3号機のスクリーンポンプ脇に投入したものをそれぞれ1体づつ(合計2体)取り出し、線量を測定する。ガラ撤去は継続で実施する。飛散防止剤の散布は本日作業予定無し。

(1F建築)プロセス建屋の止水工事を昨日19時完了した。

(1F放水)SFP への放水については、天気予報では午後から強い風と雷が発生すると言っている。そのため、本日昼前の時点で作業を終了する。注水量が足りない分は明日放水する。

(1F排水)2号機の縦坑から集中R/Wプロセス建屋への移送について、降雨量が現在 0mmなので、10時から実施する予定である。2号機の縦坑Bの滞留水について、A ポンプにより流量12t/h で移送を開始する予定である。当該ポンプは圧力計及び流量計が付属していないため、移送開始20分後にプロセス建屋から移送配管の線量を測定し、移送が出来ているか確認する。第一ステップとして、10日間で2500tを移送する予定。

(武黒)本日の重要事項である水の移送について、各班連絡関係の状況を報告してください。

(本店広報班)9:15に海江田大臣の発言を受けて、集中R/Wの移送について9:30にプレスする。

(官庁連絡班)関係箇所への連絡は完了している。

(本店立地班)今朝から連絡済である。

(武黒)以上より、現地の最終判断は発電所をお願いする。

(本店復旧班)1F から連絡する。本日、原子炉建屋に入城する検討をしていたが、作業区域が重複すること、中性子を計測する必要があること、雨が降る可能性があることから、仕切り直し、今日は中止する。

(広報班)(資料で説明)1号機のロボット作業風景。

(本店情報班)5、6号機サービス建屋の休憩所開設について、今日は難しいこととなった。理由は、PP 扉を活用する予定だったが、代替ルートの確認が必要になった。また、ダスト濃度を確認した上で、局所排風機をしばらく動作させる必要があるため、出来れば明日から開設したいと考えている。

(1F)小山田原安委が来所されるため、対応する。

(Jドレージ)4号機のSFPへの放水は、資料では午後からとなっているが、10時からで良いか？

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F) 天気予報を見て時刻を変更した。10:00～11:30で放水する予定である。

(■■■部長) (資料で説明) 4号機SFPの水分析の件を報告する。4号機のSFP水位が考えていたよりも低かったとのことで、ケーブルに熱電対を付けて今週の金曜日にSFPへ入れたいと考えている。SFPに入れたままにしておいて、水位の確認をする。水位の確認が出来てから回収する予定。なお、リアルタイムに確認ができる。

(本店遮蔽プロジェクトチーム) 昨日20時に統合本部の体制変更について、官邸及び経済産業省でプレスを実施した。

(武黒) 重要工事としては集中R/Wへの水移送であるので、異常があった場合は本部で対応する。また、電源や炉注水、保安に関わる重要な変化があった場合も本部で対応することを徹底する。安全第一、報連相、相互連携をしっかりとすること。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:04

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 吉田) 特記事項としては、2号機の縦坑から高線量の滞留水を集中R/Wのプロセス建屋に移送を行っている点である。今のところ順調に移送出来ている。また、本日6号機の滞留水を復水器へ移送を実施した。

(1F 発電)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/h で実施している。D/W への N<sub>2</sub> の封入は流量 28m<sup>3</sup>/h で継続実施中である。プラントパラメータは安定している。なお、PCV 圧力は本日朝から 3KPa 程度低下した。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは全て安定している。

3号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。ベローズ温度は下がっている。

4号機は特になし。

2号機は SFP への注水を16:08から17:28迄約47t実施した。

4号機はSFPへの放水をゾウにより10:17から11:35迄約40t実施した。明日は、夕方ゾウで放水を約100t実施する予定である。

5、6号機は RHR で制御中である。雨の影響を監視しているが、顕著な水位変動はない。

(1F 復旧班) 17:00の時点で、集中R/Wプロセス建屋のランドリーエリア床面

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

からの高さが4.4cmとなっている。そのため、確実に水が移送出来ていると考えられる。2号機のT/Bとトレンチの床面レベルは変わっていない。

3号機は、本日朝の水位と比べ、1cm上昇している。1号機は、T/Bとトレンチの水位変化はなし。1, 2号機の流れ込みの可能性については、R/Wを通して流れ込んだ可能性があるが、R/Wエリアの線量が高いため、明日以降、サーベイを実施し確認する。

2号機のSFPへの注水については、スキマサージタンクの水位が変動したため確実に注水出来ていると考えられる。

また、1, 2及び3, 4号機の電源連携工事が完了した。これにより、どちらかの電源供給が落ちても代替が可能となる。配電の方に感謝したい。

(1F 復旧班) 6号機T/B地下の滞留水を11:00~15:00にて試験的に復水器へ移送した。移送した水の量は、100t~120t程度である。それにより復水器の水位が32cm程度上昇している。一方、T/Bの滞留水水位は4cm低下した。6号機のR/Wの水位は4~12mm程度低下傾向を示している。今後、調査をしていきたいと思う。

5号機R/Bの滞留水について、CS室の水をトラス室へ移送している。6号機R/Bの滞留水については監視している。

(武黒) 6号機の滞留水の移送において、復水器を使うとのことだが、注意すべき点は無いか？

(1F 復旧班) まず、滞留水の放射線量は高くない。また、復水器の水位は変わっていなかったことから健全であることを確認した上で、チューブに達していない水位迄移送したことから、問題ないと思う。

(武黒) サブドレンの水について処置をして流入を無くすことが重要である。至急対応をお願いしたい。

(本店) 5, 6号機の水処理について、今月中に建屋の北側に2000tの水だめを設置する予定である。その水だめへサブドレン及び建屋の水を移送する予定である。1~4号機に比べ、水の清浄度が高いことから、考慮して対処していきたい。

(1F) 滞留水の量の把握や対応の仕方について、サイト側でも検討していきたい。

(1F 土木) 2号機の取水電源ピットへグラウト注入を実施した。7m<sup>3</sup> 埋め、15:30閉塞を完了した。

投入したゼオライト土のうについて、2, 3号機スクリーンポンプ室脇の合計2体の線量測定を実施した。測定した結果、0.5~0.7mSv/h とのことで線量の上昇は確認されなかった。ガラ撤去については38箱のガラを処理している。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F保安班)シルトフェンス内のバースクリーン前の分析結果について、2号機は低下傾向にある。

(1F注水)4号機SFPへの放水を約40t実施した。明日、17時から3時間程度、約100t放水する予定。また、1~4号機の給水ホースについて、重要なものを識別するため、カラーホースへ取替を実施する予定。

(1F排水)2号機の滞留水の移送については、パトロールを実施して異常のないことを確認している。

(武黒)今後しばらく続くので、監視をしっかりお願いしたい。

(武黒)1号機の格納容器のフラッディングについて、目に見える状況変化はないようだが、今後どのように監視をしていくか、水位がどこにあるか関心を持っている。

(本店復旧班)4月14日に水位確認し、現在5日間経過したが、評価ベースで言うと、 $6\text{m}^3/\text{h}$ で原子炉へ注水していて、格納容器に漏れが無いとすれば( $1\text{m}^3/\text{h}$ で漏れがあったとしても)、圧力容器の下部まで水位が上昇していると予想される。しかし、兆候が見られない。そのため、今後、この状況が続くとすると水位が良く分からなくなってしまう。また、格納容器からの漏えいが大きいのと心配が出てくる。そのため、別の方法で水位を確認する方法について検討をしている。数日で答えを出してサイトと調整したい。例えば、 $\text{N}_2$ の供給を止めて、圧力の変化で自由空間の体積を測れないか等を検討していきたい。

(本店復旧班)本日から、通信班の協力のもと、プラントパラメータについてイントラで確認できるようになった。

(1F吉田)ロシア製の線量が目で見える装置の紹介があったが、導入状況は？

(■■■■GM)ガンマ線カメラであるが、明日、JAEAでデモを実施して、今週金曜日にサイトへ持ち込む予定。

(1F吉田)宜しくお願いしたい。

(内閣細野)ロシア製ではなく、米国製(DOE)である。

(1F吉田)了解した。是非お願いしたい。

(本店通信復旧班)無線データ通信ネットワークの構築を考えている。それには、信頼度の高いWimaxの回線設置を行う予定である。4/26にアンテナを設置する予定。

(本店保安班)5日前に周知した、小名浜CCでの除染及びサーベイ、また広野での車の除染について、明日から廃止となる。全てJビレッジに一本化される。

(本店建設復旧班)2号機のピット漏えい対策として、上流側から水ガラスを

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

注入してきたが、全て埋め終わった。線量が240mSv/h あったが、25m<sup>3</sup>入れたら1.3mSv/h となった。他号機も含めて、2号機の縦坑をコンクリートで埋められないか考えているが、線量が高いため、どのように安全に作業をしていくか詰めていく。

(武黒) 大変大きな前進であると思う。非常に難しい工事であるが、是非お願いしたい。そうすることで、海との縁が切れると考えている。T/Bの滞留水の処理については、世界の新技术を活用して迅速に出来るよう、システム化していくことを検討している。それについては、明日、■■■■部長がサイトに訪れ説明を実施するので、是非宜しくお願いしたい。

(1F吉田) サイトにはまだ情報がきていないが。

(武黒) 先ほど ■■■■ 部長に指示したばかりである。

(1F吉田) その件については、■■■■ ユニット所長が受ける。

(2F) 小山田原安委の2Fの視察が中止になった。

(武黒) 安全第一で確実な作業をお願いしたい。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/20(水)の時系列メモ> (情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F吉田所長)集中R/Wへの移送は、雨があったが、現在中断せずに継続で実施中である。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を $6\text{m}^3/\text{h}$ で実施している。D/W への  $\text{N}_2$  の封入は流量  $28\text{m}^3/\text{h}$  で継続実施中である。D/W 圧力は  $0.165\text{MPa}$  であり、若干低下している。

2号機は、原子炉への注水を $7\text{m}^3/\text{h}$ で実施している。プラントパラメータは全て安定している。

3号機は、原子炉への注水を $7\text{m}^3/\text{h}$ で実施している。プラントパラメータは安定している。ベローズ温度は $4/17$ 以降、下降している。

5, 6号機は RHR で制御中である。仮設のRHRSポンプを設置するため、ガラ撤去及びストレーナ点検を本日実施する。ストレーナ点検により4.5時間停止することとなるが、SFPの温度は $40^\circ\text{C}$ に到達するかしないか程度である。温度について、監視を実施する。FPCのライナードレンの警報が4/14発生していたが、再度警報が発生した。結露が多い等原因が考えられるが、継続で監視をしていく。

(1F 復旧班)

集中 R/W への移送については順調である。本日、朝7時の時点で、集中R/Wプロセス建屋のランドリーエリア水位は、移送前に比べ  $17\text{cm}$  上昇した。

T/B及び縦坑の水位について報告する。2号機は、縦坑レベルが水面まで  $810\text{mm}$  となり、昨日11時と比べ  $1\text{cm}$  水位が低下した。T/Bの水位は変化していない。3号機は、縦坑レベルが水面まで  $1080\text{mm}$  となり、昨日11時と比べ  $3\text{cm}$  水位が上昇した。1号機は、2号機への回り込みが無いかサーベイをしながら確認を実施する。また1, 2号機R/Wへの回り込みが無いのか、合わせてR/Wの水位を確認する。

SFPの放水について報告する。本日、4号機のSFPへ水を約 $100\text{t}$ 放水を実施する。

また、本日から夜ノ森線について、 $6\text{kV}$  から  $6.9\text{kV}$  に上げる工事を実施する。工務部門の協力を得て、本日50人、また最大で80人の作業員にて工事を実施する。

(1F復旧班)5, 6号機のM/C及びP/Cの点検については、継続で実施している。また、(号機は不明)ADS隔離弁に対してギャク取付けを実施する。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

6号機では、仮設RHRSポンプの設置及びストレーナの点検を実施する。5、6号機のR/B溜まり水の確認は継続で実施する。また、6号機のサブドレン水をバケツでサンプリングし、低汚染水に対してゼオライトの効果を確認する。ゼオライトについては、バケツの中に1週間程度放置して、セシウムが減るか確認を実施する。

(1F土木班) ガラ撤去及び飛散防止剤散布について継続で実施する。

(1F放水班) 4号機のSFPへの放水に用いる、(ゾウに取り付けられている)カメラの端子が緩んでいたことが確認された。そのため、午後部品が届くことから放水前に取付けを実施する。また、本日10時から給水用のホースをカラーホースに変更する。

(1F水移送班) 11時から1日1回の定例パトロールを実施する。なお、現場線量や水位についてTVカメラで監視している。昨日18時に採取したデータであるが、集中R/Wへの移送配管の表面線量はプロセス建屋入口で最大160mSv/hである。また、プロセス建屋入口の雰囲気線量は6.1mSv/hである。移送配管の表面線量は80mSv/h前後であった。また、雰囲気線量は2.6~6mSv/hであった。

(1F吉田) 線量が高いため、過剰被爆をしないように立入規制等実施すること。

(武黒) 集中R/Wの水位や線量の関係は、重要な事項であるため、注意深く監視をお願いしたい。

(本店保安班) (資料で説明) 2Fのダスト核種分析結果について説明する。グラフの通り、至近で粒子状のヨウ素が飛び出ているデータがある。他の核種は変動しておらず、粒子状のヨウ素だけ上昇しているため注目している。昨日の雨の影響かと考えたが、4月7日に確認された粒子状のヨウ素が上昇した際は晴れであった。良く確認をしていきたい。午前及び午後で2回採取したが、どちらも同じ動きをしている。

(武黒) 原因を確かめるように。

(本店保安班) 核種分析の結果について、データの誤りから嚴重注意を受け、過去のデータの見直しを実施してきたが、3月30日迄に採取したT/B、トレンチ、サブドレン、集中R/Wの滞留水のデータ確認が完了した。そのため修正プレスを実施したいと考えている。現在、未だ残っているのが、ダストデータと海水データであり、両者とも今月末目標で修正版を出したいと考えている。

(本店復旧班) 今後、津波が発生する場合の対策や規模について算出したので、説明する。

(本店復旧班) (資料で説明) 今後発生する可能性のある、大きな余震

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

について専門家の意見を聞いて想定した。M8. 6の昭和三陸津波が福島沖で発生したと想定して計算した。3月11日に発生した津波程ではないが、3, 4号機の一部で浸水する可能性がある。浸水については、平均1m程度と予想されるが、事前に対策を実施し防ぐ必要がある。対策としては、大型の土のうを積んで対策を実施する。海水配管とトレンチへの水の浸入を防ぐため、蓋を設置する対策を実施する。また念のため、電源、炉注水、N<sub>2</sub>封入等について対策実施済ではあるが、高所へ移動する、バックアップを用意するなど万全な対策をとりたい。

(1F吉田) 土のうで津波を防げるか？

(本店復旧班) 静水圧の3倍力が掛かると想定し、土のうの摩擦力や自重を計算すると…。(話さえぎられる)

(1F吉田) 現場を見てもらえれば分かるが、津波により異常な圧力が掛かっていると考えられる。静水圧の3倍ではなくて、10倍とか掛かっているのではないか？今までの常識を考え直さないといけない。

(本店復旧班) もう一度検討したいが、多くの実験では静水圧の3倍以上になることはなかった。

(1F吉田) 土木の方と話をしたが、静水圧の3倍を裕に超えていると考えられる。

(武黒) 現場に行ってよく見て、追加的にどういうことが出来るか考えること。

(1F保安担当) 津波関連であるが、メガフロートを1F港湾内に設置するとあるが、想定津波においてメガフロートの影響はどうか？

(部長) 1Fの(〇〇)が3.5mで溪流を考えている。津波の影響は現在考えていない。土木と相談していきたい。

(2F) 津波の想定に関しては、2Fの解析結果を説明してもらえれば助かる。

(本店復旧班) 承知した。

(1F) 防波堤が現在損傷していて、津波が来たらもたない。1～4号機だけで対策が完了したと思わないこと。

(本店復旧班) KKも同様に対策が必要と考えているので、1～4号機以外も対策は必要と考えている。

(武黒) 安全第一で着実な取組みをお願いしたい。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

～全体会議～

19:03

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F吉田所長)2点報告する。

1点目は、高線量の廃液を移送するにあたり、ダストがどの位上昇するか気になっていた。2号機T/Bのダストを計測したら、かなり高いレベルのダストが測定された。1, 2号機のユニットR/Wの水の表面線量が200mSv/hでダストもかなり高い結果となっている。そのため、高線量エリアのダスト対策を考えていかないと、内部取込などの大きな問題になるため、重点的に検討していきたい。

2点目は、本日[ ]部長がサイトに説明に来て頂き、また現場も見て頂いた。アレバの排水処理システムは実施しないといけないプロジェクトである。しかし、排水処理については、発電所の仕事というよりも、再処理の仕事であるので、ノウハウが発電所には無い。従って、原燃やJAEAやメーカー、アレバ、キュリオン等の技術者が現場状況を見た上での施工が必要であると考え。そのため、その体制整備をお願いしたい。

(武黒)ダストの問題は、これから色々な場面で深刻になると思われるので、本店復旧班は仮設の局所排風器等の手配や導入について詰めていくこと。

(本店復旧班)ダストの件は、以前から吉田所長が言われていたことなので、新日空と相談をしていた。資材班や保安班と調整をしている。

(武黒)時間的に急ぐため、優先順位を考えて対応すること。

(武黒)アレバやキュリオン側の体制整備を進めているが、現場施工も踏まえて体制整備を早急に進めていかないといけない。発電所と調整してやっていきたい。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/hで実施している。D/WへのN<sub>2</sub>の封入は流量28m<sup>3</sup>/hで継続実施中である。D/W圧力は0.160MPaabsであり、若干低下している。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/hで実施している。プラントパラメータは全て安定している。

3号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/hで実施している。プラントパラメータは安定している。ベローズ温度は4月17日から低下傾向であり、現在220℃まで低下している。

4号機は、SFPへ17:08に放水を実施している。

5, 6号機は今までと変わらない。

(武黒)1号機は格納容器の水位が序々に上昇しており、水位に関する情報の集約と今後の対策を検討している。水位が相当程度(水位がある程度高けれ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ばという主旨だと思われる)で、漏えい量が極僅かである場合は、炉注入を増やしていくことを検討していくこととする。これについては、十分評価する必要があり、現在、検討段階である。

(1F復旧班)それについては、毎日17時から情報交換を実施している。

(1F復旧班)

集中R/Wへの移送については順調である。集中R/Wプロセス建屋のランドリーエリア水位は、移送前に比べ21.2cm上昇した。

T/B及び縦坑の水位について報告する。2号機は、縦坑レベルが17時現在で、2.3cm低下しており、OP3177mmである。1号機は、縦坑レベルが1cm低下しているが、独立しているので問題無いと考える。1、3号機T/Bについては、水位変化は無い。1、2号機のユニットR/Wの水位調査を行った。1号機のユニットR/Wについては、OP3150mmのところの水があった。2号機のユニットR/Wについては、OP3125mmのところの水があった。2号機はどこかに流れている音を確認している。なお、2号機のT/B地下の水位がOP3100mmであることから、多少の誤差はあるが、1、2号ユニットR/Wと2号のT/Bは繋がっている可能性が高いと考えられる。

ダストの件については、2号機T/Bで計測されたダストの放射線濃度は、ヨウ素131が $1.247 \times 10^0$ 、セシウムは $10^{-3}$ であり、非常に高い濃度であった。1、2号機のユニットR/Wの水面の表面線量が200mSv/hと非常に高い数値を示している。ダストの濃度は未だ計測していないが、作業員が装備していたフィルターから見て、ダスト濃度が非常に高いと考えられる。今後、詳細に調査進めていくとともに、対策について検討していきたい。

(武黒)集中R/W線量変化はあったか?

(1F)集中R/Wについても、局所排風機を設置し、ダストを含めた状況を把握する予定である。フィルターの線量率を測定しているので、検討していきたいと考えている。

(本店保安班)今のダスト濃度は高過ぎるため、マスクの性能を考えた作業時間を考えていきたい。

(1F)宜しくお願ひしたい。

(1F復旧班)津波や地震が来た場合の信頼度確保として、消防ポンプのヘッダーに負荷して、常時運転することにより、多少電動ポンプより低い圧力で保つ方向で改造を実施している。ヘッダーに逆止弁を設置し、明日試運用をする予定である。

(1F復旧班)5、6号機のM/C及びP/Cの点検については、継続で実施している。6号機では、仮設RHRSポンプの設置及びストレーナの点検を実施した。T/Rも良好である。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F土木班) 3, 4号機開閉所のガラ撤去は無人重機で行い、本日完了した。明日以降、3, 4号機原子炉建屋周辺のガラ撤去の準備作業を開始する。また、飛散防止剤散布についても本日実施し、明日も継続で実施する。

(1F保安班) (資料で説明)

～通信トラブルにより停止～

(武黒) 一旦ブレークする。先程、シルトフェンスを2号機のバースクリーン前に設置しているが、放射能データを見て、雨の影響やゼオライトの影響により、一部データに変動があるので、本店保安班と相談し検討していきたい、とのことであった。

(本店保安班) 昨日サンプリングをした後、ゼオライトを一旦引き上げて、また戻している作業を実施している。内容を確認し、監視を継続していくとのことであった。

19:28

～通信トラブル復旧～

(1F吉田) 2号機のシルトフェンス内の線量が上がっているため、関係グループと調整していきたい。

(OFC) 明日、OFC医療班が被爆負傷者の搬送訓練を実施する。想定としては11時頃から開始する。

(Jビレッジ) 了解した。

(Jビレッジ) 明日のプールの放水の予定は？

(1F) 4号機について17:00～140t放水予定である。

(福島県事務所) 県内の国見町の学校から、従業員の皆様へと寄せ書きを頂いた。後ほど発電所に届けたい。

(武黒) 御礼を申し上げるようお願いする。

(Jビレッジ自衛隊) 搬送訓練の件で補足する。実際に人を1FからJビレッジ経由で県立医大まで運ぶ。合計20～25名運べるヘリを準備している。注意事項として、訓練緊急空輸という言葉を使って、実際の負傷者対応との混乱を起こさないようにする。万一の場合は、訓練ではない、またはリアルである旨伝えて欲しい。

(1F吉田) 了解した。

(武黒) 安全第一で確実な業務を実施すること。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/21(木)の時系列メモ>(情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:13

プラント状況、作業進捗、作業予定

本日は開始時間が遅れたので、ポイントのみ簡潔に共有のこと。また、通信班は、今後は、会議前に通信状況の確認を事前に実施のこと。

(1F 吉田)2号機から集中ラドへの移送は順調に実施中。いくつか上昇傾向あり。3号機温度がいくつか上昇傾向、1号機D/W圧力が低下傾向。これからも継続して監視を強化する。

ガレキを撤去の際に、900mSv/h のものを確認した。

(武黒)プラントパラメータについては本店でも観察しているところ。高線量のガラについては新しい状況なので、今後共有したい。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水はD/W圧力が0.160Mpaabs 若干低下中。

2号機は、原子炉への注水は特になし。安定している。

3号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h→6m<sup>3</sup>/h 強(4/20 22:00に)低下していることを確認した。現在、低下傾向ではなく、パラメータは安定はしている。崩壊熱からは必要な注水量は4.7m<sup>3</sup>/h であるので、もう少し監視を継続したい。本日AM中に、ホースの圧損が無いかどうか確認する予定。

(武黒)いつから流量が落ちているのか?

(1F 復旧班)4/18, 12時に、ホース交換作業の完了後に確認しているので、その後から昨日22時までのいずれかの間と考えている。

5, 6号機はトピックスは特になし。

(1F 復旧班)

集中 R/W への移送については順調。移送開始から、3cm位下がっている。他で気になる点として、4号機の Tb/B の地下の水位が9cm上がってきている。高線量の漏れ込みはないかの観点で、本日線量測定予定。

(武黒)本店でも全体の水バランスの観点から、意識を傾注している。[REDACTED] 部長、対応方。([REDACTED]) 了解。

(1F 土木班)ガラ撤去は本日夕方まで継続して撤去を実施する。

(1F放水班)4号機 17時 140t 予定。昨日の4号機への注水の際に、カメラの不具合を確認したので、監視カメラの点検を行う(現在写らない状況)

(本店保安班)電力支援チームで測定している資料について説明。色抜きは検出限界以下。今後も共有して行きたい。(本データは20～30km地点のモニターによるサーベイの結果)

(Jビレッジ)本日のTホーク 10:00～13:00のうちの50分弱の予定。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(武黒)原子炉の保安に関する事項で、汚染水の移送以外で何か他の重要作業予定はあるか？

(1F吉田)特にない。

(武黒)安全第一、確実な作業実施をお願いします。

<決定事項/指示事項>

本店でも全体の水バランスの観点から確認、検討のこと。( 部長)

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F )プラント関連では、3号機の炉注水量が $7\text{m}^3/\text{h}$  から若干下がっていた件、3日前に行っていたホースの取替による圧損の変化が疑われる。また、集中ラドの移送は順調。港湾内のシルトスクリーンの前後で測定を行っている件は、昨日測定した傾向では若干上昇傾向であったが、本日の傾向では、シルトスクリーンの内側は下がってきている。一方、外側については、若干上昇傾向であった。ガレキの撤去で、本日 $900\text{mSv}/\text{h}$ の高線量ガレキを撤去している。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水は $6\text{m}^3/\text{h}$  していたところ、約 $5.5\sim 5.6\text{m}^3/\text{h}$  に入流量が下がっていることを確認した。現在は $6\text{m}^3/\text{h}$  にて注入中。D/W圧力が $0.160\text{MPaabs}$  若干低下中。N2は $28\text{m}^3/\text{h}$  で継続して注入中。

2号機は、原子炉への注水 $7\text{m}^3/\text{h}$  は特になし。安定している。

3号機は、原子炉への注水は $7\text{m}^3/\text{h}\rightarrow 6.5\text{m}^3/\text{h}$  に下がっていた。現在は原子炉への注入量は $6.5\sim 6.8\text{m}^3/\text{h}$  でハンチングしている。

4/18日のホース交換により、圧損の変化があったものと考えている。今後は3時間毎に吐出圧のデータの採取・確認を行って行きたい。

原子炉の温度で2点高いところがあったが、いずれも現在は $200$ 度以下となっている。なお、スタットボルトが $140^\circ\text{C}$ 近辺で若干上がり傾向である( $0.5^\circ\text{C}/\text{h}$  程度)

5, 6号機はNo. 3純水タンク底部より漏れが見つかった。点検修理を今後検討して行きたい。

(非管理メモ)

本資料は、本部門卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F 復旧班)

集中 R/W への移送については順調。移送開始から、初期値から 329mm (33cm くらい) 上昇している。2号立坑は水面から 840mm 4cm 位の下降。1号機については変化無し。3号機については立坑が 1cm 上昇しているが傾向は変化なし。

4号機の Tb/B 地下水位について、若干上昇中。現在 2F にサンプル試料を送付して測定中。表面で 4.5mSv/h なので、地下水の流入が考えられる。炉注水用のヘッダーに消防ポンプを接続して、若干圧力が低い状態で注水している。

(武黒) 建屋の水位の変化について、2号機は、立て坑は下がっているが、Tb/B は下がっていない。全体的に低下傾向にないので、注意して確認して欲しい。4号機の上昇について、一概に地下水と言い切れるのかは判らないため精査したいので明日報告して欲しい。

6号機 MCC および P/C 点検継続中。CRD のペネの開放、湿度対策のため。水位の監視は継続監視しているが、Rw/B の地下で、15~20mm の上昇が見られる。

(1F 土木班) 飛散防止剤散布とガラ撤去は明日も継続して撤去を実施する。14:50 に高線量のガラを撤去した。

(建築) プロセス建屋のコンクリ打設を明日実施予定。

(1F 放水班) 本日 4号機 17:14 ~ 放水実施中 (140t を予定)。昨日 4号機の注水の際に確認した、カメラの不具合は復旧した。位置調整に不具合があるので、今後点検を行う。

明日は 3号 14 時 ~ 50t もしくは、水位の流れ込みがカメラで確認できるまで注水を行う。

(本部情報班) 56号機の休憩所について、開設できたため、協力企業にご周知頂きたい。(1F 総務班) 水の搬入は午前中なので、午後くらいの開設として欲しい。

(福島事務所) 福島労働局から、放管手帳に線量を記載するよう、口答指示を受けている。また、熱中症の対応の口頭指示を受けている。

(本店保安班) 企業には明日説明するが、放管手帳について、1F 退域者も含めて全員に交付することで対応する。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(武黒)肝心な線量は記載されるのか？

(本店保安班)計画的に内部被ばくや外部被ばくを含めて、すべての結果を確実に記載していきたい。Jビレッジでの測定結果やAPDの結果、ホールボディの結果などを最終的にとりまとめて記載することで対応したい。

(武黒)システム化については？

(本店保安班)システム復旧に関しては、もう少しお時間頂きたい。

(武黒)放射線管理に関する全体の復旧への必要期間等、工程、ロードマップを示すこと。

(Jビレッジ)22日0:00から運用を開始する警戒区域の設定後の運用について、なにか情報はないか？(通行証等について)

(本店総務班)現在NISAと調整中だが、NISAの通行証が本日0時迄には間に合わないとのことで、暫定的に、当社が発行した通行証で通行できるように調整している。正式な運用が決まれば周知したい。

(自衛隊)本日、緊急移送訓練を実施。1Fから県立医大まで約2時間で搬送しているが、もう少し短縮できると思う。目安として2時間を見て欲しい。また、自衛隊としてはJビレッジ以外への着陸点の検討もしており、また、自衛隊側として、事前にヘリを準備しておく等、複数のプランを検討している。これらを弾力的に運用することで、より短縮が可能と考えるので、サイトとも連絡を密に行いたい。(1F■■■■)了解。

<決定事項/指示事項>

- ・放射線管理に関する全体の復旧への必要期間等、工程、ロードマップを示す(本店保安班)

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/22(金)の時系列メモ>(情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

昨日地震あり。特段プラントのデータには異常なし。

(1F発電班)

1号機は、原子炉への注水は $6\text{m}^3/\text{h}$ にて注入中。D/W圧力が $0.160\text{MPaabs}$ 。ここ2～3日変化なし。N2は $28\text{m}^3/\text{h}$ で継続して注入中。RPV圧力が $0.43\text{MPa}$ 。

2号機は、原子炉への注水 $7\text{m}^3/\text{h}$ で注水していたが、今朝方確認したところ、 $7.2\text{m}^3/\text{h}$ であった。昼間に再調整したい。本日SFP注水あり。16時～1時間程度、FPCラインによる注水を予定している。

3号機は、原子炉への注水は $6.8\text{m}^3/\text{h}$ で注入中。一部温度の高かったペローシール部について、 $190^\circ\text{C}\rightarrow 140^\circ\text{C}$ に急に落ちた。計器の健全性も含めて継続監視を行う。

5, 6号機は冷温停止中で変化なし。

(1F復旧班)

集中 R/W への移送については順調。移送開始から、初期値から $390\text{mm}$ 上昇している。地震の影響はなし。2号立坑は水面から $10\text{mm}$ の下降しているが、その他については変化無し。

5, 6号機については、地下階の溜まり水の確認、M/C P/Cの点検清掃、5A, 5BD/Gのメガー確認を実施する。(その他は聞き取れず)

(土木)ガラ撤去は3号機周りで実施する。飛散防止剤は本日雨のため、中止。

(保安班)3号機Tb/B地下および3, 4号間の電気品室の水のサンプリングを実施する。

(SFP注水)3号機のSFP注水については、カメラにてSFP満水を確認できるまで、注水を行う予定。

4号機のSFPについては、燃料上部2～3mの水位であるが、もう少し上げたいと考えている。水位監視は熱電対を使った水位計で行いたい。本日取り付けて、水位計測、水温、線量計測まで行いたい。

(本店復旧班)朝日新聞夕刊、湯ノ岳断層が動いたとの報道の件。

(■■■)動かぬと思った断層(湯ノ岳断層)が動いた、という内容。4月11日は当社ではイドサワ断層だと考えているが、報道では湯ノ岳断層が動いていると言っている。当社の新指針に基づくBCにおいては、湯ノ岳断層の詳細な調査を行っていて、距離 $13\text{km}$ 、活動期が13万年前の断層であった。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

よって評価から除外している断層。ただし京都大学と土木研究所の現地確認では、湯ノ岳断層が長さ10kmにかけて、動いたとの調査があるとのこと。湯ノ岳自体が動いたのか、イドサワの動きに付随して湯ノ岳が動いたのか、調査が必要だが、当社としてはイドサワ断層の動きに付随して、湯ノ岳断層が動いたと考えている。1F、2Fの今回の加速度は、50～60ガル程度であり十分に小さい。また、湯ノ岳断層から見積もれる揺れは、たとえば2Fの場合でも、イドサワ断層と湯ノ岳断層の規模は同程度であり、活断層の影響は双葉断層がメインとなるのに対して十分に小さい。引き続き議論について注視するが、このような休止断層が動いたという評価は今後の一つのポイントとなる。

(総務班)警戒区域設定および立入について。(資料参考)22日は、時間に余裕があれば、当社が発行した通行証で通行する。時間に余裕がない場合は、いままで通り、口頭で伝えて、身分証の提示にて入域する。明日以降の運用については、関係省庁と調整している。なお、当社関係の通行者が多いと想定される4ポイントについては、2F、Jビレッジ、小名浜CCの要員等を派遣して、当社との関係車両であることの確認を行う。

(武黒)関係者への周知が重要と考えられるので、しっかり対応するように。

<決定事項/指示事項>

(特になし)

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F吉田)まずはうれしい話から。3号機のSFPの注水、下から(FPCラインから)注水したところ、20分程度で水位が上昇してきたことを確認。

線量が上昇してきている場所がある。2号機から集中ラドプロセス建屋に移送している配管の表面線量が当初160mSv/hであったが350mSv/hまで上昇している。3号機Tb/B 地下二階 滞留水表面で750mSvとなった。サンプリングして確認する。これまで2号機が一番線量が高かったが、どうも3号機も線量が高くなってきているので要注意。どこから水が来ているか、注視する必要がある。

(武黒)1つめは良い情報だと思う。いずれは原子炉建屋に入って作業を行うこととなると思うので、線量の件でどう克服していくかが課題。線量が上昇してきている件も、同様に厳しいと思う。3号機は水位も上昇してきているので、サンプリングの結果も確認するが、全体の水バランスも含めた検討をしていかななくてはならないと思っている。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F 発電班)

1号機の原子炉への注水は $6\text{m}^3/\text{h}$ で継続中。N2は $28\text{m}^3/\text{h}$ で継続して注入中。パラメータは安定している。

2号機の原子炉への注水は、今朝方、 $7.2\text{m}^3/\text{h}$ だったので、 $7.0\text{m}^3/\text{h}$  11:00に調整している。パラメータは安定している。

3号機の原子炉への注水は  $6.8\text{m}^3/\text{h}$  で継続中。若干流量が振れているが全体のパラメータは安定している。S/P圧力が若干、緩やかに上がっているが、総じて安定している。

5, 6号機は継続冷却中。6号機のTb/BとRW/Bの水位が、 $3\text{cm}/\text{日}$ で上昇している。

(1F 復旧班)

2号機立坑から集中 R/W への移送は順調。RW/Bの水位は、移送開始から、 $442\text{mm}$ 上昇している。2号機立坑は、 $20\text{mm}$ の低下 3号機は $20\text{mm}$ の上昇。全体として、Tb/Bとトレンチの水位に傾向の変化はなし。

56号機 最地下階の水位の監視を継続中。M/C P/C点検継続中。サブドレン浄化試験継続中。ガラ撤去も継続中。

(SFP放水)3号機 SFP内部からの注水のあとに、外部から50t スキマーのへり位置まで注入を確認しているので、ほぼ満水に近い。4号機の水位を確認した際に、速報値として燃料上部から $2\text{m}$ を切っているとのことであったので、本日200tの予定で注水を継続している。プール水温は $91^\circ\text{C}$ 。前回と変わりなし。線量は評価中。

(武黒)蒸発量との兼ね合いと、熱電対での水位計測により良く確認して頂いて、水位低下に至らぬように工夫して対応して欲しい。

(1F復旧班)本日までは余剰水を懸念して水位に留意して注水していたが、水位を計測できるようになるということで、今後は毎日 $140\sim 170\text{t}$ の注水を継続して、注水前後で水位を確認していきたい。

(武黒)本店の復旧班の安全評価班も含めデータを評価して検討対応のこと。

(土木)1号機と3号機の西側を実施して、本日3箱処理している。合計で43箱となった。一昨日の高線量ガラについては、仮置きヤードに置いている。

(1F吉田)そこで被ばくがないように。

(武黒)線量マップ上の元々あった3号機などに高線量の箇所があったがどうなっている？

(1F吉田)その状況は変わっていない。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(建築)集中ラドの追加コンクリ打設を行っている。3, 4号中操をPタイルにする、免震重要棟前に遮蔽水槽を設置する。

(1F吉田)原子力委員会青山スギハル先生が視察に来られて、こちらの対応、受け答えを逐一ビデオで撮られている。テレビタックルに出ている先生である。

(海江田大臣)今話を承ったので、取り扱いにご留意のこと、先生にお願いしておく。

(復旧班電気)34号機の外部電源の増強について。(資料参考)発電所と緊密に連携をとって行っている。(1F吉田)本件は連携して対応していることを承知している。

(武黒)停電作業は緊張感を伴うものなので、着実に実施してほしい。

(建設復旧班)Tb/Bの立坑と海側の縁切りについて、立坑を閉塞することを考えている。当初2号機を先行で考えていたが、3号機についても早め実施したほうが良いと考えている。29日くらいに着手して5月15日くらいを目途に完了させたい。工程的にタイトになるが、発電所にもご協力をお願いしたい。本店からもサイトに乗り込んで、対応したい。

(吉田)水位計の設置場所について、1Fでも考えがあるので、連携して対応したい。

(武黒)部長の水処理移送チームも連携して対応のこと。( )了解。

(本店復旧班)2号機の湿気の除去について対応したいと考えていて、SGTSを起動することについて、本日特別プロジェクト(国)の方針了解を得た。明日以降サイトにお邪魔して、連携して進めたい。また1号機のフラッシングについても、相談しながら進めたい。1号機Tb/B地下の電気品室について、点検して補機を起動させたいと考えていたが、水位が大分少なくなってきたので、発電所に説明しながら、連携を取って対応したい。

(1F吉田)線量が高い箇所であるので、そういった観点から、人の手も勘案して対応したい。

(海江田大臣)原子力委員会の近藤委員長に確認したところ、オフィシャルな対応ではないとのこと。どういった経緯でサイトにこられたのか、ご確認頂ければ。また、作業状況を勘案して、所長の判断で、安全の観点からお断りしても良いものとする。また、相談等あれば、対応したいので、よろしくお願ひする。

(武黒)本店でも、本件の対応経緯について確認する。

<決定事項/指示事項>

(特になし)

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/23(土)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長) 昨日深夜の地震は震度5弱だったが、双葉では震度4。プラントは問題ない。移送も問題なし。

(1F 発電班)

1号機の原子炉への注水は約6m<sup>3</sup>/h で継続中。N<sub>2</sub> 封入は28m<sup>3</sup>/h で継続して注入中。RPV 圧力は 0.43 から 0.44MPa に上昇しているがゆっくりなので問題ないと思われる。大きな変動無し。

2号機の原子炉への注水は、約7m<sup>3</sup>/h。RPV 上部温度の下がり傾向が見えている。

3号機の原子炉への注水は 6.6m<sup>3</sup>/h で継続中。D/W 圧力と S/C 圧力が緩やかに上がっているが、総じて安定している。

5, 6号機は継続冷却中。6号機のルーフに穴が空いているので滞留水になる。

(1F 所長) 仮設の蓋は出来ないか? → 本日は雨が降っているので危ない。

(1F 復旧班)

2号機立坑から集中 R/W への移送は順調。7時現在の水位は、4日間で初期値から 506mm 上昇している。

2号機立坑は減少傾向で、3号機はやや上昇(20mm)。4号タービン建屋が若干上昇気味。

(武黒) そろそろそういう時期なので変化の兆しがないか注意してみることに。

(1F 所長) 2号機は、復水器からの回り込みがあるかもしれない。1, 2号のラドの水位が同じ。ラドからの回り込みがあるかもしれない。タービン建屋の水位... (聞き取れず)

(武黒) 復水器やラドからの回り込みを考慮する必要がある。給水の回り込みがあるのならば、1号機の給水量も考える必要があるかもしれない。

(1F 所長) 1号機は給水ラインからなので問題ないと考える。2, 3号機は FP 系からの注水なので、代替ラインの構成が必要と思われる。

5, 6号機については、地下階の水位上昇の水位の監視を継続中。M/C P/C点検継続中。

(1F 土木) 2号機の立坑のアクセスのためガラ撤去を予定。1, 2号機 R/B 西側ガラ撤去予定。飛散防止剤は雨のため本日休止。

(1F 建設) プロセス建屋南側のシールドブロックの撤去するよてい。ドラム缶の搬出のため。

(1F 保安) ガンマテレビが2台サイトに届いている。デモをやっており、どこで

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

使えるか試している。

(本店武黒)なにがみえるのですか？

(1F 所長)線量率に色を付けて表示できる。ガラとか建屋とか遠くからみて特異的な点を見つけることが出来る。

(武黒)可搬ですか？

(1F 所長)重たいです。本体 20kg 三脚 20kg ぐらい。それプラスコンピュータも必要。引き回しには3, 4人が必要。引き回しを工夫しないと使えない。

(武黒)今後建屋の調査で使いたいが、使い方を考えておいて下さい。

(1F キリン)4号機12時から 140t の注水を予定している。(4時間程度)

(本店武黒)4号機の水位と蒸発量の関係を確定したい。

(キリン)本日の注入でデータを拡充して整理する。

(本店武黒)本店もフォローして下さい。

(本店復旧)R/B の環境改善について検討している。

1号機のフラッディングが重要課題です。データが不足しているが、今後の注水量について本日に決定したい。

(本店■■■■)昨日の地震について、M5.6 深さ 20km、近くて浅い地震であった。1F6 最下階で水平で40ガル…(書画で説明)。一昨日の余震と規模と起こり方が似ている。引き続き同様な余震が起こる可能性はあります。

(■■■■)震源が南にシフトしていること、プレートについて説明して下さい。

(本店■■■■)傾向として南にシフトしている。一昨日、昨日の地震のクラスはいつでも起きる。大きな地震の後には、マグニチュードの一桁落ち位の余震が起きる可能性がある。

(本店保安)集中ラド周辺のサブドレン水のサンプリング結果について、核種分析の結果を本日プレス予定。移送の前後で大きな変化はなし。

(武黒)青山さんのブログについて、西澤常務からお話があります。

(西澤常務)青山さんの件について、電話が繋がらなかったのもメールにてパブリックにしないように丁重にお願いした。サイトに入った事実、線量、所長と懇談したことがブログに書かれていたが、具体的なことは書かれていなかった。引き続きお願いはしていく。今後こういう事がないように、外部の人が入るときには業務部長に知らせることを徹底する。

(武黒)統合本部の了解がない場合はお断りするのが良い。

(1F 所長)そうします。

(1F 所長)増子さんが来られたのは、統合本部は承知していたのですか？

(海江田)承知していない。

(武黒)いきなり来ることはないと思う。事前に了解のない場合は断っても構わない。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F 所長)勝手に了解したことはない。毎回本店からのアテンドがついていたので了承されていたと思っていた。本店でスクリーニングするのがベースだと思います。

(本店小森)J ビレッジの場合は突然来ることがあるかもしれない。発電所がみたいと言っても断るように。

(J ビレッジ)本日、吉野衆議院議員と伊ワキ参議院議員ほか県議員3名が J ビレッジのみの視察に来る。

(海江田大臣)政治家の J ビレッジ訪問があるかもしれないが、作業のじゃまにならないように政府で調整する。

(1F 所長)明日の事務次官の視察は了解されているのですか？

(本部)了解している。

(武黒)安全第一、業務品質の確保に努めたいと思います。

<決定事項/指示事項>

特になし

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長)特記事項はありませんが、プロセス建屋の移送について、プロセス建屋の水位は順調に増えているが、2号機の減少が見られない。

発電所外ですが、建設関係で楢葉にてタンクの水張りをしていた作業員が目に酸性水を受けて迷惑を掛けました。工事の際は、発電所外の作業でもめがねを掛けることが基本ですので徹底するようにします。

(1F 発電班)1号機の原子炉への注水は約6m<sup>3</sup>/h で継続中。N<sub>2</sub>封入は 28m<sup>3</sup>/h で継続して注入中。RPV 圧力は 0.44MPa、D/W 圧力は 0.16MPa。

2号機の原子炉への注水は、約 7m<sup>3</sup>/h で継続中。安定

3号機の原子炉への注水は 6.8m<sup>3</sup>/h で継続中。安定

5, 6号機は原子炉・SFP とも継続冷却中。溜まり水も大きな変化無し。

(1F 復旧)集中ラド受け入れは順調です。(今朝から?)51mm の上昇です。

トレンチは従来と同じ傾向で、2号機は減少、3号機は上昇傾向です。2号機タービン建屋の数値の変化はなかったのですが、TV で見ていると実際には減少している。10cm 刻みでは変化がない。

3号機タービン建屋の水位が 100mm 上昇しているが、徐々に少々して、今回目盛りを超えたため一目盛り分数値を上げた。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(本店武黒)2号は徐々に減っているが、10cm(一目盛り分)になっていないと言うことか？

(1F 復旧)その通りです。

(本店武黒)これは重要な情報です。

(1F)5、6号機のタービン地下階の水位も監視していますが、上昇しています。R/B の天クレと燃交器の調査を行います。

(土木)無人ガラ撤去について、1、3号機の R/B 周辺のガラ撤去を実施した。本日5箱で、合計で47箱。汚染水対策チームにて今日はエリアのガラ撤去を行った。

(建築)プロセス建屋のシールドブロックの撤去を今日開始しました。明日完了予定です。

(保安)海水のサンプリングについて、書画にて説明。有意な変化はない。シルトフェンスの内外でも有意な変化はなかった。

(注水チーム)12:30から16:44にかけて140tを4号機 SFP に注水。

明日は12時から17時に4号機 SFP に175tの注水を行う予定。昨日プールの水位を計測しており、燃料上部から1.67mであったので、予定外だが夕方から注水を始めました。23:53までやったのですが、水位は2.58mとなり90cm上昇している。現在は、燃料上部から3.6mです。

(本店武黒)水位の変化は注水をしている間カメラで確認しているのですか？

(1F 注水チーム)熱電対を下げて確認している。

(1F 所長)地震が来ました。

(本店武黒)発電所に変動はないですか？

(本店小森)2.58mのところから140t入れて、1m上昇したのか？12m×12mなので1m上がるのはよいと理解してよいのですか？

(1F 注水チーム)そうではありません。これまでの上昇量からすると、上昇量が多い。整理して報告します。

(本店復旧)フラッシングの現状と今後のアクションについて、書画にて説明します。

(復旧)1号機は炉注入が6m<sup>3</sup>/hで徐々に水位が上がっている。水位の確認を継続している。最近の状況は、圧力計の差圧として見ていたが、16日以降炉水位の上昇が停止しているように見える。各温度計に到達したときに水位が分かるかと考えていたが変化が現れない。崩壊熱から計算した蒸発量を差し引いた3.2m<sup>3</sup>は漏えいしているかもしれない。電気ペネ部から漏えいしているかもしれない。対策として次のアクションは、漏えい部の特定と漏えいを止めること。

月曜日に停電の影響でN<sub>2</sub>封入が止まるので、空間容量の変化をはかる。

4月17日にロボットが入ったときには漏えいは確認されなかったが、もう一回入

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

って漏えいの有無を確認する。炉注入量を増加させて挙動の変化を確認していく予定。パラメータの変化が大きくなりすぎない範囲で増加させます。

スケジュール感については、25日月曜日に全体の動きの現場説明をサイトにて行う。ロボットによる漏えいの有無の確認を26日に行う。27日にその判断を受けまして、 $4\text{m}^3/\text{h}$  ずつ増やして  $14\text{m}^3/\text{h}$  として24時間維持下後に  $6\text{m}^3/\text{h}$  に戻します。その後、ロボットを入れて漏えいの有無を確認する。注入量の評価をして、新たな注入量により行います。

(本店武黒)1号機の重要なアクションとなりますが、何かありますか？

(1F 所長)  $\text{N}_2$  封入を止めることとロボットを淡々とやることについては問題ない。注入量を増やすことについては、しっかりと評価して水バランスについてすり合わせを行いたい。

(本店武黒)PCV の  $\text{N}_2$  封入停止の時間は4時間となっているが良いか？

(復旧) 4時間と考えているが、延ばすかどうかはサイトと調整している。

(本店武黒)事前に試算をして4時間でよいか確認して下さい。

明日もしっかりと調整して、内容に遺漏のないように。

注水が増加するため、水位の監視、周辺の状況の確認をお願いします。さんをお願いします。

(本店電気)送電線の 66kV 昇圧に対応して、25日に停電があります。1, 2号と5, 6号の負荷を連携するので、1, 2号の仮設メタクラBが停電します。これには重要な負荷、キリンのポンプ、炉注入、 $\text{N}_2$  封入装置があり、約2時間停止する。ただし、予め分かっている停止なので、炉注入は仮設の D/G に切り替える。消防車も運転状態なので炉注入は止まりません。 $\text{N}_2$  封入装置は4時間停止を取っていますが、24時間の許容時間があるので問題ない。キリン用の電源も停止するが、前後で注入するように調整している。協力をお願いします。

(本店武黒)炉注入は継続すると言うことですが、万が一の時は連絡を取り合ってください。

(本店広報)18:30の定例会見にて、高い線量のガラがあったことをお知らせした。これまで42箱撤去していて、本日5箱撤去して累計47箱撤去した。作業エリアは厚生棟周辺、3/4 号開閉所前、旧事務本館です。4/20に高線量のガラ ( $900\text{mSv/h}$ ) を発見し、大きさは  $30 \times 30 \times 5\text{cm}$  のガラでした。4/21に有人の重機により撤去し、コンテナに収容。グラウンド北側に置いてあり、コンテナから1m離れたところで  $1 \sim 2\text{mSv/h}$  の線量であった。今後も安全第一で有人・無人を使い分けてガラ撤去を実施してきます。

(J ビレッジ) 吉野衆議院議員、伊ワキ参議院議員と県議員4名(?)が予定通り来所しました。

本日から宿泊棟を利用できるようになりました。女性から順次使用できるようにし

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ています。1F, 2F用に各50あわせて100のベッドを用意している。

(海江田大臣)明日、経産省の松永次官、安井部長、柳瀬課長がJビレッジと発電所を訪問する。Jビレッジに13:30着、1Fに15時に到着します。安井部長、柳瀬課長は普段から詰めている方です。引き回しをよろしく願います。

(細野補佐官)大臣が許可をした訪問以外は受け付けないことにします。サイトにて訪問の連絡が来た場合にはいったん本部に返して、最終的な判断は本部で行うように願います。私から各党にサイトの訪問は原則的には行わないように周知します。

(本店武黒)この点気をつけるようにしたいと思います。

安全第一で業務品質の確保に努めるよう願います。

<決定事項/指示事項>

特になし

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/24(日)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 発電)1号機の原子炉への注水は約6m<sup>3</sup>/hで継続中。N<sub>2</sub>封入は28m<sup>3</sup>/hで継続して注入中。

2号機の原子炉への注水は、約7m<sup>3</sup>/hで継続しており、パラメータは安定している。温度は緩やかに低下している。

3号機の原子炉への注水は6.8m<sup>3</sup>/hで継続中。パラメータは安定。

4号機 SFP ヘンウさん2号により12時から注水を予定している。

5, 6号機は原子炉・SFP とも継続冷却中。溜まり水も継続監視しており、上昇しているが上昇率に変化はありません。

明日、電源切替がありますので、その準備を行います。

(1F 復旧)集中ラド受け入れは継続実施中。今朝の時点で初期値から617mmの上昇です。

トレンチは従来と同じ傾向だが、2号機は減少傾向が止まってきた。継続監視する。3号機は上昇傾向です。18時から20mm上昇。タービン建屋は変化無し。

(本店武黒)2号機の水位減少が止まったことについて関連情報がありますか？

(1F 復旧)特にありません。雨が降ったくらいです。

5, 6号機は、M/C、P/Cの清掃作業を継続しています。

明日15時より1, 2号機、5, 6号機のメタクラ母線の繋ぎこみ作業を行います。

立坑閉塞のための砂利を準備しています。1, 3号機 R/B 西側ヤードのガラ撤去を継続実施します。

本日、ミドリムシ(?飛散防止剤のこと?)5号機南側の法面に散布予定です。

(1F 建築)滞留水の・・・(聞き取れず、プロセス建屋の止水関連作業と思われる)5/7完了予定としています。

シールドブロック部の撤去を行い、事前準備を進めています。

(1F 所長)高レベル処理の設置工事の準備のためのドラム缶の撤去ですね。

(本店武黒)きわめて短時間に撤去する必要があるので、工程を厳しく管理する必要がある。このため、[REDACTED]さんを現地に派遣し対応してもらう。

(1F キリンチーム)4号機 SFP への注水は12時から17時で175tを予定。

崩壊熱による蒸発量を加味すると、4号機 SFP への注入量と水位の関係は概ね整合している。

(1F 排水チーム)2号機のタービン建屋の水位が下がらないこと、立坑水位が変わらないことを本店と検討を行っています。

(本店武黒)1, 2号機の水のバランスを含め検討してもらっています。[REDACTED]さんよろしくお願ひします。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

4号機 SFP の水位に関する情報は重要です。継続監視をお願いします。

(本店■■■■)ダストのサンプリングをするのですよね？

(1F 所長)本店で計画見直しをしたと聞きましたが。

(本店官庁連絡)3/11 に 1F からの通報について、第10条の第1報を修正します。全交流電源の喪失について、運転中という枕詞があるので、1～5号機という記載を1～3号機に修正します。混乱のないように通報します。

(本店■■■■)データ配信について、過渡現象記録装置について、1, 2, 5号機のデータを明日取り出す作業を行います。1プラント5分程度の作業です。TEPSYS に出向している社員が行います。3, 6号機はメーカー製なので今回は実施しない。4号機は定検中でリプレースを行っていたのでデータが取れません。

(本店武黒)ダストの件は、本店とサイトで今後の対応で協議を継続するようにお願いします。

(本店保安)了解しました。

(1F 所長)建屋内のダストが高い。特に2号機が高く、作業に影響している。企業さんからも作業が行える環境にとの要望がある。

(本店本部)4/20 に福島事務所から紹介のありました、中学校と■■■■からのメッセージが寄せられていますので、掲示します。

(本店武黒)メッセージを頂きました方へのお礼を行いたいと思います。

安全基本動作の徹底と STAR の励行により、業務品質向上に努めて下さい。

<決定事項/指示事項>

特になし

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 所長)松永事務次官、安井部長、柳瀬課長が1時間半程度ご視察頂いた。武藤本部長、■■■■部長が来所しており、今晚は宿泊です。

(1F 発電)1号機の原子炉への注水は約 6m<sup>3</sup>/h で継続中。N<sub>2</sub>封入は 28m<sup>3</sup>/h で継続して注入中。パラメータは変化なく安定。

2号機の原子炉への注水は、約 7m<sup>3</sup>/h で継続。安定している。

3号機の原子炉への注水は 6.8m<sup>3</sup>/h で継続。水位圧力安定している。上部ベロ一部の MAX は 167°C で低下傾向です。

4号機 SFP への注水は、12時から5時間ほどで 165t。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

明日は、2号機が午前中に 60t、4号機は、停電作業の関係から、17時半より 210t 注水。

1F サイト内の電源強化のため停電。炉注水は止まらず。消火ポンプの圧力を上げて、D/G でモータポンプを動かす。N<sub>2</sub> 封入を4時間程度停止する。この際に圧力の下がりにより気相部のボリュームを測定して、水位安定の一助にする。

(本店武黒) 4号機 SFP の水位はどうですか？

(1F 復旧) 燃料上部から 4.5m 上になりました。昨日は 3.7m でしたので、0.8m 上昇です。

5, 6号機は原子炉・SFP とも継続冷却中。溜まり水上昇率の変化はない。電源停止の準備を進める。

(1F 復旧) 集中ラド受け入れは、継続で順調。増加量は 669mm。

トレンチについて、朝からの変化はない。2, 3号機とも変化が見られなかった。

3, 4号機のタービン建屋の地下の溜まり水の分析結果を示します(書画にて説明)。濃度として増えている、ヨウ素とセシウムの関係が逆転しており、何かしらが入ってきて性状が変わってきている。3号側から4号側に流入していることが予想されるが、断定するのは難しい。

(武黒) いろいろなことがあって難しいとは思いますが、データを増やして状況を正確に把握できるよう検討して下さい。

5月の始めに、4号機のタービン建屋にどぶ付けにするゼオライトで拡散する装置が入荷する。放射能を低減させることが出来ないか検討しています。詳細は別途連絡する。

5, 6号機は、サブドレンでゼオライトによりセシウムが吸着していることを確認した。今度はタービン建屋の滞留水でもバケツでくみ上げて試験を行います。

M/C、P/C の清掃作業を実施しています。

(1F 土木) 1, 3号機 R/B ヤード西側でガラ撤去を行った。3箱分撤去し、累計で 50 箱となった。

汚染水の海流出対策、ミドリムシ君について工程通り実施しています。

(1F 建築) 高温焼却炉建屋の地下2階の開口部2箇所の止水対策が完了しました。明日第1回目のコンクリート充填作業を実施する予定です。南側壁のシールドブロックの解体作業は本日終了。新たに設ける開口部の工事を明日以降に準備を開始する。焼却工作建屋の北側のシャッターの撤去も明日実施予定です。

(1F キリンチーム) 水位の上昇は 0.8m です。注水量と水位とは概ね一致しています。

(1F 排水チーム) 電源強化対策のため、25, 26日に停電します。26日10時から16時の間、3号機タービン建屋水位計のカメラ、4号機タービン建屋水位計の

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

カメラ、高線量の移送を監視しているカメラ、集中ラド水位計カメラが見えなくなります。パトロールでカバーします。

(本店情報)プラント関連パラメータの訂正について、過去分も含めHPに掲載しているが、保安院より間違いがあると指摘されていた。確認したところ、いくつか誤りが発見されたので訂正を行っています。ミスは軽微なものであり、プラントに影響ないものであった。再発防止対策は、総括表とデータシートをつきあわせる。確認しきれないものについては、作成者とは別のものが確認する。

(本部)保安院の野口さんから嚴重注意を受けた。他のデータの確認、再発防止対策を求められた。

(1F ■■■)プラントに影響を与えないものだが、チェックが甘かったことはお詫びします。

(武黒)プラントパラメータはプラント状況の判断において重要なものなので、信頼性のあるものにしないといけない。十分に気をつけて再発防止に努めるようにお願いします。

(保安院)プラントのパラメータは重要なデータなので、それが誤っていたのは遺憾であります。再発防止対策を確実に行って下さい。

(■■■)ダスト濃度対策について、長期冷却チーム、滞留水対策チーム、コスモクリーナーチーム、保安班とで取り組んでいます。サイトでのカウンターパートを決めて頂くようお願いします。

(1F 所長)■■■で承ります。早くやっていただきますようお願いします。

(武黒)早急に対応を行うようお願いします。タービン建屋内作業をいかに円滑にするかということと、全体としてのダストをいかに下げるかという対策の2点になると思います。後者は思いきった対策が必要になるかもしれませんのでメーカーと協力して下さい。

厚生班の方から、J ビレッジの先生方の訪問があります。発電所でも受け入れをお願いします。

業務品質の確保に努めて頂きますようよろしくお願いします。

<決定事項/指示事項>

特になし

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/25(月)の時系列メモ> (情報班: [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 発電) 1号機の原子炉への注水は約 $6\text{m}^3/\text{h}$ で継続中。 $\text{N}_2$ 封入は $28\text{m}^3/\text{h}$ で継続して注入中。パラメータ変動無しで安定。

2号機の原子炉への注水は約 $7\text{m}^3/\text{h}$ で継続中。パラメータは安定している。

3号機の原子炉への注水は $6.8\text{m}^3/\text{h}$ で継続中。パラメータは変化なく安定。RPV ベロ一部温度はMAXで $200^\circ\text{C}$ を割っている。

2号機 SFP への注水は10時から内部注水で60tの予定。

4号機 SFP への注水は17時半から外部注水により210t程度の予定。

天気がよいので、13時から17時にかけてメタクラ B を停止します。炉注水ポンプ、 $\text{N}_2$ 封入ポンプ、ゾウさんへの注水ポンプがある。夜ノ森線からバックアップ線を引くため停電します。

5, 6号機は原子炉・SFPともRHRで継続冷却中。

電源切替について、5号機も3時間止まるので温度監視します。

溜まり水の水位の変化率に変動無し。

(1F 復旧) 集中ラド受け入れは継続実施中。初期値から730mmの上昇です。1日あたり120mmくらいの上昇です。

トレンチについては、2号機立坑は昨日の18時から10mm低下。他の水位は変化無し。

5, 6号機は、地下水の水位の確認を行っています。M/P, P/C の点検を実施している。

5号機のオペフロの湿気が高いため、養生の見直しを行う。6号機取水路の点検を行います。電線管土砂の撤去を行う。

タービン建屋の滞留水のゼオライト吸着試験を行う。

(1F 土木) 汚染水の流出対策について・・・(聞き取れず)

ガラ撤去について、1, 3号機 R/B 西側ヤードを実施します。

ミドリムシ君について、5号機南側法面、体育館北側、(旧?) 事務本館北側の法面に実施します。

(1F 建築) 高温焼却建屋の地下の止水対策が終わったので、コンクリートの打設を実施します。新たに設ける代替口のボーリングコア抜きを実施します。焼却工作建屋のシャッター撤去作業を行います。

(1F キリンチーム) 本日210t注水する予定。これにより燃料上部5.7mになる予定。明後日を目標に満水に持って行く。SFPの強度が問題ないことを検討しながら行う。

(1F) SFPの強度について本店と相談しながら行って下さい。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

1号機の N<sub>2</sub> 封入停止の際に、PCV 圧力のデータを見ながら、水位がどこにあるのかの検討を行う。

(本店■■■■)4号機 SFP への注入ルートについて、4/22 から水位を測りながら注入している。23日に 140t 注入しており、計算では SFP のみであれば 1.2m、DS ピットも含めれば 0.4m の上昇となるが、実測値は 1.1m の上昇であったので、SFP 分のみと判断される。24日分については、SFP のみであれば 1.4m、DS ピットを含めると 0.53m の上昇と計算されるが、実測は 1m。長い目のトレンドで見ると、注入量と蒸発量を考慮すると、実測は 1m くらい低い。この要因としては、ゾウさんの注水量が 12%位少ないとすると整合する。継続的にデータの妥当性を評価する。

(本店武黒)水位の安定性、SFP の健全性を注意深く監視する必要があります。(細野補佐官)17時からの会見を、東電、NISA、すべての関係省庁で統一して行います。良い情報も悪い情報も関係者で内容を調整するよう協力をお願いします。福島で行っている会見の情報についても良くすりあわせて統一的な内容としてください。

(本店武黒)安全第一、報連相、相互の連携を心がけて作業を進めて下さい。

～全体会議終了～

<4/25(月)の時系列メモ>(情報班■■■■)

～全体会議～

19:04 プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F■■■■)本日の特記事項として、電源停止作業があった。1、2号機と5、6号機をケーブルで連携する工事を実施した。そのため、1、2号機 M/C が停電した。M/C が停電したことにより、炉心注水ポンプの電源が喪失となった。それに合わせて、炉心流量の確保や仮設 D/G の起動など訓練もどきの作業を実施した。社員9名で対応し、約14分で炉心流量の回復が出来た。明日も大熊3号線の66kV化の工事を実施する。STr(5SB)の初充電作業があるので慎重に進めたい。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。

3号機は、原子炉への注水を6.8m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。RPVベローの温度は Max155℃であり、低下傾向を示している。

また、本日午前中、2号機の SFP →FPC系統から約38t注水を行った。その際、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

スキマーサージタンクのオーバーフローを確認した。

1号機の N<sub>2</sub> 封入については、電源停止のため、14:10から停止している。現在電源復旧したとのことで、注入再開に向けた操作を開始している。

5, 6号機は、電源強化工事のため、5号機側の電源を止めている。そのため、RHRを4時間程停止した。その際、炉水とSFPの温度は若干上昇したが、16:43、ポンプを再起動してプール水の冷却を実施している。

6号機は、18時頃、仮設RHRSポンプ2台のうち、1台がトリップしたことが判明した。RHRS ポンプは、もう一台あるので冷却はされている。しかし、冷却効率が若干落ちると考えている。現在、原因調査を行っている。

(1F 復旧班)

集中R/Wへの排水は順調に実施している。水位は、初期から780mm増加している。

T/Bトレンチの水位傾向については、変化は無い。目盛の関係から、数字が変わっているものがある。2号機の縦坑については、7時から10mm水位が低下している。3号機の縦坑は11時から10mm水位が上昇している。4号機の T/B の水位は50mm上昇している。

(1F) (資料で説明) 出動命令から、ポンプ及び D/G の切替迄、作業が何分で完了するか計測を実施した。電源が落ちて、ポンプが停止した場合、消防車のみの注水となるため、定格流量が半分になる。出動命令が出てから、APD の着用や着替のため、建物を出るまでに6分かかった。また、現場に車で到着するまでに6分かかった。現場到着後、消防車で流量が取れるまで2分かかった。そのため、合計約14分かかる。D/Gについては、ポンプ起動まで8分かかり、微妙な流量調整があるので更に10分かかった。結果的に、流量安定迄約30分かかった。服の着替え等を事前に済ませておけば、作業時間の短縮が可能であると考えている。

(武黒) 電源切替で、こういうデータも取れて確認できたことは良かった。これから、どう短縮するか、維持するか良く考えなければいけない。将来的には、NRCからも自動化を考えるべきだと指摘があるので、本店復旧班で引続き検討すること。また、更なる改善が可能か発電所でも検討すること。

(1F) 了解した。

(1F 復旧班) 6号機のRHRSポンプトリップの件で、電気班が現場に向かった。6号機の取水路の点検準備を実施しており、東電環境のロボットを入れる予定である。ケーブルトレンチ内の土砂の撤去は雨のため中止した。明日、ゼオライトによる吸着試験を実施する予定である。また、明日、電源強化工事によるM/C 6C の停止が30分程度ある。

(武黒) 6号機の RHRS ポンプがトリップしたことについて、重要な設備であるた

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

め、復旧の見通しを早くすること。また、設備的に改善する必要はあるか？

(1F [REDACTED]) RHRS ポンプについては、予備品が2セットある。そのため、予備品を強化したほうが良いと考えられる。

(1F [REDACTED]) もし RHRS ポンプが停止した場合でも、時間的余裕があるが、電源がポンプ付近にあるため、高台に移すなどをしていきたい。

(武黒) 本店復旧班、予備品について手配できるものは手配するなど、予備品対応も含めて信頼性向上についての対応をすること。

(本店復旧班) 了解した。

(1F 土木班) ガラ撤去は1, 3号機 R/B 西側ヤードにて実施した。本日、コンテナ4箱分実施しており、合計54箱終了した。ミドリムシによる飛散防止剤の産婦は3箇所終了した。汚染水の海域流出防止対策関係の工事について、資材搬入を終了した。

(1F 建築班) プロセス建屋南側1階の壁の既存シールドブロックの撤去は終了した。明日、代替口の位置が変更になったため、ボーリングコア抜きを実施する。

工作建屋のシャッター部撤去は明日完了する予定である。HTI 建屋の止水対策として、地下2階の開口部2箇所のコンクリート充填作業を実施していたが、型枠の不具合発生のため中止した。1箇所打設した箇所があるため、その処理も含めて28日に打設予定である。全体工程には影響は無い。

(1F キリンチーム) 18:15から0:30近くまで、4号機の SFP へ流量34t/h で注水を実施しており、210t注水する予定である。明日、4号機の SFP への注水は17時から160t実施する予定である。3号機については FPC 系から注水を実施する予定である。ゾウ1号はモニタ用に使用する。

(本店復旧班) 4/22に FPC 系統の信頼性を確認するため、約10t注水を実施した。結果として、プール水位が76mm上昇した。引き続きデータ拡充のため、明日、約40tFPC 系統から注入を実施して、プール水の水位上昇を確認したい。今後の予定としては、明日に引続いてデータ拡充を実施していく。5/1にも FPC 系統から注水を実施する。また、5/5にシマウマへ水位を計測するツールを設置し、SFP の水位計測をする。その状態で評価をする。

(武黒) 画像が白黒だからかもしれないが、判別が難しいと思えるが？

(本店復旧班) カラー動画で確認することが出来、静止画で切り出し確認をする。SFP 壁面の上昇分について、定規を当てて確認するため、読み取り誤差はある。5/5に紐を垂らして確認する。

(1F) 今まで、1F のイントラに掲示してある規制情報について本店から見れない状態であったが、本日アクセス制限を解除したため、見れるようになった。

(本店復旧班) 明日から、飛散防止剤散布の本格的な作業を行う。今まで、試

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

験散布で2万 m<sup>2</sup> 散布してきて、問題無いことを確認した。全部で350万 m<sup>2</sup> 散布する内、6月末迄に42万 m<sup>2</sup> に散布していく。遠隔操作可能な散布車を操作し建物周りに散布を行う。10日間かけて散布していく。

(本店保安班)3/28に、2F でサーベイが可能になった。証明書を発行していたが、色々な理由で証明書発行希望があったため、フォーマットを統一した。

(武黒)今日から細野氏を中心に5:20から共同会見を行っている。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/26(火)の時系列メモ> (情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F [REDACTED]) 特記事項として2点報告する。

1点目は、昨日、1、4号機(1、2号機の言い間違いと思われる)と5、6号機の電源に対を設置する工事を実施し、1号機の窒素注入を4時間程度停止したが、(それによって格納容器内の水位や空間体積の評価をしたことにより)フラッディングの方法について議論を進めていきたいと考えている。1号機へロボットを用い、内部の漏えいがどの程度あるか調査を実施する。

2点目は、大熊3号線の電圧を上げる工事を実施する。そのため、4号機及び共用プールの電源が停止する。本日、天気は良好であるため工事を実施出来ると思われる。

また、6号機の仮設 RHRS ポンプがトリップしたので、予備品を用いて復旧をする予定である。なお、仮設 RHRS ポンプ1台運転でも炉心と SFP の温度制御は出来ている。RHRS ポンプは仮設であるので、ブレイクダウンメンテナンスになる。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。昨日14:10、電源停止関係で N<sub>2</sub> 封入を停止した。その後、19:10に28m<sup>3</sup>/h で N<sub>2</sub> 封入を再開した。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。

3号機は、原子炉への注水を6.8m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。RPVベローの温度は Max155℃であり、低下傾向を示している。

4号機の SFP への注水は0:26に終了しており、約210t注水を完了した。

本日12時から、3号機の SFP への注水を FPC 系統から行う予定である。また、17時から4号機の SFP への注水を外部から実施予定である。

(1F 復旧班)

昨日、(電源停止により)4時間程度5号機の仮設 RHRS ポンプが停止した。その結果、炉水温度は62℃となり、SFP の温度は40℃(42℃?)となった。6時現在は、炉水温度は41℃となり、SFP の温度は40℃となっている。

先日夕方に6号機の仮設 RHRS ポンプ1台が停止した。原因は制御盤内変圧器の不良が考えられる。現在、炉水温度は25℃となり、SFP の温度は33℃となっている。

(1F 復旧班)集中 R/W への移送は順調である。7時現在で、水位が840mmとなっている。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

2号機縦坑の水位は、水面から890mmとなっている。2号機の T/B の水位変化は水位計目盛りの荒さから無いが、若干低下傾向にある。2号機の T/B の大きな水位変化がないのは、流入水と移送水のバランスが取れているからと思われる。3号機の縦坑水位は1cm上昇しており、いつもの増加傾向を維持している。4号機の T/B の水位変化は無い。

本日、3号機の SFP ～ FPC 系統から約50t注水を実施する。注水の際は、ゾウ1号のカメラによる水位の確認をする。

1号機へロボットを用いて、漏えい検出周辺の漏えい状況を調査する。

本日、10時～16時に4号機側の電源を停止する。

(1F 復旧班)5号機は建屋地下の水の確認を実施する。また、M/C、P/C の点検を継続で実施する。取水路の点検をロボットで行う予定である。

6号機は、建屋地下の水の確認を実施する。SFP へのビニールシートの養生を実施する。取水路の点検については5/2に延期する。

5, 6号機ケーブルトレンチ内の土砂の撤去を実施する。また、ゼオライトによるセシウム吸着試験を実施する。5, 6号機の地下の滞留水について、移送日時を本店と打ち合わせを実施する。

(1F 土木班)飛散防止剤の散布を予定していたが、設備の点検をしてからとするので、本日は実施しない。ガラ撤去について、1, 3号機 R/B 西側ヤードを継続で実施する。また、2号機縦坑の閉塞準備を実施する。

(1F 建築班)集中R/Wのプロセス建屋1階の南側の壁に開口を設ける作業をするため、足場を組みながらコンクリートのコア抜きを順次実施していきたい。明日から線量を確認しながら塗装を開始する(どこを塗装するか不明)。海側のヤードエリアから飛散防止剤を散布する。

(1F キリンチーム)3号機の SFP ～ FPC 系統にて注水を実施する。ゾウで水位を確認しながら放水をする(FPC 系統からの注水前に、水位確認のためゾウで一時的放水を実施するという意味だと思われる)。3号機の注水が終了したら、ゾウ1号を1号機側へ移動する。4号機の SFP へは160t注水しほぼ満水の手前まで水位を上げる予定である。

(武黒)3号機の内部注水について、今後影響のある話であるので、(注水)方法の確立が出来るようにお願いしたい。1号機の水は、何らかのパスを通して2号機にいつている。送水量とのバランスで繰り出しているほうが大きいので緩やかに上昇していると考えられる(2号機縦坑の水位が若干下がっているのは、1, 2号機間で流入があったとしても、排水量の方が大きいという主旨だと思われる)。どういったパスで流入しているのか、今後の色々な状況の予測を検討すること(炉注水と排水、1, 2号間の流入を加味しながら、色々な状況を想定することという主旨だと思われる)。3号機の縦坑水位が1週間で10cm上昇していることから、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

3号機の漏えい量が大きいため、サブドレンについて良く評価をすること。3号機のサブドレンの放射能濃度を全体的に把握して正確に集約していくことは重要である。■■■■部長や保安班も一緒になって検討すること。

6号機 RHRS についてはブレークダウンメンテナンスにならざるを得ないのが実態であると思われる。今回の設備不具合の経験を活かして、準備するように検討すること。

(本店復旧班) 予備について、追加発注をしている。

(1F ■■■■) 1~4号機の電源停止の際に、切替作業を実施したように、6号機の RHRS ポンプの切替がどの程度の時間でできるかデータベースにしたい。

(本店復旧班) 窒素注入を5時間停止(1F は前で4時間と言っていたが、こちらの5時間が正しいと思われる)したところ、圧力の低下傾向からPCVの空間体積を日立と共に求めて評価した。その結果、水位が D/W の底から約6.5mとなり、電気ベネのあたりのところまで来ているという評価になった。この水位を基に、注水量と溜まっている水の量から評価すると、暫定評価で格納容器から外に3 m<sup>3</sup>/h で漏えいしていると考えられる。実際に細かい分析にはいたらないが、推測した結果として情報共有したいと考えている。注水量が6m<sup>3</sup>/h であるので水位上昇は緩やかとなるので、今日、明日、明後日で一連の確認作業を踏まえて注水量を増やすか検討していく。

(本店復旧班) 2号機の SGTS について、建屋内の環境改善する目的で確認をしたが、制御回路を詳細に外部から確認したところ、昨日ヒーターが起動できないことが分かった。ヒーターが使えないということは、SGTS を起動してもヨウ素を十分に吸着できないということになる。

(武黒) SGTS については、今後の対応について検討すること。作業安全、報連相をしっかりとやること。

~全体会議終了~

~全体会議~

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F ■■■■) 特記事項として4点あります。3,4号機外部電源を6kVから66kVへの昇圧のため電源切り替えを行いました。P/C4Dと共用プール用P/Cを計画通り切り替えました。FPCラインからの注水の健全性が確認された3号機にて、SFPに注水を行い、ほぼ満水状態となった。6号機のRHRSトリップについて、トランス込みで制御盤交換して復旧した。1号機の一階にロボットを入れて内部を観察した。半周ほどみてまわった結果、漏洩は確認されず、線量も前回と変化無かった。現場の格納容器の圧力計と中操の圧力計はほぼ一致している。フラ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ッディングチームの判断となるが、注水量を増やす操作になる。

(1F 発電)1 号機炉注入は  $6\text{m}^3/\text{h}$  で継続中。D/W への  $\text{N}_2$  封入は  $28\text{m}^3/\text{h}$  で継続中。変化無く安定。

2 号機炉注入は  $7\text{m}^3/\text{h}$  で継続中。パラメータ安定。

3 号機炉注入は  $6.8\text{m}^3/\text{h}$  で継続中。パラメータ変化無し。ペロー部の温度は MAX で  $159^\circ\text{C}$  であり、下がり傾向である。

4 号機 SFP への注水は 21 時半まで 130t 入れる予定。

6 号機のトリップした仮設 RHRS を復旧し、炉水、プール水温度を制御中です。滞留水の推移も継続監視中で特に変化無し。

(1F 復旧)集中ラドへの移送は順調に継続中。水位は18時時点で 892mm 増加しています。

2 号機立坑効水位は下げ止まっており、OP3110 で変化無し。タービンも変化無し。1,3,4 号機についても、立坑・タービンとも水位の変化無し。

3 号機 SFP への注水について、ゾウさん 1 号による確認を行い、47.5t、1 時間半の注水を行った。これによりスキマー手前まで確実に入った。

ロボットの話は後ほど本店から詳細に説明願います。明日 1 号機の炉注水量を増やす予定です。

タービンの松の廊下において、北側の二重扉と(?)の間の電線管の下のあたりから水の流れる音がしたが、見ることは出来なかった。明日ファイバーを入れて水の流れ確認するよてい。R/B 三角コーナーとタービンの間に水が流れていると考えられる。

(1FPCV チーム)1 号機北側二重扉から北半分をロボットにて調査を行い、漏洩の有無をと D/W 圧力計の確認を行いました。

線量に大きな変化はなく、9 から  $50\text{mSv}/\text{h}$  でした。温度は変化無く、26 から  $28^\circ\text{C}$ 、湿度はやや上昇して 65%、酸素濃度はどこも同じで 20.9% でした。

現場の D/W 圧力計の値は  $0.06\text{MPa gage}$  で中操値とほぼ同じであった。機器ハッチ上部の電気ペネ部を確認した。上部の様子は良く確認できなかったが、グレーチングからの滴下は確認されていない。パーソナルエアロックの下部にも新たな漏洩はなかった。

その他分かったことは、R/B の大物搬入口の内側に瓦礫の山があることです。天クレ用のオペプロまでの貫通口から落ちてきたものと思われる。真っ暗ですが、明るかった。

シャットダウンケーリングのポンプ室の扉は何か引っかかかっていて開けることが出来なかった。線量が非常に高く、 $1.1\text{sV}/\text{h}$  であった。

今の機器ではここまで入るのが限界です。南側二重扉から入れば残り半分も見られるが線量が高いため困難。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

一階に関して漏洩がなかったことが確認できましたので、27 日の炉注水量の増加と、その後のロボット確認を予定通り実施したい。

(本店■■■■)漏洩箇所は電気ペネあたりと想定していたが、ロボットでは漏洩は確認できなかった。流量を増やして TAF レベルまで行ったときの漏洩量は、4 から  $6\text{m}^3/\text{h}$  に収まると推定される。明日の注水量の増加を行った際に漏洩があったとしてもこの値を見込んでおけばよい。

(本店小森)流量を上げる時間と監視すべきパラメータをよく 1F と相談してください。現場でも何を監視するか確認のうえをお願いします。

(1F)監視すべきパラメータ、D/W 圧力が上がったときの対応について本店と検討します。

炉注水量の増加は、明日 10 時を予定している。

(本店武黒)どういうシーケンスになるか明日朝の全体会議にて説明すること。

大物搬入口の瓦礫について、線量がありますか？

(1F)線量は測っていない。

(1F 復旧)6 号機仮設 RHRS 復旧して 17 時 17 分にポンプを起動している。M/C、P/C 点検を継続している。

5 号機南側水路の点検では、にごりがひどいがポンプの起動に支障は無い。ゼオライトへの吸着試験はサブドレン水について実施し、対流水で実施します。たまり水について、CS 室の水抜きを実施しています。

(1F 土木)飛散防止剤散布について、本日は設備点検を実施した。あしたも設備点検を継続する。立坑の閉塞については、明日も資材の組立を行います。ガラスの撤去について、1 号機 R/B 西面ヤード、3 号機 R/B 西面ヤードにて実施して、2 箱撤去した。計 56 箱。明日も 3 号機 R/B 西ヤードと南側のゾウさん移動後のあたりを実施します。

(1F 建築)飛散防止剤散布について、無人のクローラードンプにより取水口側  $5000\text{m}^2$  を実施。29 日まで実施する予定。その後は調整中。

焼却工作建屋の 1F シャッター撤去、シールドブロックの撤去を完了した。焼却建屋のクラックは無かった。高温焼却建屋のクラック補修を実施した。

(1F キリンチーム)3 号機 FPC からの注入を実施し、ゾウさんにより満水を確認。ゾウ 1 号を 1 号機のほうに移動した際に、アウトリガを展開したのちにブームの操作をしたところ間違えて下げてしまい、駆動油のパイプを破損し、油漏れが発生した(約 10 リットル)。防災グループから 17 時半に消防に連絡済み。修理について検討します。

4 号機は水位を計測して、満水手前まで 130t 注水する予定。明日は 12 時から 70t 注水して満水まで持っていく。

(1F ■■■■)困っています。瓦礫を撤去しているが、放置されている車 100 台オー

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ダがある。ガンリンとかバッテリーなどの処置が必要で、解体するのにしかるべき手続が必要となります。本店総務と相談しながら行います。

(本店武黒)相当な量があるので、急いで実施してください。

(本店復旧)1号機のホウ酸水注入の方針について、再臨界の可能性はかなり低いが念のための措置としてホウ素を入れる。ピットに5ホウ酸ナトリウムを溶かして炉注水を行う。約300kgの投入により余裕を持って見臨界にすることが出来る。実施時期は脱塩処理や温度などを勘案して検討する。

(本店武黒)具体的にいつやるか明確にしてください。

(本店建築)4号機SFPの強度について、SFP温度が90度くらいになっていると仮定して、熱応力と仮想余震応力を加えても鉄筋の降伏応力には余裕があります。今後、精度の高い評価を検討している。

(本店武黒)最終的な評価がかたまった段階で報告してください。

明日は、1号機の炉注水量を増加させるという大きなイベントがある。また、水の音の確認もあり要注意日となるため、本店側も本部にすぐに集まれるようお願いいたします。

今後も業務品質の向上に努めてください。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/27(火)の時系列メモ> (情報班 ■■■)

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F)特記事項として4点報告する。

1点目は、1号機の炉注水流量を本日10時から上昇させる操作を実施することである。10時から6m<sup>3</sup>/h から10m<sup>3</sup>/h に変更しホールドする。その後(6時間後)10m<sup>3</sup>/hから14m<sup>3</sup>/hに変更し18時間ホールドする。各々、ホールドポイントを設けてパラメータを評価する。

2点目は、4号機の SFP ヘゾウ2号にて放水を実施し、満水レベルまで水位を持っていく作業を実施する。また、スキマーサージタンクへ水を流して反応するか確認する。

3点目は、3月15日の1号機の燃料損傷評価について、一部評価に誤りがあった。後で報告する。

4点目は、女性社員の被ばく評価をしたところ、法令3ヶ月5mSvを超えている事象が発覚した。被ばく線量は18mSvであり、内部被ばくが多かった。しかるべき対応をしたい。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。D/W へのN<sub>2</sub>封入は28m<sup>3</sup>/hで継続している。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。

3号機は、原子炉への注水を6.8m<sup>3</sup>/h で実施している。プラントパラメータは安定している。

4号機の SFP への放水は12時頃から70t程度行う。

1号機の流量変更試験は、本日10時から明日10時まで3時間に一回ずつ中操で確認するとともに、PCで随時確認する。

5, 6号機 RHR で制御している。RHRS 制御盤取替、再起動した。順調に運転している。滞留水については顕著な増加なし。

(1F 復旧班)集中 R/W への移送は順調。7時現在プロセス建屋の床面から946mmとなっている。しかし、2号機タービン縦坑水位は変化なし。グレーチング上面まで890。

1号機水位変化なし。3号機縦坑水位は1cmほど上昇しているが、上昇トレンドは変化なし。4号機 T/B 水位変化なし。

電源関係で大熊線を6.9kV から66kV に昇圧する。4日間かけて実施していく1号機の IA 圧力が低下していたので確認したところ、IA コンプレッサー2台のうち1台が停止しているのが確認された。そのため、当該1台について、オイル、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

バッテリー等交換し、0:35に起動して問題ないことを確認した。N<sub>2</sub>封入に影響のないことは確認した。今後、予備の設置をすることを検討している。

(1F ■■■(本店フラッディングチーム))1号機の炉注入流量を増加させる作業について、どういうエレベーションになったら、どういう事象になるのか纏めた。なお、本日の作業手順についても、1F と調整の上作っている。現在の系統は1, 2, 3号のポンプ吐出ヘッダーがタイで繋がっているが、縁を切って他号機への影響を無くすこととする。また、不測の事態が発生した場合のフローを作成している。もし、キーとなるパラメータ(原子炉圧力や D/W 監視用スイッチ等)パラメータの変動が確認された場合は、本店フラッディングチームと協議の上、試験を中止するかどうかのフローを作成している。現場には本店も張り付いて注意深く見る。

(武黒)T/B の水位変化は緩慢であるので、水位変化は分かりにくいですが注意深く観察すること。

(1F 復旧班)縦坑水位については、免震棟で確認できるため、1時間に1回程度、注意深く確認していく。また、炉注入流量を変化させた際の水位変化を確認できればと考えている。また、昨日、流水音がした場所へファイバーを用い確認を実施する。

(武黒)ファイバーは記録が可能であるか？

(1F 復旧班)ファイバーが未だ手元に来ていないため、詳細は不明であるが難しいと考えられる。

(武黒)注意深く確認して結果を報告すること。

(1F 復旧班)5, 6号機はM/C, P/C の点検を継続で実施している。建屋内の滞留水やサブドレンの排水として利用するタンクの設置についての確認を実施する。ゼオライトの吸着効果試験については継続で実施している。S/C 水位を下げるため、S/C 水をウェストコレクタータンクへ移送する必要があることから、S/C マンホールの開放作業を実施する。

(1F 土木班)本日、設備点検を実施するため、飛散防止剤散布は実施しない。縦坑の閉塞作業の準備として機材の設置を実施する。ガラ撤去は3号機原子炉建屋西側について継続で実施している。また、3号機南側ヤードのガラ撤去を本日から開始し、3日間作業をする予定である。

(1F 建築班)飛散防止剤の散布は、1~4号機取水口周りへ実施する。

HTI 建屋地下2階の開口部へ明日コンクリート打設をするので、準備作業を実施する。また、地下部では貯槽への塗装を予定している。

(1F 技術班)1号機の炉心損傷について、3月15日15:25での損傷割合が70%と報告していたが、実際は55%の誤りであった。損傷割合については、15条の通報に記載していることから、訂正も含めて本店と検討している。原因は2

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

号機の CAMS データを誤って使用してしまい、かつ10倍し評価をしてしまったためである。現在、他ユニットも含めてチェックをしている。

(武黒)社会的に注目を受けている事柄なので、単純な読み取りミスでは済まない。本件については、原因と対策を明確にすることも必要だが、こうした誤りで当社が発信する情報全体への問題に直結してしまう。これまでも、放射線データやプラントデータの誤りもあったが、こういうミスが散見される現状を改善しないといけない。発電所と本店が一緒になって検討し、単純な誤りと片付けないこと。本店の原子力品質・安全部でチームを作って対応をすること。

(1F)データの誤りについては、トレンドを見ればすぐ分かると思う。

(武黒)そうであれば、早く分かったはずだ。仕事のやり方そのものを再評価しなければならない。

(1F 保安班)女性の線量限度超えについては、APD での計測値が2.06mSv、免震棟での被ばくが1.89mSv と評価していた。しかし WBC で計測した結果、内部被ばくが13.6mSvであったため、合計17.55mSvとなった。その女性は2Fのバックオフィスに通勤しているので、本日医師の診察を受ける。

(武黒)女性のケアが重要である。本店もバックアップをすること。今回の件は、法律の限度超えであること、内部被ばくであったこと、対象が女性であったということが問題である。また、5mSv の限度に対して18mSv というのは大幅な限度超えである。しっかりと問題を掘り下げて対応をしていく必要がある。

(本店保安班)3月22日に女性社員は1F から退域している。他の女性については5mSv を超えてないことを確認している。(後述で2名については評価中である旨訂正をしている)。男性については、WBC の設置数が少ないので対応が厳しい状況である。まずは、100mSv を超えた人のフォローをしている。次に3月中に現場へ行った人に対して、フォローをする予定である。内部被ばくが多いのは初期の免震棟の作業環境が悪かったためと考えられる。

(武黒)WBC の増強をすべきではないか？

(保安班)色々な手当て(1F、2F、KK、小名浜 CC の WBC を活用する)を考えている。(1F:汚染していることから、使用できるまでに時間がかかる。2F:WBC 月間であるため目一杯、小名浜 CC は JAEA から1台拝借してもう一台追加予定)

(武黒)抜本的な手当てが必要ではないか？また、関心を集めるので本店広報班は準備をすること。

(本店保安班)並行で検討している。

(本店広報班)しっかり対応していく。

(武黒)今後の管理については、本店の保安班と発電所で見直すこと。

(1F)女性については特別な管理をしている。インフラの整備と管理レベルをど

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

うするか、現状改善してきているが、より良い方法について本店保安班と考えていきたい。

(本店保安班)先ほど報告で、女性19人のうち1名が線量限度超えて、他の女性は大丈夫と報告したが、まだ2人評価中であった。そのため、線量限度超えは最大3人になる可能性がある。

(本店保安班)被ばくの問題については、潜在的な問題がある。対策について保安班としても対応したい。

(本店総務班)1F の車両廃棄については、ガソリン抜き取りなどの危険処理が必要であるため、OFC の総務班と協力して、福島県に対し廃棄物の申し入れをしている。本日返事を貰う予定である。

(武黒)的確に進めること。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F)特記事項として2点あります。1号機の注水量を増加しており、10:02に6 m<sup>3</sup>/h から10m<sup>3</sup>/h まで増加して、その後経過を観察している。16時のホールドポイントにおいて、建屋に流れ込みがないこと、D/W 圧力が下がり続けていることから、炉注水量はそのまま、22時のホールドポイントにて再度評価を行って今後の方針を決める。

4号機 SFP へのゾウ2号による注水について、SFP 満水まで注入し、蒸発量と水位低下量の監視を行うことにより、プールでの漏れのないこと確認する予定です。

(1F 発電班)1号機は、原子炉への注水を10m<sup>3</sup>/h で安定して行っている。N<sub>2</sub>封入は28m<sup>3</sup>/h で継続している。水位、炉圧の変化はないが、D/W 圧力は低下しており、注水量増加から16kPa 下がって、下がり傾向が継続している。RPV 周りの温度25点の平均は118℃から114℃に下がっている。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/h で実施している。安定している。

3号機は、原子炉への注水を6.8m<sup>3</sup>/h で実施している。パラメータは安定している。

4号機は特になし。ゾウさん2号で SFP に85t の注水を行った。

5,6号機は引き続き RHR 炉水、プール水を制御している。滞留水、漏れ込み水の変化もなしで継続監視をおこなっています。

(1F 復旧)集中ラドへの排水の移送について、18時時点で初期値から994mm 増加している。2号機立坑の水位は、1号機で注水量を増加させているにもかかわらず

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

ならず 10mm 下がっている。但し数字を丸めているので実際には低下はわずかなものです。タービン建屋変化は無し。

1号機のタービン建屋、立坑の水位変化無し。3号機は立坑にて10mm 増加、タービン建屋は変化なし。4号機は OP3100 で 50mm 増加しているが、これも目盛り関係で見かけ上増えたもので、実際はわずから上昇です。

1号機の松の廊下での水の流れる音について、再確認とファイバーによる確認を行った。炉注水量の増加に対して特に変化はない。ファイバーは水面まで達したが、視野が狭いのでどういう風に流れているかわからない。水面は OP5000 くらいにある。明日、保安班で地下1階の線量とダストを計測して問題なければ、明後日竹の廊下の状況確認を行う。

(武黒)竹の廊下は興味あるが、慎重に行ってください。

(1F)電源の作業については、変電の協力により4日間の予定が3日間で終わるため、4/30 に P/C の停止を行う予定です。

5, 6号機の M/C、P/C 点検修理を継続しています。5号機ケーブルトレンチの土砂撤去を難航しているが、継続しています。

6号機北側の F 地点の調査を明日も実施します。ゼオライト吸着試験も引き続き実施します。S/C マンホールの開放作業の準備が完了しました。6号機の溜まり水の監視を継続しています。

(1F 土木)飛散防止剤の散布については、本日は設備点検を実施しました。明日から本格的に実施を行い、5号機南側法面、大熊通り北側法面、体育館北側平場の3箇所を実施する予定です。立て坑閉塞に関して、仮設台の準備を行っています。ガラ撤去については、3号機 R/B 西側ヤード、3号機南ヤードで3箱分の撤去を行い、合計で59箱となりました。

(建築)飛散防止散布について、1, 4号機ポンプヤード 7500m<sup>2</sup> 散布しました。明日は、雨天の場合は中止となりますが、4号機の南 7000m<sup>2</sup> を散布予定です。高温焼却炉1階の開口部について明日コンクリート打設を行うため、本日段取り完了している。高温焼却炉建屋のクラック補修を完了している。プロセス建屋のコンクリートコア抜きと水槽の塗装について、明日も継続して実施します。

(1F キリンチーム)4号機 SFP 満水手前でいったん止めて評価した後、満水まで注水を行った。その際、スキマーが確実に反応したことを確認した。今後、しばらく注水を止めて毎日の蒸発量と水位の変化の関係からプールの健全性を確認する。水位の確認の後にプール水のサンプリングを予定。

( )ガラ撤去の車の処分について、緊急性の高い作業なので、しかるべき処置の後処分できると県より判断を頂きました。本店関係者方々、ありがとうございます。

(本店復旧)本日10時過ぎから、1号機炉注水量を6m<sup>3</sup>/h から10m<sup>3</sup>/h に増加

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

させた。原子炉圧力、D/W 圧力、S/C 圧力は安定して推移している。RPV 温度が低下しており、よく冷えている状態と言える。D/W 圧力が少しずつ減っているが、減少傾向は少しずつ緩まっている。もう一段階炉注入量を増加させるとさらに D/W 圧力減ってしまい、PCV が負圧になってしまうかもしれない。今後の炉注水については、22時のホールドポイントにて判断する。

(武黒) 温度のばらつきはないか？

( ) 全部を見ているわけではないが、ほとんどが下がっている。

( ) 22時の段階で改めて情報共有を行います。

(電気) 5, 6号機常設電源復旧工事に伴う RHR ポンプ停止について。現状、RHR ポンプは架設のケーブルを用いて動いている。メタクラの点検が進んでおり、5/9に掛けて 起動変圧器5SB を活かしていく。5SA を一端停止して、試充電を行う。5SA を一端停止するので D/G を起動して RHR の電源を供給する 試充電が終わった後に若干の停電がある。30分くらいで終わる。同じ時期に取水路の点検を行うため約3時間の停止となる。

2点目 2F の富岡線1号の復旧工事を5/9 8時から18時に行う。富岡線と岩井戸線で十分な供給力があり、D/G、電源車のバックアップがあるので問題ないと考える。

3点目 新福島変電所主変3号の断路器が破損しており、自然に開放する恐れがある。変圧器の修理を5/13から16日間実施する。主変3号からの夜ノ森線1号、岩井戸線1号が停止する。5/10完了目標で大熊線2号から新しい電源ルートを準備しています。1F は3ルート確保出来ており、1ルート止めても問題ない。2F も同じです。バックアップとして D/G、電源車待機している。12日と17日に、昨日の3, 4号機と同じような停電がある。今回の場合は30分程度の停電です。

(本店武黒) 十分バックアップに配慮しているが、発電所と連携して実施して下さい。

安全第一、業務品質向上に努めて下さい。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/28(木)の時系列メモ>(情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F)特記事項について連絡する。昨日、1号機の炉への注入量を増加させたが、傾向監視したところ、原子炉周りの温度はかなり不連続に落ちてきている。下げ幅としては、概ね10℃以上下がっている。また、原子炉圧力やPCV圧力も低下している。現在、原子炉圧力は平衡状態であるが、PCV圧力は低下している状況である。原子炉水位については、昨日上昇傾向であったが、10cm程度上昇し止まってしまった。今後、パラメータを見ていきたい。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水流量を、昨日10時から10m<sup>3</sup>/h(元は6m<sup>3</sup>/h)に変更した。その結果、原子炉水位は-1.7mから-1.6mと10cm程度上昇した。温度については、継続的に低下傾向である。また、原子炉圧力は緩やかに低下している。D/W圧力は、現在0.125MPaである。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/hで実施している。プラントパラメータは安定している。

3号機は、原子炉への注水を6.8m<sup>3</sup>/hで実施している。プラントパラメータは安定している。温度は一定又は低下傾向である。

5,6号機はRHRで制御している。本日、5号機のトラス水をR/Wへ移送する予定である。

(1F 復旧班)集中R/Wへの移送は順調である。本日7時現在、プロセス建屋の床面から、初期と比べ1055mm上昇している。2号機のトレンチ水位は若干低下傾向を示している。3号機T/Bの水位変化は無い。3号機トレンチ水位は1cm程度上昇しているが、トレンドの変化は無い。4号機T/Bの水位変化は無い。2号機のSFPへは、FPC系統を通じて約60t注入する予定である。

また、本日10時から1号機へロボットを投入し、機器ハッチ及び電気ペネの状況を調査する予定である。

(1F 復旧班)5,6号機M/C、P/Cの点検は継続で実施している。5号機のケーブルトレンチの土砂を撤去する作業は継続で実施する。ゼオライトの吸着試験についても継続で実施している。また、5,6号R/B及びT/B、6号R/Wの溜まり水の監視は継続で実施する。

(1F 土木班)飛散防止剤の散布は5号機R/Bの南側、旧事務本館前、体育館前で実施する予定であるが、天候の回復を待っている状況である。2号機縦坑の閉塞作業として仮設機材の設置を継続で実施する。ガラ撤去については、3号機R/B西側及び南側で継続で実施する。

(1F 建築班)飛散防止剤の散布は雨天により中止する。コンクリート打設は継続

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

で実施する。また、プロセス建屋1階のコンクリートコア抜き作業等を実施する。

(1F キリンチーム)昨日、4号機の SFP を満水水位まで放水を実施し、スキマーサージタンクの変動も確認できた。今後、4号機 SFP へは放水を実施せず、蒸発量と水位の関係について、水位を1日1回計測し、評価する予定である。

(本店復旧班)(資料で説明)1号機の原子炉注水状況について報告する。昨日10時から注水量を増加させ、原子炉水位が10cm程度上昇した。この水位の傾向から、水が溜まってきていると考えられる。原子炉圧力は、当初は若干下がりが気味であったが、原子炉水位が上昇してきたところから静定した。D/W 圧力は若干低下気味である。このパラメータについて、プラントメーカー含めて分析をしている。現在言えることは、原子炉圧力がマイルドな応答をしていることから、原子炉内は高温状態ではなく、かなり冷えていると言える。原子炉水位の上昇が止まったことは調査中であるが、一つ考えられるのは、原子炉の中で蒸気が発生しており、水位が止まっていると考えら得る。今後、メーカーとサイト含めて意見交換と情報収集して、検討していきたい。

(武黒)非常にゆっくりとした反応であるが、原子炉内が冷却されているというデータである。本日10時(夜か昼か不明)迄にデータを精査して発電所と検討すること。なお、基本は流量維持ということか?

(本店復旧班)そう考えている。

(本店復旧班)1号機へのロボットによる調査について、大物搬入口から雨が入ると漏えいによるものか雨によるものか判別がつかなくなるため、中止も含めて考えている。

(本店保安班)昨日プレス発表した、女性1名が線量限度5mSv を超える被ばくがあった件について、原因究明及び再発防止対策を5月2日迄に報告する旨の指示文書を貰っている。

(本店復旧班)余震も含めて、地震の今後の対応について、全国レベルで考えるよう指示文書を貰っているが、1F,2F,KK の検討について、本店 [REDACTED] をトップとして体制を組んだ。

(武黒)安全第一で確実に作業を実施すること。

～全体会議終了～

<4/28(木)の時系列メモ>(情報班 [REDACTED])

～全体会議～

19:00 プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 吉田)特記事項について連絡する。本日、4号機の SFP の中にカメラを入れて状況を確認した。後で報告する。

明日9時に、2号機縦坑から集中 R/W への移送について停止操作を実施する。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

監視機能等々を強化して、明後日の午後目途に再起動する。また、1ラインだけではなく2ラインで送水することも検討している。

1号機の注水量を18時間継続して、プラントデータを見ることについてサイトと本店間で合意した。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉への注水流量を、昨日10時から10m<sup>3</sup>/h(元は6m<sup>3</sup>/h)に変更している。その結果、温度パラメータが緩やかに低下した。原子炉水位は-1.7mから-1.6mと10cm程度上昇した後、現在変化はない。D/W圧力は、緩やかに低下して、現在0.120MPaである。明日、原子炉建屋内にロボットを入れて点検する予定である。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/hで実施している。プラントパラメータは安定している。SFPへの注水について実施し、約43t注水を完了した。

3号機は、原子炉への注水を6.8m<sup>3</sup>/hで実施している。プラントパラメータは安定している。

5, 6号機は大きな変化は無い。

(1F 復旧班)集中 R/W への移送は順調である。18時現在、プロセス建屋の床面から、初期と比べ1108mm上昇している。明日9時に停止して、フラッシングをした後、監視機能を強化し、明後日16時を目途に再起動する。また、流れを監視するため、音響監視設備を設置する。また、3号機の移送ホースを設置する。将来的に HTI からプロセス建屋に戻すホースも設置する。遮蔽材についても強化し、放射線モニタの設置作業も実施する。また、再起動後は、停止期間中の水位上昇を評価した上で、2つのポンプで移送することを検討している。

1~4号機の T/B 及び縦坑の水位変化はない。

5, 6号機は M/C、P/C の点検を継続で実施している。5号機のケーブルトレンチの土砂撤去作業は継続で実施している。6号機北側 F 地点へのタンク敷設について、5月1日を目指し実施中である。

大熊線3号については明日受電する予定である。非常にスムーズに進んでいる。

(1F 復旧班)5, 6号 R/B 及び T/B、6号 R/W の溜まり水の監視は継続で実施している。

(1F 土木班)飛散防止剤の散布は5号機 R/B の南側、旧事務本館前、体育館前にて全て終了した。合計4500m<sup>2</sup>散布を実施した。明日、同じ3箇所について4000m<sup>2</sup>の散布実施を予定している。

縦坑の閉塞準備作業として仮設の設置を継続で実施している。

ガラ撤去について、3号機 R/B 西側及び南側で継続で実施した。

(1F 建築班)飛散防止剤の散布は雨天のため中止した。HTI 地下2階のコンクリ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

一打設は(型枠?)に不具合が発生したため、中止した。明日、再度実施するため工程上の遅れはない。プロセス建屋4階のシャッター撤去について完了した。コア抜きについて実施し、明日も継続で行う予定である。プロセス建屋の線量は問題なかった。

(1Fキリンチーム)昨日、4号機SFPを満水にした後、本日水位を確認したところ35cm低下していた。水位低下は、蒸発量に見合った低下量である。また、4号機SFPの水についてサンプリングを実施した。なお、水中カメラで撮影した映像について紹介する。(映像を紹介)若干ガラが落ちている状況であるが、それほど崩れている状況ではない。

(本店復旧班)(資料で説明)1号機の原子炉注水について流量を増加させた後の経過状況について報告する。D/W 水位は、センサー関係や弁リミット関係について監視しているが、水位をキャッチすることはできていない。今後、逃がし弁が水没することより、排気管温度を注目していく。

(武黒)逃がし弁の配管温度は何度か？

(本店復旧班)D/Wの雰囲気温度と同じ動きをしていて、110℃弱である。D/Wの圧力変化は、注入時では2.5KPa/h(25KPa/h?)の減少率で低下していた。現時点では、ほぼ横ばいであり0.5KPa/hで減少している。この予定だと、110KPaに到達するのは、4月29日13時頃と予想している。予備的に見ている計器で言うと、100KPaに到達するのは、4月30日17時頃と予想している。窒素だけで圧力がキープできるか評価したい。

(武黒)データの活かし方、そのデータは使えるのかについて評価して、明日一旦止めた後(ポンプの流量を10t/hから6t/hに戻した後)、将来見通しが明確になるように精査すること。

(本店総務班)本日13時から、常磐道の通行止めについて一部解除された。今までいわき四倉までだったが、広野インターまで通行できるようになった。東京方面に向かう際は、広野インターから通行券を取ること。災害派遣従事者の照明証ではいわき四倉迄だが、次回申請時は広野まで申請すること。照明証の有効期限は1ヶ月なので注意すること。

(武黒)安全第一、業務品質の確保に努めること。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/29(金)の時系列メモ>(情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F所長)本日9時から集中ラドへの移送を一旦停止し、フラッシング、監視装置の強化、移送配管追設を行う。明日の午後まで実施する予定です。

(1F 発電班)1号機は、4/27に  $6\text{m}^3/\text{h}$  から  $10\text{m}^3/\text{h}$  炉注水量を増加させた。その結果、炉水位下がり、 $-1.7\text{m}$  となった。炉注水の増加にともない温度が低下した。RPV 温度は低下した後に安定している。D/W 圧力は減少して  $0.116\text{MPa}$  で安定している。 $\text{N}_2$  封入は  $28\text{m}^3/\text{h}$  で継続している。10時から炉注水量を  $10\text{m}^3/\text{h}$  から  $6\text{m}^3/\text{h}$  に戻す操作を行い、その後、R/B にロボットを入れて点検する予定です。

2号機は、原子炉への注水を  $7\text{m}^3/\text{h}$  で実施している。

3号機は、原子炉への注水を  $6.8\text{m}^3/\text{h}$  で実施している。それぞれ圧力、温度安定している。

5, 6号機は RHR で制御している。地下水流入の処理を実施している。

(1F 復旧班)集中 R/W への移送は、本日9時より中断して追加作業を実施します。プロセス建屋止水の再確認、3号機移送用のホースと遮蔽の追設、音響装置の改造を行います。明日の午後再起動予定です。

1, 2号機のトレンチ水位は変化無し。3号機トレンチ水位は1cm程度上昇しているが、トレンドの変化は無い。4号機 T/B の水位変化は無い。

1号機の炉注水量を戻した後、ロボットを R/B に入れて点検を行う予定。

大熊線3号の試充電を行います。

(1F 復旧班)5, 6号機 M/C、P/C の点検修理清掃は継続で実施している。5号機のケーブルトレンチの土砂を撤去する作業は継続で実施する。6号機北側 F 地点の調査を継続。5/1 午後から準備できたタンクから移送可能となります。サブドレン水のゼオライトの吸着試験についても継続で実施している。また、5, 6号 R/B 及び T/B、6号 R/W の溜まり水の監視は継続で実施する。5号機 R/B CS 室で  $22.5\text{cm}$  まで上昇したので排出作業実施した。ラドも  $10\text{mm}$  から  $20\text{mm}$  水位上昇している。

(1F 土木)無人のガラ撤去について、3号機 R/B 周辺をじっしする。飛散防止剤散布は、5号機山側斜面にて実施予定 ( $4000\text{m}^2$ )。2号機トレンチの閉塞準備作業を実施しています。

(1F 建築班)4号海側ヤード ( $7000\text{m}^2$ ) に飛散防止剤散布予定です。プロセス建屋1階のコンクリートコア抜き作業等を実施する。高温焼却建屋開口部でコンクリート打設を実施します。

(1F キリンチーム)本日の放水予定はなし。4号機 SFP プール水位の測定を実

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

施する予定です。

(本店■■■)4月27日より、1号機炉注水量を $6\text{m}^3/\text{h}$ から $10\text{m}^3/\text{h}$ に変更したが、 $6\text{m}^3/\text{h}$ の時点ですでに原子炉の冷却は十分であったと判断される。現状は、 $10\text{m}^3/\text{h}$ となって蒸気の量との平衡が変化した。炉圧は大気圧より若干高い状態です。 $10\text{m}^3/\text{h}$ が、大気圧よりも下がらないレベルと考えられます。SRV 温度のトレンドは27日10時から下がっており、現状バランスしている。炉注水量を元に戻すと、温度も数日をかけて上昇していくが、元々十分冷えているので問題ないと考ええる。

(本店武黒)本日、ロボットで点検して、その先の対応ほどのように考えているか？

(本店■■■)本日、ロボットで漏えい状況を確認して、温度変化等を含めて今回の(炉注水量変化の)評価を行う。水位が見えないということで計装系の調整が行えないか検討していく。

(1F 所長) 事実は確認できていないが、読売新聞早刷り(ネット)によると、累積で $100\text{mSv}$ を超えた場合、5年間従事不可とのこと。もし事実なら、東電内の人のやりとりに制限を受けることとなる。耐震強化工事においてゼネコン・メーカーも含めて対応が困難となる。3~9ヶ月の収束シナリオが非常に難しい。非常時に通常ルールを適用されると復旧工程が成立しなくなる。5/7に厚生労働省が来ることについて、本店が了承しても発電所長として拒否するつもりです。

(本店武黒)厚生労働省を含めて・・・(聞き取れず)

(本店武藤)厚生労働省と交渉しておりますが、まだ了解をいっていない。所長が挙げている課題が出てくるので、問題が顕在化する前に課題を抽出して議論する。

(本店武黒)5/7の件については、本店でも検討する。

これからプラントの変化もあるので、安全の確保を第一に、お願いします。

~全体会議終了~

~全体会議~

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F所長)2号機から集中ラドへの排水を9時すぎに中断し、各種監視機能の強化、移送ラインの追設、等を行っている。これから確認をしていくが、4号機 R/B トーラス室に水がたまっており、水位が高くなっている。サンプリング(1Fでの簡易測定)の結果、 $10^3$ レベルであり、気がかりである。10日前では $10^1$ 条レベルであった。フローグラスを見たところなさそうで、プールラインとR/Bそのものにも漏えいはない。水の回り込みがわからない。プール水は $10^2$ オーダーで、3号機か

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

らの回り込みの可能性もある。

(武黒) 今後重要なので、良く確認をしていきたい。3号機の回り込みの可能性が高い。

(1F 発電班) 1号機は、本日10時に注入量を  $10\text{m}^3/\text{h}$  から  $6\text{m}^3/\text{h}$  に戻した。RPV 温度が下降から上昇傾向に転じました。D/W 圧力も上昇に転じ、現時点で  $0.12\text{MPa}$  であり、今後、変更前の  $0.16\text{MPa}$  に戻っていくと予想される。原子炉の水位が一度振れたけれども、TAF-1.7m で安定している。N<sub>2</sub> 封入は  $28\text{m}^3/\text{h}$  で継続している。炉注入の増減の後にロボットによる R/B の点検を実施した。通常写真と赤外線のカメラを積んで分析した。

2号機は、原子炉への注水を  $6.9\text{m}^3/\text{h}$  で実施している。

3号機は、原子炉への注水を  $6.5\text{m}^3/\text{h}$  で実施している。それぞれ圧力、温度安定している。5, 6号機は変化無し。

(1F 復旧班) 集中 R/W への移送は、本日9時に中断して12時にフラッシングを実施した。2号機の立坑水位について、資料の数値が間違っておりましたが、本日の7時に比べ  $2\text{cm}$  上昇しています。1, 3, 4号機は変化無し。

4号機 R/B 三角コーナーの水位は、2週間で  $200\text{mm}$  上昇している。4号機タービン建屋は OP2800 から OP3100 に  $300\text{mm}$  上昇しており、連動していると考えられる。1F での塩分、放射能濃度分析の参考値では、塩分は  $4900\text{ppm}$  で海水よりも薄い。ヨウ素  $10^2$  オーダー、セシウム  $134\cdot 137$  が  $10^3$  オーダーです。4号機の滞留水と3号機の滞留水の関係について、4月に測定したものと比較して調査する。

(1F ■■■) 4号機 SFP のライナドレンについて、フログラス10箇所中6箇所に滴下が見られた。最大の場所で1秒に1滴程度です。ライナドレンとエリアの確認をメーカーを含めて行っている。

(1F ■■■) 現場に行ったが、水の流れは確認できない。1号機の松の廊下、これは MS トネル室の真下に当たるところですが、ロボットチームが線量を詳細に調べたところ、下から  $190, 280, 330\text{mSv/h}$  と上に上がるに従って線量が上がる。また、柱をすぎると  $1.5\text{mSv/h}$  と急激に下がり、点線源の挙動を示している。シャットダウンクーリングの内側で  $1200\text{mSv/h}$  であった。配管にホットスポットがあるかもしれない。本店でも検討していただきたい。

(武黒) 復旧班および保安班でも検討するように。

(1F 復旧班) 5, 6号機 M/C、P/C の点検修理清掃は継続で実施している。5号機のケーブルトレンチの土砂を撤去する作業は継続で実施する。6号機北側 F 地点のタンクの設置とラインの布設は順調に進んでいる。本設 RHR ポンプの予備品の点検をしている。原子炉ウエルの結露水を移送しました。溜まり水の監視は継続で実施する。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(1F 土木) 2号機閉塞工事を明日の午後から開始する。砕石の投入後、コンクリートにより蓋をする。8日程度の作業となります。工事にともない、立坑の水位は6cm強上昇すると思われます。無人のガラ撤去、散布防止剤の散布は継続して実施します。

(1F 建築班) 飛散防止剤散布は、本日、4号海側ヤード(7000m<sup>2</sup>)にて実施。明日はタービン建屋南側(3000m<sup>2</sup>)に実施予定。高温焼却建屋でコンクリート打設を実施します。プロセス建屋のシャッター撤去を実施した。

(1F キリンチーム) 4号機のプールの水位計測を行った。昨日から36cm低下している。崩壊熱によるものと考えられる。水温を計測した際にプール内を撮影した(TV 会議にて動画を流した)。周りをぐるりと見ている。若干ラックの上には乗っていますが、かなりきれいです。ラックは健全に見えます。プールゲートが立っています。

(武黒) プールゲートが健全な様子がわかります。ラックの形状が健全なこともわかりました。

(1F 所長) 4号機のプールがとてもきれいで、建屋が壊れた理由がわからない。

(武黒) 研究所にて検討しており、情報を共有します。

(滞留水チーム) 12:20にフラッシングを停止し、安定した状態を継続している。空間線量は1msv/hでフラッシングの効果があった。配管については、赤いフレックスは線量が下がっているが、ブルーのフレックスは線量が180mSv/h程度あり、構造の違いがあるのか検討している。

(武黒) 本店側の排水チーム( )さんもサイトとよく検討して下さい。

(本店 ) 使用を確認したが、青いフレックスは内面も波打っており、赤いフレックスはつつるです。急だったのでいろいろな配管を手配したが、今後はこのことを反映していく。

(本店復旧) 炉注水変更について、10時まで10m<sup>3</sup>/hで流量を上げていたが、6m<sup>3</sup>/hに戻したことでD/W圧力が上がってきている。高い方で126kPaであり、ほぼ想定通りです。今後は元の圧力より低いところで整定すると思われます。温度も若干低いところで整定と思われます。今回の結果を踏まえてモデル化していき、今後炉注水量を10m<sup>3</sup>/hに増やすときに、崩壊熱が下がってもD/W圧力が大気圧を下回らないか検討する。

( ) ロボットが再度はいった。確認エリア前回・前々回と同じ。結果、パラメータはほとんど変動無し。線量は10mSv/h前後で入り口のみ50mSv/hであった。湿度は気温の関係で変動していると思われる。酸素濃度は変化無し。北側の二重扉から前回と同じところを回りましたが、電気ペネ部に漏えいはありません。パーソナルエアロック、機器ハッチには水の後はありましたが、漏えいありません。寄り道をしてR/B北西の階段から下を見ましたが、異常はありません。今回、日

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

立から付加価値を持たせるために赤外線カメラを搭載した。こんな事が出来ると  
いうことがわかった。

(本店武黒)原子炉の冷却の方法について、早急に対応を考える必要がある。  
明日には水移送も再開されるので、急いで下さい。

(本店■■■■)1号機炉注水量は  $10\text{m}^3/\text{h}$  でほぼ飽和温度に落ち着いていると思  
われる。漏えいも確認されていない。 $10\text{m}^3/\text{h}$  は冷却のバランスの良いところと考  
えられる。移送の終わったところでサイトと協議したい。

(本店燃料移送取出チーム)4号機 SFP 水のサンプリングを行ったところ、セシウ  
ム134・137、ヨウ素の濃度について、セシウムが2週間前に比べ半分、ヨウ素  
は一桁落ちている。プール水位が上がって希釈されたことおよびヨウ素につい  
ては半減期の関係から整合が取れていると評価される。

(本店武黒)異常があったというわけではないですね。

(本店情報)厚生労働省から電話があり、被ばく線量管理の社長宛の文書を頂  
いた。内容は既に報道されているものと同じです(通常時の扱いに戻ったときに  
その扱いに準ずること)。結果としてこういう事になった。メーカーも同様のスタンス。  
通常時の扱いは、5年で  $100\text{mSv}$ 、年間で  $50\text{mSv}$  を超えないこと。3/14に通達  
が出て、解除日まで  $250\text{mSv}$  までの特例が適用されるが、解除された後は通  
常の縛りとなる。一つめは、期間内に  $250\text{mSv}$  を超えた人は、それ以降作業が  
出来ない。二つめは、 $100\text{mSv}$  を超えた人は、解除される前は作業が出来るが、  
解除された後は作業が出来ない。三つ目は、期間内に  $80\text{mSv}$  の人は、残りの期間  
内で  $50\text{mSv}$  でトータル  $100\text{mSv}$  になると作業が出来ない。厚生労働省に実情を  
お話しして、引き続き働きかけを行う。

(細野補佐官)1F に対してきびしいものとなった。厚生労働省と協議しており、そ  
の結果を待つて頂きたい。出来るだけ特定の人に線量が集中しないことが大事  
です。東京電力も努力をして下さい。具体的な運用はまだ固まっていません。

(本店武黒)引き続き厚生労働省と協議します。情報を共有します。

今後、業務を継続する人は、安全第一、業務品質向上に留意頂きたい。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

<4/30(土)の時系列メモ>(情報班 [REDACTED])

～全体会議～

9:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F吉田所長)特記事項としては、昨日から2号機から集中 R/W への移送を止めているので、2号機トレンチ水位が上がっている点と、1号機の炉注水流量を  $6\text{m}^3/\text{h}$  に下げたことから温度、圧力等々が上昇傾向にある点である。

(1F 発電班)1号機は、昨日10時に注入量を  $10\text{m}^3/\text{h}$  から  $6\text{m}^3/\text{h}$  に戻した。その結果、RPV 温度が継続して上昇傾向になった。同様に、D/W 圧力も上昇に転じ、現時点で RPV 圧力が  $0.435\text{MPa}$ 、D/W 圧力が  $0.134\text{MPa}$  である。パラメータは、注入量を増加させる前の状態に戻る予定である。原子炉水位は TAFP-1.7m 程度である。D/W への  $\text{N}_2$  封入は  $28\text{m}^3/\text{h}$  で実施している。

2号機は、原子炉への注水を  $7\text{m}^3/\text{h}$  で実施している。プラントパラメータは安定している。

3号機は、原子炉への注水を  $6.8\text{m}^3/\text{h}$  で実施している。プラントパラメータは安定している。

5, 6号機は変化無し。

(1F 復旧班)集中 R/W への移送は、本日14時から再開する。

1号機縦坑の水位は、フラッシング水を使った影響で、昨日朝から410mm低下した。2号機縦坑の水位は昨日18時から30mm増加した。3号機縦坑の水位は、昨日18時から10mm増加した。T/B の水位は変化なし。

(1F 復旧班)5号機 M/C、P/C の点検修理清掃は継続で実施している。復水器山側の地下水を H/W へ継続して移送している。6号機の建屋滞留水は、明日屋外の仮設タンクに移送する。ゼオライト試験は継続で実施している。

(1F 土木)2号機トレンチの閉塞工事として、午後から碎石を投入する。ガラ撤去は3号機 R/B 周辺で実施する。飛散防止剤散布は物揚場斜面にて実施する。

(1F 建築班)飛散防止剤散布は、4号海 T/B 南側にて実施する。プロセス建屋のコア抜きや開口部の工事は継続で実施している。

(1F キリンチーム)4号機 SFP の水位測定を実施する。

(1F 水移送チーム)フラッシングを停止して、集中 R/W プロセス建屋の水位は安定している。第二ステップの6000tの移送開始は、14時から再開する予定である。1台運転で再移送を開始する。5月7日に、一時移送を停止して、3号機 T/B への水中ポンプ設置や配管工事を実施する予定である。

(本店保安班)福島第一原子力発電所の緊急被ばく線量測定結果について、本日10:30にプレスする予定である。3月末時点で  $100\text{mSv}$  を超えた者の結果を纏めている。対象者は21名である。最大被ばく線量は外部被ばく  $201.8\text{mSv}$ 、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

内部被ばく39mSv であるため、合計240.8mSv であった。その方は3月25日に、3号機の T/B 滞留水に足を入れてしまった人である。

(1F 吉田所長) 最大値の人は公表するのか？

(本店保安班) 公表する予定は無い。

(武黒) 今日の広報対応でも留意すること。

(本店建設復旧班) 常磐道の広野から富岡の復旧を国土交通省と NEXCO へお願いをしていた。今日、明日に警察立会いのもと、物理的に通れるようになる。どのようにオペレーションしていくか OFC と協議していく。

(1F) 明日から5、6号機の滞留水の移送が始まる。5月中旬迄に数千トンの移送を完了する予定であるので、当面の危機はこれで回避できる。

(武黒) 道筋をしっかりとるようにお願いしたい。

(武黒) 本日夕方から、私が1Fに行くので、統合対策本部の司会は小森常務が行う。

～全体会議終了～

<4/30(土)の時系列メモ> (情報班 ■■■)

～全体会議～

19:00

プラント状況、作業進捗、作業予定

(1F 吉田所長) 特記事項としては、2号機縦坑から集中 R/W への移送を本日14:05に再開した。また、本日大熊3号線について昇圧が完了した。

明日、6号機のタービン滞留水をタンクへ移送する。

(1F 発電班) 1号機は原子炉への注水を6m<sup>3</sup>/hに戻して実施している。RPV温度とD/W圧力は緩やかに上昇している。現時点でRPV圧力が0.44MPa、D/W圧力が0.137MPaである。原子炉水位はTAFP-1.6~1.7m程度である。D/WへのN<sub>2</sub>封入は28m<sup>3</sup>/hで実施している。

2号機は、原子炉への注水を7m<sup>3</sup>/hで実施している。プラントパラメータは安定している。

3号機は、原子炉への注水を6.8m<sup>3</sup>/hで実施している。プラントパラメータは安定している。

5、6号機はSHCと非熱モードで運転している。明日、6号機の滞留水をタンクへ移送する。5号機R/BとR/Wへ地下水が流入し、水位が上昇している。

(1F 復旧班) 集中R/Wへの移送は、本日14:05から再開し順調である。2号機トレンチ水位は、7時から10mm上昇し、現在は集中R/Wへ移送しているため減少傾向である。3号機のトレンチ水位の変化はないが、監視カメラの調子が悪くなり、本日18時のデータは確認できていない。T/Bの水位は変化は無い。3号機T/Bの水位が50mm上昇したが、もともと上昇傾向にあるもので目盛が大

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

きいため、今回繰り上がったことによるもの。1号機の原子炉への注水量増加により、3時間に一回監視強化していたが、1日3回に戻すこととする。

(1F 復旧班)5、6号機 M/C、P/C の点検清掃は継続で実施している。地下水の確認は継続している。6号機 T/B の地下水について屋外の仮設タンクへ移送することになった。明日、午後から移送を計画している。各建屋にも水が溜まっているので、タンクの増設等について本店の協力をお願いしたい。

(1F 土木班)2号機トレンチの閉塞工事として、準備した機材について不備があったため、明日準備作業をし、開始したい。ガラ撤去は3号機 R/B 周辺にて継続で実施している。

(1F 建築班)飛散防止剤散布は、4号海 T/B 南側にて実施した。明日、4号 R/B 南側の散布を予定している。プロセス建屋のコア抜きや開口部の工事は継続で実施している。

(1F キリンチーム)4号機 SFP の水位計測を実施し、燃料のラックから+5.556m の位置にあった。前日から、43cm 水位が低下している。低下率が若干上昇しているように見えるが、3日間の低下量は、ほぼ同等である。水温は86℃から92℃になり変わらず。明日も注水をせずに、水位測定を実施して、低下傾向を監視する。

(1F 排水チーム)2号機縦坑から集中 R/W への移送配管について、線量測定した結果、Max250mSv であった。第一回目の移送時に比べて、線量上昇が早かった。

(小森)水位カメラの不良はどこのものか？

(1F)3号機のトレンチのカメラである。

(小森)線量で劣化したのか？

(1F)不明、確認する。明日、カメラの移設に合わせて対応するので、監視できるようにする。

(小森)5、6号機の地下水の仮設タンクへの移送について、十分であるか？

(1F 吉田所長)明日から移送を開始するが、足りないので検討をお願いしたい。

(本店)サポートする。

(本店復旧班)1号機のフラッディングについて、経済産業大臣から報告徴収の指示文書を受けた。

- ① 原子炉建屋と PCV の強度及び耐震性
- ② PCV 圧力が上昇した場合の影響、ベントの必要性
- ③ T/B 滞留水の増加について
- ④ その他必要な事項

上記のうち、①は既に耐震解析で確認している。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店情報班

(小森)いつまでにできるのか？

(本店復旧班)これから記載内容を調整して、速やかに報告できるようにする。

(保安院)出来るだけ早く提出すること。

(本店広報班)1号機の R/B へロボットで点検をしてきたが、これから人が入って作業をする検討をしており、今後どうやって実施していくか公表することを検討している。

(本店建設復旧班)常磐高速道路の広野から富岡間について、昨日までに補修工事が終わり、本日警察の立会いのもと、緊急時車両が通れると了解を得た。大キリンも通れる。今後の運用としては、現在使用している道路の代替及び大型車両の通行として扱うこととする。

Jビレッジ迄の上水道の工事が完了した。明日の試験実施以降 Jビレッジで水道水が使えるようになる。浄化槽の増強工事は5月中旬を目処に実施している。

(Jビレッジ)感謝する。浄化槽の準備が終わったら、共同の浴場をスタートしたい。

以上